

第十四回 貴族院議事速記録第二十二號

明治三十三年二月十二日(月曜日)

午前十時二十四分開議

議事日程 第二十二號 明治三十三年二月十二日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 漁業法案(政府提出)

第三 保險業法(政府提出)

第四 精神病者監護法案(政府提出)

第五 臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案(政府提出)

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第七 臺灣ニ服役スル軍人ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案(政府提出)

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第九 土地收用法案(政府提出)

第十 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 在外國帝國專管居留地特別會計法案(政府提出)

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十四 裁判所及臺灣總督府法院共助法案(政府提出)

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十六 鑛業條例中改正法律案(政府提出)

第十七 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出)

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十九 家祿引直處分法案(衆議院提出)

第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第二十一 營業稅法中ニ調査委員ノ制ヲ設クル請願

第二十二 種馬所設置ニ關スル請願

第二十三 所得稅法改正ノ請願

第二十四 高等商業學校設置ノ請願

第二十五 北清貿易擴張ニ關スル請願

第二十六 定期航路補助ニ關スル請願 會 議

第二十七 北見幹線鐵道急設ノ請願 會 議

第二十八 千島義勇警備田漁兵設置ノ請願 會 議

第二十九 士籍編入ノ請願 會 議

第三十 家祿ニ關スル請願會議 會 議

第三十一 秩祿處分ノ請願 會 議

第三十二 民法第二百七十八條修正ノ請願 會 議

第三十三 石狩川治水ノ請願 會 議

第三十四 郡界變更ノ請願 會 議

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット諸君ニ御協議致シマス、昨日 皇太子殿下御結婚ノ御成約ノ式ヲ舉ゲサセラレマシタ、ソレニ附キマシテ本院ヨリ兩陛下並ニ 殿下ニ賀表ヲ奉ッテハ如何ト存ジマス、其事ヲ御相談致シマス

○侯爵黑田長成君 唯今御協議ニナリマシタコトハ最モ然ルベキコトト存ジマス、御同感ニ思ヒマス

○男爵本田親雄君 黑田侯爵ニ賛成致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 賀表ヲ奉ルニ附イテ唯今黑田侯爵ノ賛成ノ辭ガアリマシタ、ソレニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

總員起立

○議長(公爵近衛篤磨君) 全會一致ト認メマス、就キマシテハ試ニ賀表ノ文ヲ起草ヲ致シテ置キマシタカラ一應御相談致シマス、是ハ 陛下ニ上奏ノ方ノ分デアリマス

貴族院議員等

誠恐誠惶頓首謹言今般

皇太子殿下御結婚成約ヲ行ハセラレ臣等恭悅ノ至ニ堪ヘス謹テ上表奉賀ス

ソレカラ 皇太子殿下ノ方ニ上ゲマスル分ハ

臣貴族院議員等

誠恐誠惶頓首謹言今般御結婚成約ヲ行ハセラレ臣等恭悅ノ至ニ堪ヘス謹テ

奉賀ス

此草案デ宜クバ上奏ノ手續ヲ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

貴族院議事速記録第二十二號

明治三十三年二月十二日

賀表奉呈ニ關スル法案

議長ノ報告

四二一

〔小原書記官朗讀〕

一昨十日本院ニ於テ可決シタル左ノ諸案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ
政府提出

岡山縣下郡廢置法律案

府縣郡市町村其ノ他ノ公共團體ノ所有地免租ニ關スル法律案

衆議院提出

辯護士法中改正法律案

質屋取締法中改正法律案

同日本院ニ於テ修正議決シタル蠶種検査法改正法律案ハ即日衆議院ニ送付セリ

委員長副委員長左ノ通り當選セラレタリ

東京市ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵岡部長 職君

副委員長

渡邊 洪基君

蟲害地租特別處分法案特別委員會

委員長 田中 芳男君

副委員長

子爵立花 種恭君

殖林ノ爲設定シタル地上權登記ニ關スル法律案特別委員會

委員長 男爵千家 尊福君

副委員長

森山 茂君

重要物產同業組合法案特別委員會

委員長 伯爵勸修寺 顯允君

副委員長

金子 堅太郎君

北海道水産稅則廢止法律案特別委員會

委員長 公爵二條 基弘君

副委員長

子爵長岡 護美君

○子爵岡部長職君 本日ハ午前十時ヨリ郵便法案其他三件ノ特別委員會ヲ開クコトニナリ居リマス、議場ニ差支ゴザイマセヌケレバ退キタイノデアリマスガ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○男爵千家尊福君 本日ハ午前十時カラ特別委員會ヲ開クコトニ致シテ居リマスガ御差支ナケレバ是カラ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、第一、請願委員長報告、併ナガラ請願委員長報告ハ委員長ヨリ日程ノ二十ト二十一ノ間ニ繰下ゲテ貰タイト云フ要求ガアリマシタ、是ハ議事日程ノ變更デアリマスガ御異議ガナケレバ第二カラ始メタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ漁業法案、政府提出、第二讀會、第一條ヲ問題ニ供シマス……委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ガ第二條……委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第三條……委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 第四條、第五條……御異議ガナクバ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ委員會ノ修正ニ決シマス、第六條ヨリ第十條マデ……御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第十一條、第十二條……委員會ノ修正ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 第十三條ヨリ第十六條マデ……御異議デナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 第十七條ヨリ第十九條マデ……委員會ノ修正デ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二十條ヨリ第二十三條……マデ委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二十四條ヨリ第三十二條マデ……

○中西光三郎君 第二十四條ニ附キマシテ委員長ニ質問致シタウゴザイマス、此二十四條ノ末文ニ「不服アル者ハ訴願ヲ爲スコトヲ得」此願訴ノコトハ或ハ地方廳ヘ訴願ナ願出ヅルコトヲ得トカ或ハ參事會ヘ願出ルコトヲ得ト

カ總テ他ノ法律ニ依リマスレバドコソコへ訴願スルコトヲ得トナッテ居リマスルガ、是ニハ明記シテゴザイマセヌガ此儘デ差支ナイト云フ御考デゴザイマスカ

○村田保君 答辯ヲ致シマス、是ハ此訴願ヲ許シマスルノハ地方長官デゴザイマス、訴願ト云フノハ即チ特許ヲ得タル行政廳へ訴願ナスルト云フコトデゴザイマスガ、是ハ地方長官ニ致スコトデゴザイマス、又或ハ農商務大臣ニナリマスル場合モアリマスガ、玆ハ多ク地方長官ニ致シマスノデゴザイマス

○中西光三郎君 唯今ノ御答辯ニ依リマスレバ地方長官ニ訴願ナスルト云フヤウデゴザイマス、果シテ然ラバ是へ「地方長官」ト云フ文字ヲ加ヘマスルガ明瞭デアリマセウカト思ヒマス、サウ修正致シタイ意見デゴザイマスガ、是ハ突然ノ考デゴザイマスカラ未ダ一名ノ贊成者モ得テゴザイマセヌ、御同感ノ諸君ハ速ニ御贊成ヲ願ヒマス

○村田保君 唯今述ベマシタ通り是ハ地方長官へ訴願致ス、又主務大臣ヘヤリマスルトキハ主務大臣ヘモ訴願スル、是ハ前條二十三條ヲ御覽ニナレバ能ク分リマス、特ニ掲ゲル必要ハナイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 中西君ノ今ノ御發議ハチヨット聽漏シマシタガ修正説デスカ

○中西光三郎君 左様デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ドウ云フ修正デアリマス

○中西光三郎君 「不服アル者ハ」ト云フ下へ「地方長官ニ訴願ヲ爲スコトヲ得」ト云フ修正説デゴザイマスガ、唯今又委員長ノ御説明デゴザイマス主務大臣モアルト云フ……然ラバ其通り兩方書ケバ宜カラウト思フ「地方長官若ハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得」ト云フ修正ヲ致シタト云フ考デゴザイマス

○村田保君 ソレハ必要ハナイダラウト思ヒマス、玆ニゴザイマス通り「前條ノ判決ニ對シ不服アル者ハ」ト云フコトガゴザイマスカラ……ソレカラ又此免許ノコトニナリマスルト三條四條ト云フ場合、即チ三條ハ地方長官、或ハ四條ハ主務大臣ノナニデ能ク分リマス、之ヲ書ク必要ハナカラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 中西君ノ修正ニハ贊成ガナイヤウデアリマスカラ成立チマセヌ、第二十四條ヨリ第三十二條マデ御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ニテ第二讀會ヲ終リマシタ

○村田保君 議事日程ヲ變更シマシテ唯今三讀會ヲ開カレムコトナ……

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ村田君ノ動議ニ贊成ガアリマスガ御異議ガナクバ直チニ第三讀會ヲ開キマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 保險業法案政府提出、第二讀會

○村田保君 本員ハ此保險法ニ附キマシテ修正ヲ提出シタイト存ジマスルノデゴザイマスガ、此修正ヲ出シマスルニ附キマシテハ大體ノ修正ノ意見ヲ述ベタイト存ジマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 大體論ハ二讀會ニ於テハ……

○村田保君 修正ヲ致シマスル修正ノコトニ附イテ一條毎ニト云フ譯ニ行キマセヌ、各條ニ跨リマスルカラ其修正ニ附キマシテ大體ト申シテ惡ルイナラバ理由ヲ述ベタテト存ジマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 案ガ出來テ居リマスカ

○村田保君 案ハ出來テ居リマセヌカラ、其理由ヲ述ベテ、サウシテ諸君ノ御贊成ヲ得タイト存ジマス、宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 規則ニ依リマスルト許シテ居リマセヌ……チヨット御著席ヲ願ヒマス、規則ニ依リマスルト案ヲ具ヘテ修正説ヲ出スト云フコトニナッテ居リマスルガ、飛ビ飛ビノ修正説ヲ御出シナリマスルト或ハ或ル箇條ニハ贊成デ或ル箇條ニハ贊成デアルト云フ人ガアッタ場合ニハ甚ダ混雜シマスカラ、成ルベクドウカ箇條毎ニ願ヒタイ

○村田保君 箇條毎ニト云フ譯ニハ行カナイノデス、本員ハ此理由ヲ述ベマシテ其上ニ更ニ、別ノ建議ヲ致シタイト思フデアリマス、即チ別ニ更ニ委員ニ付託シタイト思ヒマス、其委員ニ付託ヲ致シマスニハドウモ修正ノ理由ヲ一應述ベナケレバナナルマイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハドウモ矢張り大體論デアリマスカラ二讀會

デハ差支ヘルト思ヒマス

○村田保君 併ナガラ是マデモ時例ノゴザイマスコトデ、二讀會ニ於テ更ニ委員ニ付託スルト云フコトハ出來タト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ一箇條ニ附イテ或ハ種々異論デ起リマシタトキニ委員再ニ付託ト云フコトハアツタカモ知レマセヌガ、大體論ハ二讀會デハイケマセヌ

○村田保君 如何デゴザイマシウ、各箇條ヘ修正ヲ加ヘタイノデスガ、是ハ議場デハ出來マセヌカラ委會ニ付託シタイト……

○議長(公爵近衛篤磨君) 併シソレニハアナタノ案ガアリマセウカラ、ソレチ一々御述ニナレバ、ソレニ附イテ賛成ノ人ハ賛成シマセウシ、不賛成ノ人ハ……

○村田保君 ソレ故ニ初ニ其理由ヲ述ベマスレバ成ル程是ハ修正シナクテハナラヌカラ更ニ委員ニ付託シナケレバナラヌト云フ御考モ出ルカモ知レマセヌ

○子爵谷干城君 今ノ村田君ノ御請求ハドウゾ私ハ御容レニナリタイト思フ、或ハ承ッテ見ルト御同意セヌケレバナラヌコトモアラウト存ジマス、是ハ御容レニナッテ不都合ハアルマイト思ヒマスカラ、ドウゾ御容レニナルコトヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 田村君ノ發言ヲ無理ニ止メルノデモ何デモナイデスガ唯規則ノ上カラ……

○子爵谷干城君 議場ニ御諮ヒニナッテハドウデゴザイマスカ……

○男爵尾崎三良君 二讀會ノ場合デゴザイマスカラ此箇條ニ附イテ修正説ガアレバ無論提出ニナッテモ宜カラウ、又其修正説ニ附イテ非常ニ混雜チスルカラ是ハ特別委員ニ付スルガ宜カラウト云フ説モアラウト思ヒマスガ、大體ノ話ナラ特別委員ニ再付託ト云フコトハ第一讀會ノ場合デハ例ハゴザイマスルガ二讀會ニ上ボツテカラサウ云フコトハ餘リ例ハナカッタヤウニ存ジマスルガ、ドウカサウ云フ先例ハ餘リ始メヌ方ガ宜カラウト存ジマスルデ、ドウカモウ二讀會ニ移ッテ居ルノデアリマスカラ、逐條ニ御取掛ニナッテ其逐條ニ附イテ修正ノ議論ガ出テ、是ハ各條ニ關聯スルニ依ッテ是非モウ一遍付託シテヤラヌナラヌト云フ場合ナラバ、ソレハ兎モ角モデゴザイマスルガ、兎ニ角此二讀會ニ移ッテカラ未ダ議シナイ中ニ其論ハ少シ慣例ニ違フヤウニ存ジマス、ソレハドウカ是マデノ成規ノ通りナラムコトヲ希望致シマス

○村田保君 如何ナモノデゴザイマセウカ、修正スル即チ修正案ヲ作リマシテ差出シマスルコトハ是ハ此處デモ出來ルガ、サウシテ見マスレバ修正案ヲ提出シマスルニ附イテハ諸君ニ其理由ヲ述ベマシテ是ガ修正ナスルベキモノナラバ或ハ更ニ委員ニ付託スルト云フコトハ同時ニ出來ルコトダラウト存ジマスガ……

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット始ニ伺ヒマスガ何箇條程アリマスカ

○村田保君 本員ノ何シマスモノハ數箇條ゴザイマスルガ、其上ニ或ハ質問ヲ政府委員ニシタ上ニ更ニ修正チシタイコトモゴザイマス、或ハ此案ガ潰レバ又他ノ案ヲ出シタイト云フ兩方ノ修正ヲ保持ッテ居ルコトモアリマス、故ニ斯ウ云フコトハ一應議場デ述べナケレバナアルマイト思フ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ單純ニ特別委員再付託ト云フ動議ヲ御出シニナルノデアリマスカ

○村田保君 サウデス、出シマスニハ理由ヲ述べナケレバ……

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ手續ガ附キサヘスレバ決シテ止メル譯デハアリマセヌ

○村田保君 詰リ結局、再付託ニシタイト思フ考デアリマス、ソレニ附キマシテ理由ヲ述べタイ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(村田保君演壇ニ登ル)

○村田保君 私ハ此一讀會ニ於キマシテ、此保險法ニ附キマシテハ段々修正ノ意見ヲ持ッテ居リマスルカラシテ直チニ第二讀會ヲ開カル、コトハ御猶豫ヲ願ッタノデ、然ル處ソレハ一昨々日ノコトデゴザイマシテ、是ハ定規ノ賛成ヲ得テサウシテ修正スルト云フ説ヲ出ス暇モナイ、ソレ故ニ已ムコトヲ得マセズ大體諸君ノ御意見ヲ伺ヒマシタ上デ本員ハ更ニ委員ニ付託シテ十分ナル調査チシタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、此速記録モ少シ委員會ノ速記録ヲ見マシタガ、其委員會ノ速記録ニハ本員ノ考ヘテ居ルコトハ全クゴザイマセヌ、其邊ノコトハ調査モゴザイマセヌ、又所謂委員ノ一人ニ尋ネテ見マスルト全クサウ云フコトハ氣ガ付カヌデアルト言ハレタコトモアリマス、ソレ故ニ本員ハ此委員ニ付託致シマスルニ附イテハ斯ク斯クノ理由ガゴザイマスルト云フコトヲ述べマシテ、ソレデ若シ諸君ニ於カレマシテ御賛成ヲ下サイマスレバ更ニ委員付託ニシタイト思フ、本員ハ最初ニ於キマシテ相互會社ノコトニ附キマシテ大體反對ノ意見ヲ述べテ置キマスノデス、ソレト申シマス

ルモノハ此案ヲ熟々見マスルノニ、此案ノ趣旨デゴザイマスルト相互會社ト云フモノヲ保險會社ニ主トシテ之ヲサセルト云フ趣旨ニナッテ居ル、ソレデ將來段々此保險事業ト云フモノハ相互會社ニサシテシマハウ、サウシテ保險會社ト云フモノハ自然ニ少クサセヤウト云フ主意ガ暗々裏ニ明ニナッテ居ルノデス、又此案ヲ以テ保險會社ト云フモノヲ獎勵シヤウト云フ主意モ明ニナッテ居ル、是等ハ畢竟私ガ考ヘルノニ段々外國デハ保險事業ト云フモノハ次第ニ相互會社ニナッテ來テ、株式會社ト云フモノハ自然ニ減ッテシマフト云フヤウナ趣ニ傾イテ居ルト思フ所カラシテ、矢張り此案ニ於キマシテモ其主意ヲ取ッタルモノダラウト思フ、其證據ニハ此相互會社ノ規定ト申シマスモノハ二十七條カラ九十二條マデ六十六條程アル、相互會社ノ規定ハ……、ソレデ此株式會社ノ規定ハドウダト申シマスルト僅ニ十五條カラ二十六條マデ十二條シカナイ、ソレデ此保險法案ト申シマスルトモノハ專ラ相互會社ノコトバカリガ書イテアル、ソレデ株式會社ト云フモノハ此相互會社ノ規定ヲ準用スルト云フヤウナコトニナッテ居ル、主トシテ此法案ハ相互會社ヲ主トシテ立ッタルト云ッテモ宜イト思フ、サウシテ此之ヲ獎勵シマスル主意ト申シマスモノハ相互會社ニハ株式會社ヨリ利益ヲ與ヘテ居ル、或ハ便利ヲ與ヘテ居ル、何ゼト申スノニハ營業稅ハ掛ケヌ、ソレカラ又相互會社トハ云ヒナガラ他人ト契約サセセル、ソレカラ又株式會社デゴザイマスルト設立費用ト營業費ノ全額ノ償却ノ後デナケレバ利益ノ配當ハ出來ナイ、隨分是ハ十年モ掛ルデゴザイマスガ、併ナガラ此相互會社ニ於キマシテハ基金ノ利益ハ直グト其年カラデモ貰ヘル、利息ト云フモノハ……又此相互會社ト申シマスルモノハ一方ニ於キマシタラバ株式會社ト同様ナコトナスルノデス、何ゼト云フノニ他人ト契約スレバ幾ラデモ保險事業ガ出來ルノデスカラ、今日ノ株式會社ト同様ナコトナシ、又一方カラ考ヘルト銀行ト殆ド同一ノコトガ出來ル、何ゼト申スノニ保險會社ト申シマスモノハ基金ト云フモノガアル、資本ノヤウナモノデ、資本トハ性質ガ違ヒマスケレドモ其基金ト云フモノハ獨リ社員デ出サンデモ誰ガ出シテモ宜イ、何處カラデモ金ヲ入レルコトガ出來マスカラ丁度銀行ガ預リ金ヲスルト同ジコトデアリマス、銀行ノ預リ金ト同ジヤウナコトガ出來ル、其基金ト云フモノハドウシテ利用ガ出來ルカ、其利用ハドウダト云フト、ソレヲ以テ或ハ債券抵當ニ金ヲ貸スコトモアル、デ或ハ不動產ヲ抵當ニ金ヲ貸スコトモアルト云フコトニナリマシタナラバ是ハ全ク銀行ト同一ノ事業ナスルモノデアアル、サウ云フコトモ此相互會社ト云フモノハ出來ルノデス、ソレ

デ此相互會社ト云フモノニ特ニ此法案デ利益ヲ與ヘテ居ル、又獎勵ナスルト云フコトハ之ヲ見テモ知レル、其他ニモゴザイマスガ著シイコトハ斯ウ云フコトヲ見テモ分ルノデゴザイマス、ソレデ斯ノ如キ隨分保險會社ニハ重大ナ問題デアアル、之ガ爲ニ既ニ今日ノ保險會社ト申スモノハ株式會社デナケレバ出來ヌト云フ其株式會社ト云フモノハソレガ爲ニ非常ナ影響ヲ被ルデアラウト思フ、隨分是ハ大問題デノル、然ルニ是ヲ其會期切迫ノ際ニ當リ、即チ此當月ノ五日ニ始メテ此議會ニ上ボッテ、ソレマデハ此案ハドウデアアルカト云フコトハ秘密ニシテアッタ、我々ドモ始メテ此案ト云フモノハ出テカラ知ッタ位ナ譯デ、況ヤ當業者ニ於キマシテハ此二月五日ニ即チ議院ニ提出ニナッテカラ始メテ知ッタルデアアル、ソレデ是マデ隨分斯ウ云フ商業上ノ問題ト申シマスルモノハ法典調査會ト云フモノモアリマスシ又法律取調所ト云フモノモゴザイマシタ、ソレ等カラシテ何時モ是ハ商業會議所ニ諮ヒマシテ商業者ノ意見ヲ諮ヒ、サウシテ其意見ヲバ大ニ採用スルト云フコトニナッテ居ル、所デ斯ノ如キ問題ニシテ未ダ是ハ商業會議所ニモ問ハズ、商業家即チ當業者モ十分ニ之ヲ研究スル遑モナイ、サウカト申シテ之ヲバ是非、此相互會社ト云フモノヲ設ケナケレバ今日日本ノ保險事業ト云フモノハ出來ヌカト云フニ出來ヌコトハナイ、ソレヲバ此切迫ノ場合ニ於テ僅ノ間ニ我々ニ之ヲ利害得失モ研究セシメズシテ之ヲ通過サセルト云フコトハ殆ド盲判ト同ジコトダラウト思フ、ソレデ隨分斯ウ云フ問題ハ此次ノ議會マデモ措キマシテ、此時分マデニ十分研究シタ所ガ決シテ遲イ譯デハナイ、是非是ハ今出サナケレバナラヌト云フ必要ハナイト思フ、左様ナ緊急ノコトデハナイ、ソレモ今日はガナケレバ保險ガ出來ヌト云フナラ隨分緊急トモ言ハレマセウガ、少シモ差支ナイ、ソレデ本員ハ此相互會社ト申シマスルモノハ全ク創リタイト云フ實ハ考ナッテ居リマスルガ、併シ是ガ創レヌト云フコトニナレバモウ一ツノ修正説ヲ出シタク思ッテ居ル、ソレデ是ガドウシテモ相互會社ヲ創ルコトガ出來マセヌナラバ此三條ダケハ全ク削リタイノデス、第三條ト申シマスルモノハ本員ハ非常ナル弊害ノアルモノデアラウト信ジテ居ル、ソレハドウ云フ譯カト云フト、此三條ト申スモノハ「相互會社ニシテ社員ニ非サル者ト保險契約ヲ爲スモノハ特ニ其免許ヲ受クルコトヲ要ス」トアッテ、一體是ハ餘程妙ナ條ト思フ、相互會社ト云フモノノ性質ハドウ云フモノデアアル、是ハ社員ガ集ッテ互ニ保險ヲ仕合フト云フ、互ニ困ッタトキニ保險ヲ互ニ社員同士デシヤウト云フ性質デ元ト出來タモノデアアル、ソレ故ニ是ハ決シテ營利事業ト見ナイ、社員同士

ガ固ッテ互ニヤルト云フ性質ノモノデアアル、然ル處ヘ是ヲ社員デナイ者マデモ此處ニ入レテ保險契約ガ出來ルト云フコトニナリマシタラ相互會社ノ性質ガマルデナクナッテシマフ、何ノ爲ニ相互會社ト云フモノナシマスカ、ソレガ他人ト契約ナセルコトニナリマシタラバ其結果如何ニナリマセウ、此社員同士デアレバ或ハ多クモ五百人ト千人位ナ社員ハ出來マセウガ、ソレガ他人ト契約ナセルコトニナリマシタラ一體相互會社ハ何ノ相互會社ダカ分ラヌ、澤山ノ人ト契約ナセル爲シ一般カラ保險ナスルト云フコトニナリマシタラバ相互會社デモナイ、サウカト云ウテ株式會社デモナイ、何ダカ一種妙ナモノニナッテシマフ、併ナガラ膨脹スルコトハ非常ニ膨脹スルニ相違ナイ、色々其會社ニハ便利利益ヲ與ヘテゴザイマスカラ膨脹スルニハ違ヒナイ、其時ニハ一種何ダカ譯ノ分ラヌモノニナル、相互會社ト云フモノダカ何ダカ分ラヌ、株式會社デモナイ餘程奇態ナモノニナルダラウト思フ、ソレデ此事ハ中々本員ノ承リマスル所デハマダ歐羅巴デ本當ニヤッタコトガナイ、獨逸或ハ諾威アタリニ草案ノ出來テ居ルコトダト云フガ、マダ之ヲ實施シタト云フ結果ハ見テナイ、アチラノ國デモ餘程妙ナモノデアリマスカラ相互會社ト云ヒナガラソレガ一般ト取引ナスルト云フコトニナッタ第一、營業ニ違ヒナイ、ドウシテモ營業ト見ルホカ仕方ガナイ、社員ハ一部分デアルケレドモ一般ニ何十萬ト云フ人ト契約ナスルト云フコトニナッタ株式會社ト同シ仕事ダ、營業ニ違ヒナイ、又其資金ノ利用ヲバシテソレデ金デモ貸付デモシヤウナラバ是ハ營業ニ違ヒナイ、ドウモ妙ナモノニナルダラウト思フ、ソレデドウモ此相互會社ト云フモノハ己ムヲ得ズ之ヲ設ケルト云フナラバ此第三條ハドウシテモ削ッテ置カナケレハナラヌト思フ、之ヲ置イタナラバ相互會社ト云フ性質ハマルデナクナッテシマフ、一般ニ廣クヤルカラ……甚シイ是ハドウモ之ガ爲ニ弊害ヲ生ズルデアラウ、況ヤ是ハマダ外國ニ於テモ實際此經驗ト云フモノハナイ位ナモノデアアル、ソレヲバ餘所ノ國デ斯ウ云フコトガ出來タカラト云ッテ直グニ日本デ之ヲ眞似サスルト云フコトハ本員杯ハ以ノ外ノコトデハアルマイカ、ソレノミナラズソレハ最モ研究シナケレバナラヌコトカト思フ、外國ニ於テモ殆ド是ハ試驗中ト云ウテモ宜イ、ソレヲバ直グ茲ニ眞似シテ設ケルト云フコトハ甚ダ早計デアラウト思フデゴザイマス、ソレデ此第三條ハ削リタイト思フ、其他マダ僅ノ文字デモチヨイシタコトモアリマスル、例ヘバ九條アタリデモ是等ハ本員杯ハ甚ダ感服シナイ「第六條及ヒ第七條ニ

掲ケタル書類ヲ變更スルニハ主務官廳ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス」トアル、ソレカラ「其認可前ニ在リテハ變更ノ效力ヲ生セス」トアル、ドウモ是ハ分ラヌコトダト思フ、文字ノ所デスカラドウデモ宜イケレドモ認可ヲ受ケナケレバナラヌト云ウテ其認可前ノモノハ變更ノ效力ヲ生ゼヌト云フノハドウ云フコトデス、認可ヲシナケレバ變更ノ出來ヌモノナバ其前ニ變更ノ出來ル譯ハナイ、ソナナ馬鹿ゲタコトハ法律ニ言ハンデモ分ッテ居ル、是等ハ些々タルコトデ、其他又此二十一條アタリデモ商法二百十條ノ規定ハ保險ヲ營業トスル株式會社ニハ之ヲ適用セスト云フコトガアル、是ハ本員杯ハ分ラナイ、チヨットシタ所デスガ、何ゼト云フニ御覽ノ通り此株式會社ハ例ヘバ十八條デモ「商法第二百六條第二項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス」トカ、或ハ商法ノ何々ヲ準用シナイトカ、第何條ヲ準用スルトカ、第何條ニ從ッテドウスルトカ云フコトガ此處ニアル、然ル處二十一條ニハ「株式會社ニハ之ヲ適用セス」ト云フコトガアル、サウシテ見ルト是ハ實ハ言ハンデモ分ッテ居ルコトデ、成ル程是デ總テノ株式會社ト云フモノハ商法ノ規定ヲ適用スルト云フコトガ書イテアレバ其内ニ適用シナイコトナラ適用シナイト云フコトヲ書クコトハ必要ガアルケレドモ商法ノ條々ヲ引イテ來テ、是ハ是ニ準用スルトカ商法ニ從ヘト云フコトヲ言ハナケレバ又此處ニ適用シナイト云フコトヲ書ク必要ハナイ、其掲ゲテナイコトハ適用シナイト云フコトハ明ニ分ルダラウト思フ、或ハ此二十三條ノ此末項杯ト云フモノハドウモ此儘デハ分ルマイト思フ、「會社カ被保險者又ハ保險契約者ニ催告ヲ爲サスシテ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ會社カ催告ヲ爲ササリシ者ニ對抗スルコトヲ得ス」ト云フコトデスガ、是ハ其會社ト會社ガ兩方ニアッテ合併シテシマフト云フ場合ニデス、其場合ニ前項ノ一項ニ於キマシテサウ云フトキハ催告ヲシナクチャアナラヌ、催告ヲシナクチャアナラヌケレドモ其催告モセシデ、サウシテ會社ト會社ガ合併ト云フデスガ、例ヘバ甲ノ會社ト乙ノ會社ト合併スル、ソレガ即チ會社ガ被保險者カ又ハ保險契約者ニ催告ヲ爲サズシテ合併ヲ爲シタルトキハ是ハ甲ノ會社ハ合併シタノデス、サウスルト其合併ハ之ヲ以テ會社ガ催告ヲ爲サザルモノハ對抗スルコトヲ得ズトシタノハ會社ハドッチノ會社カ、甲ノ會社ガ合併シテシマッタ會社ニナルカ、或ハ之ガ爲ニ此催告ヲ受ケヌ者ガ之ガ爲ニ訴訟ナスルト云フ所ハ何處ヘ持ッテ行ッテ宜イカ分ラナイ、先ノ會社ハ合併シテシマッテ消エテシマッテ居ル、先ノ會社ヲ相手取ラウト

言ッテモ先ノ會社ハマルデナイ、チヨットモ分ラナイ、是ガマア商法ノ八十三條アタリニハサウ云フコトガアル、其會社ガ合併ニ依ッテ消滅シタルトキハ其會社ハ殘ッテ居ル所ノ會社ガ權利義務ヲ承繼スルト云フコトガアルカラ分リマスケレドモ、是デヤア何處デ何ナスルカ少シモ分ラヌヤウナコトガアル、ソレカラ先日モ議場デ陳ベマシタガ此二十七條、二十七條デハ……其他ニモゴザイマスルガ「署名スルコトヲ要ス」是ハ先日モ述ベマシタガ衆議院ヨリ此商法中ノ署名トアルモノハ署名捺印ニ代ヘルコトヲ得ト云フ案ガ出タ、是ハ殆ド全會一致デアチラヲ通過シテ居ル、又本院ヘ參リマシテモ先日ハ二三ノ御方ヲ除クノ外殆ド全會一致ヲ以テハ通過シテ居ル、ソレデ斯ノ如ク大多數ヲ以テ通過シテ居リマスル、署名捺印ニ代ヘルコトヲバ何故ニ此保險會社ニ於テハ其事ヲ採用セラレズ特リ此保險業バカリニ於テハ、此案ニ於キマシテハ是非トモ署名バカリデナクテハナラヌト云フコトハ何故デアアルカト云フコトヲ政府委員ニ尋ネマシタガ、政府委員ノ答辯ニハ既ニ署名捺印ノトキニ、アノトキニサヘモ絶對ニ反對ヲシテ置イタカラシテ尙ホモ反對スルト言ハレルガ、實ニ此位不親切ナル答辯ハナイト思フデス兩院ガ實ニ全會一致ヲ以テ通過シタル案デアアル、ソレナバ尙ホモ不同意デカラ是ダケハドウシテモ置クト云フ道理ハドウシテモナイト思フ、甚ダ不親切デアアル、委員會ニ於テ先日此案ト云フモノハ兩院ヲ通過シテ居ルカラ此處ヘ是非之ヲ加ヘテ置カナクチャアナラヌト云フコトヲ言ハレナクチャアナラヌト思フデス、決シテ此商法上ニ委シイ政府委員ガ之ヲ知ラヌコトハナイ、然ル所委員諸君ニハ或ハ議案モ澤山アリマスルカラシテ委員會モ澤山御持ノ御方ガアッテツイ御氣ガ附カレヌデアッタト思フガ、委員會デハ其論ガナカッタ、併シ政府委員ハ知ラヌコトハナイケレドモ、政府委員ハ之ヲ知ッテ知ラザル顔ヲシテ委員會ヲ通過シタルシカ本員ハ認メナイ、ソレデ此案ガ出テ居リマスレバ、先日ノハ商法並ニ保險業法中署名云々ト云フコトハ署名捺印ニ代ヘルト云フコトニナッタニ違ヒナイケレドモ、如何セム其時分ニハ此案ガ成ッテ居ラヌデス、サウシテ見マスレバドウアッテモ是ニ其事ヲ加ヘナクチャアナラヌ、署名ナスルコトヲ要スト云フ所ハ署名又ハ署名捺印トカ或ハ署名、ボツ捺印トカ是非ハ印ト云フ字ハ加ヘナケレバナナイコトデアアル、サモナケレバ非常ニ跛チ引キマス、又議院ノ精神ト云フモノヲ貫ケヌ、是等モ是非サウ云フ文字ヲ加ヘナクチャアナラヌコトダト思ヒマス、ソレカラ此四十一條ト四十二條ハ一讀會ニ於キマシテ本員モ尋ネマシタノデス、本員ハ四十一條ハ四十二條ト

同ジニシナケレバナラヌ道理ノ案ト云フコトヲ申シマシタノデス、四十一條ノ方デゴザイマスルト云フト是ハ其社員ガ保險ノ目的ヲ讓渡シテシマウ、讓渡シテシマッタトキハ後ニ其讓受人ハ會社ノ承諾ヲ得テサウシテ此讓渡人ノ權利義務ヲ承繼スルト云フコトデアアル、サウシテ見マスルト、言ハバ社員ガ隨意ニ目的物ヲ賣ッテシマフカモ知レヌ、例ヘバ火災ノ保險ヲシテ居ルト、ソレナ全然賣ッテシマフト云フコトニナリマスレバ是其保險ノ關係ト云フモノヲ消滅シテシマフ、此人ガ賣ッテシマフト即チ此六十七條ノ第四御覽ニナリマスルト云フト「保險關係ノ消滅」ト云フモノデ、即チ其者ハ退社シタト云フコトニナル、サウ云フコトニナルト云フト或ハ百人ニ下ルカモ知レナイ、此七十三條ニモゴザイマス、解散ノ場合「社員カ百人未滿ニ減シタルコト」ト云フコトガ現ニアル、サウシテ見ルト或ハ人員ガ百人ニ下ラヌトモ言ヘナイ、サウ云フヤウナコトデアレバドウシテモ此四十二條ノヤウニ會社ノ承諾ヲ得テサウシテ權利ヲ賣ルト云フコトヲ豫メシナクチャナルマイカト思フ、是等ハマア事ノ僅ナコトデゴザイマスケレドモ理窟ハドウシテモ本員杯ハ立タヌト思フ、保險物ヲ讓渡ス場合ニ四十二條ニ於テ契約者ガ自分ハモウ金ヲ出スノハ嫌ヤダト言ッテ自分が退社シテシマッテ、サウシテ自分ノ保險料ヲ他ノ者ニ拂ハサセルト云フ場合ニハ是ハドウシテモ豫メ會社ノ承諾ヲ得ナケレバナラヌト思フ、他人ノ生命ナラ生命ヲバ保險シテ置クデス、ソレハ自分が嫌ヤト云フトキハ豫メ承諾ヲ得ルト云フ時分ハ豫メ保險物讓渡ノ承諾ヲ得ナケレバナラヌ、是等モ本員ハドウモ理窟ガ合ハヌト思フ、ソレカラ六十七條ニ於キマシテ此失踪ノ場合ハ如何ト云フコトヲ第一讀會ニ尋ネマシタラバ政府委員ノ答辯ニハ是ハ民法ニ於テハ失踪者ト云フモノハ死亡ト認メルカラ矢張り死亡ノ中ニ失踪者ハ這入ッテ居ルト云フ答辯デアリマシタ、成ル程民法ニハ這入ッテ居ラヌコトハナイケレドモ隨分無理ナル答辯デハナイカト思ヒマス、何ゼト云フニ民法デゴザイマスルト七箇年間其者ノ所在ガ分ラヌ、七箇年マデノ間ハ隨分管理人ナントナ置キマスケレドモ、七箇年後ニナッテ其者ガ分ラヌトキニハ利害關係者カラシテ裁判所ヘ持出シテ裁判所デ即チ失踪ノ宣告ト云フコトナスルトデス、失踪者ト云フコトノ宣告ナシ、其後又七箇年モ經ッタ後ニ分ラナイト云フトキニ始メテ此死亡者ト看做スノデス、宣告ナシタモノガ直グニ死亡者ト云フコトハナイ、サウスルトソレカラ後ト云フモノハ何ダカ譯ガ分ラヌト云フモノ、デ是等モ隨分答辯ハ甚ダ本員杯ハ満足致サヌト思フノデス、ソレカラ九十二條デ營業稅ヲ課セヌト云フコトデ

ゴザイマスガ、是モ前ニ述ベマシタ通り營業ヲバシテ居ル、何ゼト云フニ社員ハ少シダケレドモ澤山ノ大勢ノモノヲ引受ケルカラ營業スルニ違ヒナイ、ソレノミナラズ其金ノ流用ト云フ爲ニ隨分不動産ヲ抵當ニシテ金ヲ貸スコトモゴザイマスカラ、是ハ隨分營業ヲシテ居ルダラウト思ヒマス、是等モ本員ハモウ一應研究ヲシタイト思ヒマス、ソレカラマダ多少ゴザイマスケレドモ一番終ヒノ條ニ於キマシテ「本法ノ施行ニ關スル細則ハ主務大臣之ヲ定ム」ト云フコトガゴザイマス、是杯ト云フモノモ今日ノ法律案ニハ總テ掲ゲヌト云フコトニナツテ居リマス、ソレデハ貴衆兩院ニ於キマシテモ是ハ以後掲ゲヌト云フコトニナツテ居リマス、ソレ故先日モ此蠶種検査法ニモ此事ヲ實ハ掲ゲマシタケレドモ今日ハサウ云フヤウニ約束上成立ッテ居ルコトト見エマス、總テ斯ウ云フコトハ各法律ニ掲ゲヌ、此命令ヲ出スコトハ主務大臣ニ是ハ法律上許シテ居ルコトデアリマスカラ、モウ法律ニソレヲ掲グルノ必要ハナイカラ以後ハ總テ斯ウ云フコトハ掲ゲヌト云フコトニナツテ居リマスカラ近來ノ法律ニハ總テ削ルト云フコトニナツテ居リマス、其條ガ矢張り玆ニモ殘ッテ居ルト云フ譯、ソレデ實ハ本員ハマダ段々此他ニモ隨分質問ヲ致シタイコトガゴザイマス、又其上デ修正ヲシタイコトモゴザイマスカラ先ヅ大略、斯ウ云フコトヲ議場デ一々御諮リナスルト云フト無益ニ時間ヲ費スダラウト思ヒマス、ソレニ本案ハ承リマスルト僅方一二回デ以テ是ダケノ隨分、斯ノ如キ百數十條モアルモノナ一ニ同デ議シ、又委員會ニ於テモ斯ウ云フコトハ一向議論ニモナツテ居ラヌト云フコトデアリマスカラ、ドウモ甚ダ之ヲ再付託ト申スノハ甚ダ委員諸君ニ對シテハ快クナイコトデゴザイマスケレドモ、願クハ之ヲ再付託ニナリマシテ十分ニ之ヲ調査致シマシタラバ既ニ此案ノ九十二條ノ所ニハ少數意見モ出テ居ル、其少數意見ヲ承ッテ見ルト五人ト五人ノ半數デ分レテ居ルト云フコトデアル、シテ見レバ是ハドウゾ再付託ト云フコトニ願ヒタイト思ヒマスガ、ソレモ以前ノ委員ノ御方ニ再付託スルト又其通り少數意見者ガ出マスカラ本員ハ願ハクハ更ニ、更ニ是ハ隨分大問題デゴザイマスカラモウ十人ノ委員ヲ加ヘラレテ、サウシテ再付託ニ付セラレマシテ十分ニ調査ヲシタイト云フ者ヲ持ッテ居リマス、ドウゾ諸君ニ於カレマシテモ成ルベク再調査ト云フコトニ御賛成ヲ願ヒタウゴザイマス

○公爵德川家達君 唯今村田保君ヨリ長々シイ御演説ガゴザイマシテ、大分村田保君ノ御氣ニ入ラナイコトガ澤山アルヤウニ見エマス、玆ヘ村田君ノ御

説ノゴザイマシタ箇條ヲ幾ツアルカト存ジマシテ書キマシタガ、ナカナカ澤山ゴザイマス、ソレデ特別委員ニ再付託ヲシタイ、ソレデ前ノ特別委員バカリデハイケンナイ、故ニ十名ヲ増スト云フ動議ノヤウニ承リマシタガ、此村田君ノ御説ニ對シテハ委員長トシテ一言申上ゲネバナルマイト存ジマス、此特別委員會ニハ御承知ノ通り尾崎男爵ニ致セ小笠原子爵ニ致セ渡邊君ニ致セ、皆ソレゾレ御經驗ノアル御方々ノ御集リデアッテ其御方々ガ御意見ガナイ以上ハ己ムチ得ナイ次第デアッテ、村田保君ガ左程御修正ヲ御希望ニナラバ二讀會ノ逐條會議ニ於テ數回ノ修正ノ御發言ガアッテモ一向差支ナイ話デアッテ、ソレハサウ云フ相當ノ權利ヲ持ッテ御居デニナルト存ジマスカラ、マダ唯今ノ動議ハ贊成者ガゴザイマセヌカラ成立ッテハ居リマスマイガ、一應委員長トシテ唯今ノ村田君ノ御説ニ絶對的ノ反對ヲ表シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ニチヨット伺ヒマスガ、此委員ハ十五名ト思ヒマスガ、ソレニ尙ホ十名加ヘテ二十五名ニシヤウト云フ……

○村田保君 サウデゴザイマス

○子爵谷干城君 私ハ政府委員ヨリ今ノ村田君ノ説ニ定メテ反對ノ御意見ガアラウト思フカラ、ソレヲ村田君ノ辯駁サレタ所ヲドウゾ明瞭ニ左様デハナイト云フコトヲ御説明ヲ願ヒタイ、其上デ分ッタルバ此儘デ通シテモ宜カラウト思ヒマス、今承ッタ所デハ村田君ノ御説ガ宜イヤウニ思ヒマスカラ、若シ何ナレバ私ハ贊成ナスル一人デゴザイマスカラ、ドウゾ政府委員ノ説明ヲ請ヒタウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ドウデセウカ、ソレハ別ニ規則ノ禁ズル所デアリマセヌケレドモ、矢張り大體論ノヤウニ涉ッテ仕舞ヒマシテ、今村田君ハ村田君ノ考ヲ以テ言ハレテ、斯ウ云フ疑ハシイ箇條ガ澤山アルカラ特別委員ニ再付託ヲシタイト云フ者ヲ言ハレタ、其言ハレタノニ又政府委員ガ辯駁ナスルヤウナコトニナリマスルト殆ド大體論ト同ジヤウナ姿ニナリマシテ議事ノ體裁上妙ナモノダト思ヒマス

○子爵谷干城君 サウデスカ、ソレナラ贊成シマス

○子爵小笠原壽長君 本員ハ唯今村田君カラ御述ニナリマシタ再付託ニ反對致シマス、其理由ト申シマスルモノハ唯今德川委員長カラ御述ニナリマシテ諸君ハ御分リニナツタラウト考ヘマスケレドモ、決シテ是ハ粗漏ニ調査ヲ致シマシタモノデハゴザイマセヌ、隨分此法案ニ附キマシテハ二日モ掛リマシテ十五名ノ委員ガ質問ニ質問ヲ重ネマシテ鄭重ニ審議ヲ致シマシタコトデゴ

ザイマスカラ、村田君ノ御述ニナッダヤウナ粗漏ニ調査ヲ致シタモノデハアリマセヌ、尤モ諸君ノ御承知ノ通り此條ハ百十七條モゴザイマスカラ多數ノ議員中ニハ御意見ノアルコトハ免レマセヌコトデアラウト思ヒマス、其多數ノ御意見ノゴザイマスル議員方ニ御氣ニ入ラヌト申シテ一々之ヲ再付託ト云フコトニナッテハ際限ノ無イコトデアリマスカラ、ドウゾ多數ノ議員諸君ガ此事ニ附キマシテ御意見ノアル方ハ二讀會デ十分修正説ヲ御述ニナッテ宜カラウト考ヘマス、唯今村田君ノ御意見ヲ承ッテ見マスルト、村田君ノ御氣ニ入ラヌ所ハ相互會社ガ一番ノ主意ニナッテ居ル様デアリマスカラ、之ニ附キマシテ又御修正説ガ出マスレバ本員等モ及バズナガラ調べテ居リマスカラ相當ノ意見ヲ述ベヤウト考ヘテ居リマス、其他氣ノ附カヌヤウナ場合ガアルト仰セラレマシテゴザイマスガ、決シテ氣ガ附カズニ調ベタ廉ハゴザイマセヌ、私ハ徳川委員長ノ述ベラレタ通り再付託ニ大反對ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數デアリマス

○村田保君 本員ハ政府委員ハ何時デモ發言ガ出來ルト云フコトガアリマスカラ、唯今本員ノ述ベマシタ所デ政府委員ノ反對ノ廉ガアリマスレバ述ベラレテ差支ナイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ逐條デ述ベラレルデアリマセウ、第一章全部ヲ問題ニ供シマス

○村田保君 是ハ一章全部ヲ問題ニ供セラレマシタカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 左様デゴザイマス、併ナガラ其中デ修正ノ箇條ガアリマスレバ採決ノ時分ニ別ニ決テ採リマス

○村田保君 本員ハ唯今述ベマシタ通り第三條ヲ削除致シタイ、此三條ト申シマスモノハ相互會社ト云ヒナガラ一向相互會社デナイコトニナル、相互會社ト云フモノハ社員バカリデヤルモノガ相互會社、即チ相互會社ハ社員バカリデアル、相互會社ガ他人ト契約シテ一般ノ保險ヲスルコトニナッダラバチットモ相互會社ノ性質ノモノデナイ、ソレノミナリマセズ先程モ述ベマシタ通

リ是等ハマダ外國デモ十分經驗ヲ經タモノデナイ、殆ド試驗中ノモノデアルト云フ位ノモノデアリマス、然ルチ之ヲバ直グトコチラニ持ッテ來テ之ヲヤルト云フコトハ是ハ隨分商業社會ニ非常ナ影響ヲ及ボスダラウト思フノデ、今日ノ會社ニ……デ斯ウ云フコトハ決シテ輕々ニスベキ譯ノモノデナイ、又此文面ヲ見マスルト若ヤ之ヲ宜イト致シマシタ所ガナカシナ……チカシナト言ッテハ惡ウゴザイマスガ、斯ウ云フ此法文ハ今マデ殆ド例ガナイト云ッテ宜イ、ナゼト云フニ一方ニ許可ヲ與ヘ、一方ニ何時デモ取消スト云フコトニナリマスレバ少シモ人民ノ權利ヲ保護スルコトハナイ、許シテ直グニ取消サレルト云フコトデハ少シモ安心ガ出來ナイ、其位ナラバ最初カラ許可セヌ方ガ宜イ、ソレノミナリマセズ斯ノ如キ場合ニハ是非トモ是ガ不服ト云フコトデアリマスレバ訴願ヲ許ストカ、或ハ行政廳ニ申請ヲ許ストカ何トカ裕餘ヲ附ケナケレバナラヌ、大概他ノ法律ハ斯ノ如キ免許ヲ與ヘルトカ免除ヲ與ヘヌトカ取消ストカ云フ場合ニナレバ其違法處分ニ對シテハ行政訴訟ヲ許ストカ、行政廳ニ訴願ヲ許ストカアルガ、サウ云フコトモ是ハ拔ケテ居ル、然ル所此度現行ノ行政裁判法デモ列記法ニナッテ居リマスカラ此法ニ掲ゲテ置カナケレバ其不服ノ途ヲ開ク場所ガ無イ、又今日行政訴訟裁判法ト云フモノモ審査中取調中デアルト云フコトモ承ッテ居リマスガ、是ニモ其通り同一デ矢張り列記法ニナッテ居ル、若シ各法律ニ其事ガ掲ゲテ無イトキハ矢張り其不服ヲ訴ヘル途ガ無イ、若シ之ニ掲ゲテ無ケレバ若シ此事ニ附イテ違法ノ處分或ハ不當ノ處分ヲ受ケテモ其者ノ訴ヘル途ト云フモノハサッパリ無イ、サウシテ見マスレバ若シ其場合ガアッタラバ是非茲ニ掲ゲルコトヲシナケレバナラヌ、サウ云フコトモ拔ケテ居ル、此事ニ附イテモ本員ハ是ハ誠ニ手拔ケ手落チデアラウト思フ、左モナケレバ一向人民ノ迷惑ヲ顧ミナイト云フヨリ外仕方ガナイ、ソレノミナリマセズ此三條ト申シマスモノハ實ニソレガ爲ニ或ハ經濟社會ニ非常ノ影響ヲ及ボスカモ知レヌ、ナゼト云フニ此相互會社ハ非常ニ膨脹スルニ違ヒナイ、他人ヲズンズン入レルコトヲ許シタナラバ實ニ何萬人ト云フ人ガ這入ルカモ知レナイ、サウシテ營業ヲスルト云フコトニナリマスレバ非常ニ膨脹スルコトニナル、又之ガ爲ニ折角保險會社ハ營利的ヲセヌト言ヒナガラ營利ヲスルト云フコトガ暗々裡ニ此中ニ在リマス、ソレデハハ斷然削除サレテ然ルベキモノト思ヒマス

○子爵小笠原壽長君 本員モ村田君カラ御述ニナリマシタ所ノ第三條削除説ニ大イニ贊成致シマス者デゴザイマス、是ハ委員會ノ時分ニ本員等此三條ニ

附キマシテ削除説ヲ出サウト思ヒマシタガ、ドウモ連モ委員會デハ削除説ガ成立チサウモゴザイマセヌカラ私ハ其時分ニ出シマセヌケレドモ、此保險業法案ノ喧マシイノハ三條デアリマス、是サヘゴザイマセヌケレバ本員等ハ實ニ此法案ハ完全ダラウト思ヒマス、一番喧マシイノハ三條デアリマス、此三條ガ今村田君カラ御述ニナリマシタ通り相互會社ノ性質トシテ性質外ノ除外例ヲ設ケル譯ニナリマスモデアリマスカラ一番喧マシイノデアリマス、ソレデ此第三條ガ削除ニナリマスレバ本員等ガ出シマシタ九十二條ニ附キマシテノ少數意見モ自然ニ消滅致シマシテ少數意見ヲ出シマスニ及ビマセヌ、其理由ハ唯今村田君カラ御述ニナリマシタ通りデアリマシテ、相互會社ハ他人ト保險契約ヲ結ブベキモノデハゴザイマセヌ、其事ハ政府委員カラモ御述ニナリマシテ性質上ハサウデナイガ、特ニ是ハ許スノデアルト云フコトヲ御述ニナッテ居リマスカラ、性質上カラ言ヒマシテモ是ハ決シテ許スベキモノデナカラウト思ヒマスカラ、本員ハ委員デゴザイマスケレドモ、村田君ノ第三條削除ハ大イニ贊成致シマス、ドウカ満場ノ諸君モ御贊成ヲ願ヒマス

○子爵谷干城君 贊成致シマス

○子爵内藤政共君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ修正デアリマスガ、削除説デアリマスカラ別ニ贊成ハ要リマセヌ

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡野敬次郎君) 唯今ノ本案ノ第三條ノ削除説ニ反對ノ理由ナリ言申上ゲタイト思ヒマス、段々此削除説ニ附イテノ理由ヲ御述ニナリマシタケレドモ、元來此株式會社ニ於キマシテハ若シ會社ノ得ル所ノ收入ガ會社ノ支出スル所ノ金額ヨリ大キクアリマスレバ是ハ株主ノ間ニ配當スルト云フノガ當然デアアル、株主ニアラザル者ニ利益ノ配當ヲ爲スト云フコトハ是ハ出來ヌノデアリマス、併ナガラ既ニ本案ノ第八條第七號ニ於キマシテ株式會社ニアッテモ矢張り株主ニアラザル或ハ保險契約者、被保險者又ハ保險金額ヲ受取ルベキ者ニモ利益ノ幾部分ヲ配當シテ宜シイト云フコトヲ認メタノデアリマシテ、現在ノ生命保險會社ノ中デモ矢張り此方法ヲ執ッテ即チ被保險者ヲ募集スルノ一ツノ便利ノ方法トシテ其配當ヲ爲シテ居ルモノガアルノデアリマス、デソレト同様ノコトデアリマシテ相互會社ニ在ッテモ矢張り原則トシテ恰モ株式會社ガ利益ノ配當ヲ他人ニ爲ス能ハザルモノデアアルニモ拘ラズ例外ヲ設ケルト同ク相互會社ニ在ッテハ原則トシテハ社員ニアラザル者ト契約

ヲ爲スノハ例外デアリマス、併ナガラ特ニ之ヲ許シタノデアリマス、又先刻村田サンガ御述ニナリマシタ點デアリマスルガ相互會社ガ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スコトヲ認メテ居ルノハ獨逸ト諾威ノ二ツデアアル、デ目下西洋デモ經驗中ノコトデアアルカラ其機ナ新シイモノヲ此法案ニ認メル必要ガナイト云フコトヲ御述ニナリマシタガ、私ノ今日マデニ調べタ所ノ結果ヲ申上ゲレバ、外國ニ於テハ相互會社ニシテ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スト云フコトハ差支ナイ、又事實規模ナ大キクシテ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲シテ居ルノデアリマス、ソレデ村田サンノ御引ニナリマシタ獨逸諾威ノハマダ是ハ法律ニナッテ居リマセヌノデ、是ハ保險會社ノ取締ニ關スル法律案デアッテ、此相互會社ガ廣ク社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲シテ居ルガ、併ナガラ弊害ガ有ルカラシテ何トカ制限ヲ設ケネバナラヌト云フ方カラ其法律案ニ制限ヲ設ケタノデアリマス、デ其法律案ガ即チ法律トナッテ實施セラレザル今日ニ於キマシテハ矢張り相互會社ハ社員ニアラザル者ト自由ニ保險契約ヲ爲シテ居ルノデアリマス、デ此本案ニ於テモ廣ク社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スコト云フコトハ相互會社ノ實ニ反スルモノデアリマスカラ、ソレデ此第三條ノ第一項ニ於キマシテモ特ニ免許ヲ必要トシテ居ルノデアリ、又會社ニ在ッテモ權利トシテ主張スルコトヲ許サヌノデアルト云フノデ第三條ノ第二項ヲ設ケタ譯デアリマス、デアリマスルカラ相互會社ト云フモノハ無制限ニ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲シテ其實株式會社ト同様、營理事業ヲ爲スト云フコトノ危險ノナイト云フコトハ此第三條ノ第一項並ニ第二項ノ精神カラ申シテモ誠ニ明ナコトデアラウト考ヘルノデアリマス、右ノ理由ヲ以チマシテ第三條ノ削除説ニ對シテハ政府ニ於テハ反對ヲ致ス譯デアリマス

○村田保君 質問シテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○村田保君 本員ガ先程述べマシタ所ノ肝要ノコトニ附キマシテハ、チットモ御辯駁ガナイト思フノデアリマス、是ハ本員ガ先程述べマシタガ、此條ト云フモノハ即チ相互會社ヲ膨脹サセル主意ダラウト思フ、他人ト契約ヲ結バシメマスレバ如何デゴザイマス、ソレハ何萬人ヤッテ來ルカ分ラヌ、澤山ノ者ト取引スルト云フコトニナッテラ普通ノ株式會社ト同ジコトデ、又營利ニナルニ違ヒナイ、何ゼト云フモノハ此基金ノ利息モ取レバ基金ノ剩餘金ノ配當ヲ取ル、其基金ヲ利用シテ貸金モスル、サウシテ利益ヲ取ルト云フコトニナッテラ殆ド是ハ營利會社ヂヤナイカト思フノデアアル、是ハ即チ此案ヲ以

テ特ニ此條ヲ以テモ相互會社ト云フモノハ膨脹サセルト云フコトハ明デアリ又獎勵ナスルト云フコトモ明デアル、又此法案ト云フモノハ重モニ相互會社ヲ主トシテ立タモノニ違ヒナイト云フノモ明デアル、此條ヲ御覽ニナッテモ分ル、其證據ニハ株式會社ハ相互會社ヲ準用スルト云フコトガアル

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡野敬次郎君) 簡單ニ御答致シマス、第一ニ本案ニ於キマシテハ相互會社ニ關スル規定ハ數十條ノ多キニナッテ株式會社ニ附イテハ誠ニ簡單デアルト云フコトガ一つノ理由ノコトニ承リマシタガ、相互會社ト云フモノハ株式會社デアリマセヌニ依ッテ商法中株式會社ニ關スル規定ヲ相互會社ニ籍メルニ附イテハ特ニ明文ヲ必要トスルノデアリマス、併ナガラ商法ノ中、株式會社ニ關スル規定ハ其目的ノ保險デアルト否トナ問ハヌデアリマシテ總テノ株式會社ニ籍マルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此本案ニ於テ株式會社ニ關スル規定ハ即チ商法ノ例外規定デアアル、例外規定デアリマスカラ明文ノナキ限リハ總テ商法ノ規定ニ從フノデアリマスカラ、此株式會社ニ附イテ規定ガ僅カ數條ニ止ッテ居ルト云フコトハ誠ニ當然ナコトデアリマス、又其例トシテ先刻モ第二十一條ニ附イテ「商法第二百十條ノ規定ハ保險ヲ營業トスル株式會社ニハ之ヲ適用セス」ト云フ規定ノアルノハ甚ダ理由ノナイコトデアルト云フコトヲ仰セラレマシタガ、商法ノ規定ガ全部籍マルノガ當然デアリマスカラ二百十條ダケノ規定ハ籍メナイト云フ主意ヲ以テ特ニ茲ニ明文ヲ掲ゲタ譯デアリマス、其他十五條カラ第二十六條ニ至ルマデノモノハ……

〔村田保君各條ニ至ッテハ又其條ニ至ッテ宜シウゴザイマス〕ト述フ

總テ例外ノ規定デゴザイマスカラ其點ハ十分ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、又相互會社ニ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ許シタトキニハ萬人或ハ何十萬人ト契約ナシテ而シテ營利的ノ事業ヲ爲スト同一ノ形跡ヲ現シハセヌカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ度々本院ニ於キマシテモ又委員會ニ於キマシテモ再三述べタ點デアリマスカ、第三條ニ於テ相互會社ガ當然社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲ス權利ヲ持ッテ居リマシタナラバ、唯今村田サンノ述べラレタ通りノ結果ニ或ハ陷ルカモ知レマセヌ、併ナガラ此三條ニ於テ何故ニ特別ニ免許ヲ必要トスルカ、第二項ニ於テ何故ニ前項ノ免許ハ何時デモ取消スコトガ出來ルカト云フコトヲ定メタカ、其主意カラ察シマシテモ即チ相互會社ト云フモノハ、名ヲ相互會社ニ藉リテ其實營利的ノ保險ヲセヌヤウニ

ト云フノ主意ヲ以テ之ヲ設ケタト云フコトハ誠ニ明瞭デアアル、又此第三條ノ主意ト云フモノモ全クソコニ在ルノデアリマシテ、相互會社ガ原則トシテ社員ダケニ限ルモノガ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スコトヲ主トスルガ如キニ至ッテハ即チ相互會社ノ實ニ反スルモノデアアルカラシテ特ニ免許ヲ必要トシ、尙ホ其免許ヲ取消スコトヲ得ト云フコトヲ定メタノデアリマシテ、唯今ノ何萬人或ハ何十萬人ト保險契約ヲ爲スガ如キコトヲ禁ズル、ソレヲ制限スル爲ニ本條ヲ置イタノデアリマスカラ其點モ十分御了解ヲ願ヒタイノデアリマス

○村田保君 サウシテ見マスレバ若シサウ云フ譯ナラ初カラ免許ヲセヌ方ガ宜シイ、外ノモノニ限制ヲ附ケテ、サウシテ是ヨリナラヌトカ、サセヌトカ云フコトナラ初カラ免許ヲ與ヘナイ方ガ宜シイト存ジマス、初カラ此會社ハ他人ト契約ガ出來ルト云フ免許ヲ與ヘタラ其上幾ラヤッテモ仕方ガナイ、何十萬人ニナッダカラソレハナラヌ、取消スト云フコトニナッダラ非常ナ迷惑ヲ感ズル、膨脹シテソレヲ取消サレタラ如何デゴザイマス、非常ナ迷惑ヲ感ズル、ソレ故段々大キクスルヤウナコトニナッダラ取消スト云フコトナラ初メカラヤラヌ方ガ宜シイ、初カラ與ヘナイ方ガ寧ロ人ニ迷惑ヲ掛ケヌコトニナルデアラウト思ヒマス

○子爵小笠原壽長君 本員モ一ツ政府委員ニ質問シマスガ、唯今段々政府委員ガ此第三條ニ附イテ御辯明ガアリマシタガ、ドウモ本員ノ腹ニ這入リマセヌカラ一應御尋致シカスガ、唯今ノ御答辯デ見マスルト、相互會社ガ多數ノ被保人ヲ募ルヤウニナッタトキニハ營業的ニナルカラ、サウ云フ場合ニハ許可ヲシナイ、斯ウ云フ御答辯デゴザイマスガ、サウスルト此三條ハドウ云フ必要ガアリマスカ、ドウ云フ場合ニ相互會社ガ他ノ者ト保險契約ヲ結ブコトヲ申出タトキニハ御許ニナルノデアリマスカ、如何ナル場合ニ之ヲ許ス必要ガアルノデアリマスカ、其必要ノ場合ヲ一ツ御話ヲ承リタウゴザイマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 簡單ニ御答ヲ致シマス、先刻私ノ述べマシタ主意ハ相互會社ガ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲ストキニハ豫メ其免許ヲ受ケル、其免許ヲ得テ幾萬人或ハ幾十萬人ト契約ヲ爲スト云フ事實ガ現レタトキニ於テ第三條ノ第二項ヲ適用スルガ如ク私が述べタヤウナ唯今ノ御話デアリマスガ、私ノ申シタノハサウ云フ主意デハナイノデス、特ニ免許ヲ必要トスルト云フニ附キマシテハ固ヨリ相互會社ノ實アラシムルダケノ制限ヲ附ケテ特ニ免許スルノデ、又此法案ノ精神モ其處ニナクテハナラヌノデアリマス、

例へば社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲ス所ノ保險金額ハ相互會社ノ全體ノ保險金額即チ總額ノ五分ノ一以下デナケレバナラヌトカ、或ハ六分ノ一ヲ超エルコトハ出來ヌトカ云フヤウナ制限ヲ附シテ始メテ免許ヲ與ヘルトカ、又其保險契約ノ保險期間ガ永ク續クト云フコトデハ或ハ又弊害ヲ生ズル虞ガアルカモ知レマセヌカラ、或ハ契約ノ種類或ハ契約ノ期間ニ附イテモ制限ヲ設ケテ之ヲ許スト云フコトハ本議場ニ於キマシテモ又委員會ニ於キマシテモ屢々述ベタ點デアリマス、何ガ故ニ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スコトヲ許サネバナラヌカト云フ理由ニ至リマシテハ、唯今モ述ベマシタ通り相互會社ト云フモノニ附イテ保險契約ヲ爲スカ、或ハ株式會社ニ附イテ保險契約ヲ爲スカ、當事者ノ擇ブ所ヲ制限スルノ必要ガナイノデアリマス、デ株式會社ニ附テ保險契約ヲ爲シテ或ハ幾分ノ割戻ニ與ルガ己ノ利益カドウカ、或ハ相互會社ニ向ッテ社員トナレバ無限責任或ハ共同責任ヲ負擔セネバナラヌガ或ハ契約ヲ爲サムトスル者ガ其契約ヲ爲スニ附イテ其責任ヲ己ニ負擔スルコトヲ好マヌト云フヤウナコトモアリ得ルノデアリマス、其場合ニハ社員ト爲ラズシテ相互會社ニ就イテ保險契約ヲ爲ス、若シ是ガ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スノガ弊害ガアルトスレバ、ドウシテモ之ヲ抑ヘネバナラヌ、サレバト云ウテ別ニ之ヲ禁ズルト云フ理由モナイノデアルガ、併ナガラ唯今申述ベタ如ク弊害ニ陷ラヌヤウニ此條ニ免許ノ取消ト云フコトヲ規定シテアルカラ弊害ノ生ズル虞ハナイモノト見ル、弊害ノ生ズル虞ガナイモノトシマスレバ特ニ社員デナクシテ契約ヲ爲スナラバ何デモカンデモ株式會社ニ就イテ契約ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ法律ガ定メル必要ハナイノデアリマスカラ、ソレデ相互會社ノ一方カラ云ヘバ被保險者ノ便利、又相互會社ニ於テ營業上必要ナ場合ト認メラレルトキニハ之ニ許シテモ差支ナイト云フ考デアリマス

○子爵小笠原壽長君 モウ一ツ伺ヒマスガ、サウスルト相互會社ニシテ社員ニアラザル者ト契約ヲ爲スコトヲ政府ガ御許ニナル場合ハ金額ト人員トニ大凡ノ定ガアッテ、ソレハ政府ノ御手心ニ依ッテ此位ノ金額ハ許シテ宜カラウ此位ナ人數マデハ許シテ宜カラウト云フコトヲ手心デ御極メニナルノデアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、營業ノ免許其他總テ法律ノ規定ニ依ッテ免許ヲ請フト云フコトニ附イテハ其免許ヲ與ヘヌトカ或ハ免許ニ附イテ制限ヲ加ヘルトカ凡テ免許ヲ拒ムト云フヤウナコトニ附イテハ訴ヘル

ノ途ハアリマセウガ、併ナガラ其救濟ノ途ト云フモノハ即チ行政官廳以上ノ救濟ノ途デアリマスカラ、行政官廳ニ於テハ違法デナイ或ハ利益ヲ傷害シナイト云フコトノ認定ガアル以上ハ總テノ免許ニ附イテ之ヲ許否スルコトガ出來ル、唯其許否ガ正當デアルカ否カト云フコトヲ爭フノガ或ハ訴願ナリ或ハ行政訴訟ナリノ目的デアリマス、デアルカラ是ハ免許ヲ與ヘテ相當デアルヤ否ヤト云フヤウナ事實ノ認定等ハ行政官廳ガ自由ニ之ヲ定メルコトガ出來ナクテハナラヌノデアリマス、ソレデ本條ノ免許ニ附イテモ同様デアリマスガ、然ラバ如何ナル制限ヲ設ケルカ、或ハ保險契約ノ種類ニ依リ、或ハ保險會社ノ定款ニ依リ、事業方法書ニ依リ、其他種々ノ事情ヲ斟酌シテ定メナクテハナリマセヌガ、ソレデ法律ニ是ダケノ制限ヲ設ケルト云フコトハ規定致シマセヌノデ、詰リ其實質ハ相互會社ヲシテ相互會社タルノ實アラシムルダケノコトヲ認定シテ始メテ制限ヲ附シテ許スト云フコトニスル考デアリマス

○辻新次君 第三條ノ削除説ガ出マシタガ、第三條ヲ設ケルノ必要ハドウ云フ點ニ在ルカト云フコトヲ小笠原子爵カラ問ハレマシタ、其御答辯ハ最モ薄弱ナルモノデ十分ニ我々ニ了解ガ出來マセヌ、抑相互會社ハ第九十一條ニ營利ヲ目的トセザル社團法人ト同一ノ登記稅ヲ納メサセルト云フコトガ明記シテアル所カラ見ルト、詰リ營利ノモノデナイ、故ニ九十一條ニ社員名簿ノ記載ニ附イテハ登録稅ヲ課セズトアリ、又九十二條ニモ營業稅ヲ課セヌト云フコトニナッテ居ルモノト見エマスノデ、然ラバ相互會社ト云フモノニハ營利ノ事業ハサセナイト云フノガ原則デテルヤウニ見エテ居ル、然ニハ第三條デ營利ノ事ヲサセルト云フコトデアルノデス、ソレハドウ云フ必要デ相互會社ノ性質ノモノニ營利ノ事ヲサセヌケレバナラヌノデアルカ、西洋ニアルト云フヤウナ御話モアリマシタケレドモ、ソレハ其國々ノ國勢ノ有様モアルコトデ、色々ノ歴史モアルコトデアリマセウガ、今看ス看ス弊害ガアルト云フコトヲ見ナガラ西洋ノ眞似ヲスルト云フヤウナ御答ハ一向分ラヌ御答ト言ハヌケレバナラヌ、私ハ……弊害ガナイカラドウモ斯ウ云フコトヲ掲ゲテ置イテモ差支ナカラウト云フノデアルガ、即チ弊害ガアル、何ゼアルト云フノハ營利ヲ目的トセザルト云フモノデアアルカラ登録稅モ課セズ營業稅モ課セザルノニ、ソレガ商賣、營利的ノコトヲスルト云フコトハ甚シイ弊害ガアルト見ニヤナリマセヌガ、何分ニモザウ云ヌコトデ、ドウデモ此營利ヲ目的トセザル相互會社ニ營利ヲサセヌケレバナラヌト云フ必要ハ唯今マデノ御説明デハ誠ニ分リマセヌカラ、モウ一應ドウゾ委シイコトヲ御尋シタイ

○渡邊洪基君今御質問モ出テ居リマスガ、本員ハ第三條ノ削除ニ反對ノ意見ナ...

○議長(公爵近衛篤磨君) 御意見デスカ

○渡邊洪基君 意見ヲ述べルノデ

○議長(公爵近衛篤磨君) 演壇デ願ヒマス

〔渡邊洪基君演壇ニ登ル〕

○渡邊洪基君 此三條ヲ削除スルコトニ附キマシテハ餘程大切ナコトデアリマシテ、實ニ是ハ此法中ノ一大眼目ノ條ダと思ヒマス、抑此株式ノ保險會社ト云フモノハ營利ト云フコトヲ顯リニ申サレマシテ、成ル程營利會社ニ相違ナイ、相違ナイガ此保險ト云フモノハ抑大變ニ儲カルモノデハナイ、大變ニ利益ノアルベキモノデハナイ、是ハ正シク堅固ナ保險會社デアレバ決シテ大變ニ儲カルモノデハナイ、性質上、保險ト申スモノハ相互的ノモノデアッテ營業トスルト云フノハ唯其間ノ手數ヲ取ルト云フニ過ギヌ、其間カラ算出シタノデアアル、格別保險會社ノ大變ニ儲カル、競争シテ儲カルト云フコトハ有リヤウハナイ、不正ナコトヲ致サヌ以上ハ...ソコデ此保險ノコトト云フモノハ大抵今日マデモ往々弊ガアリマスルケレドモ、大抵其弊ノ起ル所ハ元々互ニ相知ッテ居ルトカ、保險會社ノ人ヲ知ッテ居ルトカ何トカ互ノ方カラ見テ居ル、唯保險ガ安イトカ高イトカ云フヨリハ、互ニ知ッテ居ル信用上カラ成立ッテ居ルモノデアアル、カルガ故ニ保險會社ガ一箇所ニアレバ自然一箇所ニ偏スルモノデアリマス、サウ云フ性質ノモノデアリマス、ソレデ相互會社ガ起レバ、是ガ果シテ斯ノ如キ法律ガ出來タラ陸續起ルカドウカ知リマセヌケレドモ、是ガ起レバ必ズ互ニ相知ッテ居ル人ノ集ッテ居ルモノデアアル、其集ッテ居ル人ニ向ッテ其方ニ信用ノ多イ者ガ、ソレガソレニ依ッテ保險ヲシテ貰フ、併ナガラ相互會社ノ社員ニナレバ責任ナ...餘計ナ責任ヲ負ハナケレバナリマセヌカラ、其責任ヲ負フコトハ出來ヌガ保險ハシタイト云フコトハ是ハ自然出來ルコトデアアル、又實際極ク宜イコトデアアルと思フ、例ヘテ申セバ一地方ニ於テ大キナ者ガ、財産ノアル人ガ互ニ相互會社ヲ起シテ、サウシテ細カイ小民ガソレニ向ッテ保險ヲ請ヒタイ、保險ヲ契約シタイト云フヤウナコトハ誠ニ美風デアアルシ、又獎勵シテモ宜イコトデアアル、其道ヲ塞グト云フコトハ出來ナイ、カルガ故ニ此免許ヲ特ニ與ヘルノデアリマスカラ、特ニ保險ヲ致ス目的ヲ極メテ、サウシテ其理由ヲ附シテ免許ヲ請フ、理由ガ相當デアレバ其理由ニ向ッテ相當ノ制限ヲ設ケテ免許ヲ渡ス、ソレガ或ハ其範圍

内ヲ超エテ即チ株式會社デモ出來ルコトヲ相互會社デスレバ...スルヤウナコトガアレバ其免許ヲ取消スト云フヤウナコトニシテアルノデアリマスカラ、之ヲ拒絕スルノハ甚ダ是カラ先ノ社會ノ信用發達ヲセシムルノ妨害ニナリマス、併ナガラ成ル程相互會社ト云フモノヲ設ケテ置キ、株式會社ト云フモノヲ掲ゲテ置イテ、無制限ニ致シタイニハ、成ル程是ハ亦イケヌ譯デアリマスカラ、是等ノコトハ十分主務官廳ニ於テ活眼ヲ以テ相當ノ制限ヲ立テルコトガ必要ト思ヒマス、カラシテ第三條ノ削除ニ反對デアリマス

○村田保君 質問ヲ致シタイ、私ハ政府委員ニ質問ヲ致シタイ、政府委員ニマダ段々質問シタイコトガアル、先程政府委員ガ...本員ハ斯ウ云フ相互會社ニ一般ノ契約ヲ許スト云フヤウナコトハ獨逸或ハ諸威位ノ草案ニ在ルト云フコトヲ申シタ、所ガサウデナイ、マダ外ニモ段々アルト云フコトヲ言ハレマシタガ、本員ノ承テ居ル所デハ斯ウ云フコトハ外ニナイト思フ、第三者ト契約スル場合ニハ免許ヲ要スルト云フヤウナ斯ノ如キコトハ外國デハ覺エマセヌガ、三條ノ如キヤウナ場合ガアルト云フヤウナ御話デゴザイマスガ、外國ノ何處何處ノ國ニアリマスガ、段々御調ニモナッテ居リマセウカラ、ソレト同ジヤウナコトヲスルト云フ例ヲ第一ニ伺ヒタイ

〔政府委員矢野恒太君演壇ニ登ル〕

○政府委員(矢野恒太君) 唯今ノ御質問ニ短簡ニ御答致シマスガ、此保險會社ガ...相互保險會社ガ追拂ノ義務ヲ免除シテ、サウシテ若シ保險料ガ足ラナカッタトキニハ後トカラ尙ホ出スト云フ約束ノナイ契約ナスルノハ所謂其社員外ノ契約デゴザイマス、社員ニアラザル者ト契約ナスルノハ多ク其種類ノモノヲ言フノデアリマスガ、亞米利加ノ保險會社、ソレカラ英吉利ノ保險會社、ソレカラ白耳義、和蘭、ソレカラ私ノチヨット調ベマシタ所デハ澳地利モ這入ッテ居ル、獨逸モ這入ッテ居ル、露西亞ニ附イテハ斯ウ云フモノガ有ルカ無イカ能ク覺エマセヌガ、先ヅ保險ノ盛ンニ行レル所デハ悉ク實際ニ行レテ居リマス、所謂獨逸デ云フみづと、おえずとふれみー即チ特別ノ契約デゴザイマス、サウシテ獨逸ト諸威ノ法律ノ草案ニ此種類ノ如キモノヲ政府デ特別ノ免許ヲ得レバ許スト云フコトガ法律ノ草案ニ載ッテ居ル、是ハ全ク獨逸ト諸威ノ外ニモアルカ知リマセヌガ實際ニ於テ斯ノ如キ保險營業ハ各國ニ行レテ居ラヌヤウデゴザイマス、ソレカラ先刻何故ニ第三條ノ如キ斯ノ如キ箇條ヲ置クノ必要ガアルカト云フ御質問ガ最モ重ナル御質問ノヤウニ考ヘマスカラ此事ニ附イテ其理由ヲ一ツ補ッテ置キタイト思ヒマス、譬ヘバ此保險事業ガ日本

デ大變ニ進歩致シマシテモ、或ル地方ニハ相互主義ノ保險ガ行レ、或ル地方ニ於テハ株式主義ノ保險ガ行レ、或ル種類ノ人ノ間ニハ相互主義ガ行レ、又或ル種類ノ人ノ間ニハ株式主義ノ保險ガ行レルト云フコトハ、ドウシテモ免レヌコトデゴザイマシテ、既ニ保險營業ヲスル適當ナル組織ハ一個人デハイケナイ所モアリ、合名ニ許シテモイケナイ所ガアリ、合資デモ宜クナイ所ガアル、斯ウシテ指テ折ッテ見ルト保險業ト云フモノハ株式組織ト相互組織トノ二ツヨリ外ニナイヤウデアアルカラ、相互組織ニ許シ株式組織ニ許スノデアリマス、然ルニ或ル地方ニハ非常ニ相互組織ノミガ盛ニナッタ地方ガアルト致シマスルト、相互組織バカリデ火災保險マデモ相互組織デヤッテ居ル、然ルニ斯ノ如キ地方ニハ病院モアリ學校モアリ、其他斯ノ如キ公立ノ建物ノ如キモノニ火災保險ヲセネバナラヌノ、其土地ノ病院學校ト云フモノガ損ガイッタル幾ラデモ私共保險料ヲ出シマセウト云フ所ノ責任ヲ負ッテ相互會社ノ社員ト爲ッテ保險契約ヲスルノハ誠ニ出來惡クイコトデゴザイマス、斯ノ如キ分ヲ若シ此法律ニ於テ相互保險ニ社員外ノ者ト契約スルコトヲ嚴禁シタナラバ幾ラ遠方マデ出テ行ッテ見テモ其地方ニ株式會社ノ手が伸ビテ居ナイナラバ、遂ニ株式會社ノ在ル所マデ行ッテ保險料ヲ拂ヒニ行ッテ保險契約ヲシナケレバナラヌノデアリマス、デ一般ニ相互主義ト云ハズ株式主義ト云ハズ保險事業ト云フモノガ日本ノ經濟社會ニ於テ全體ニ必要ト認メル以上ハ斯ノ如キ場合ニハ又相互保險會社ヲシテ病院學校等ハ社員ト爲ランデモ其建物ヲ保險スルコトヲ許スナラバソレダケ保險事業ヲ廣メルト云フ便利ガアル、又日本ノ保險事業ヲ盛ニスルノ一法デアラウト考ヘルノデアリマス、既ニ西洋各國ノ法律ノ草案ニ譬ヘバ諾威獨逸ノ草案ニハ明瞭ニ此事ヲ特別ノ許可ヲ受クレバ許スト云フコトニシタ理由モ其一ツデゴザイマシテ、タッタ一箇國デハゴザイマスガ現ニ相互會社ノ規程ニ殊更ニ明瞭ニ書イタモノハ近來ノ獨逸ノ草案ト諾威ノ草案トタッタニツシカゴザイマセヌ、他ノ國ニ於テハマダ相互會社ガ許可ヲ得ズシテ特別ノ保險業法ノ如キ特別ノ制裁ヲ受ケズシテ自由ニヤッテ居ルノデゴザイマスガ、獨逸ナリ諾威ニハ此相互會社ニ關スル規程モ委シク株式會社ノ如ク持ヘナケレバ幾ラ組合デスル事業トハ云ヘ弊害ガ起ッテ來ルカラト云フノデ、ソレデ委シイ制裁ヲ加ヘルト云フ案ガ出テ居ルノデアリマス、澳地利ニ於テモ多少斯ウ云フヤウナコトガゴザイマスガ、特別ニ相互會社ト云フ條項ヲ設ケテ澤山ニ制裁ヲ加ヘタノデハゴザイマセヌ、然ルニ玆ニ提出致シマシタ法案ニハ株式會社ニ附イテハ特別ノ條項ガゴザイマス

ガ、相互會社ニモ何カ制裁ヲ加ヘナケレバ何デモ相互會社ナラバ宜イト云フ無制裁ノ相互會社ヲ持ヘタナラバ非常ノ弊害ガ起ルデアラウト云フノデ斯ウシマシタ、斯ウシマシタノニハ今ノ二箇國ノ法律ノ草案ノ如キモノヲ參考サレマシタノデゴザイマス、先刻來御話ノゴザイマスルヤウニ西洋ノ草案ニアルカラ、ソレヲ取ッテ此條ヲ加ヘタト云フノデハナクシテ、大イニ其理由ニ取ルベキ所ガアルカラ之ヲ加ヘタノデゴザイマス

○村田保君 少シ御尋シマスガ、サウシマスルト外ノ國ニハナイ、歐羅巴デモ相互會社ト云フノハ先ヅ外ニハナイ、矢張り其一個人ノ私ガドンナコトヲヤッテ居リマセウガ法律上デサウ云フモノヲ認メテ居ル國ハナイ、唯獨逸ト諾威ガ此法律ト同ジ法律ガ出來ルト云フノデ草案ガ成ッテ居ル、其法律ノ草案ニ御倣ヒオスッテ御設ニナッタ譯デゴザイマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスルガ、度々先刻カラ申上ゲマシタ通り外國デハ相互會社ガ社員ニアラザル者ト保險契約ヲ爲スノハ當然デアルト何モ法律上制限ナ加ヘテ居ラヌノデゴザイマス、獨逸ニ於キマシテモ諾威ニ於キマシテモ同様デ、現行ノ法律ニ於テハ何ノ制限モナイノデアリマス、デアリマスカラ社員デナイ者モ保險契約ヲ爲スコトハ極メテ會社ノ自由ニ今日ハナッテ居ル有様デアリマス、併ナガラソレハ將來弊害ノ本ニナルカモ知レヌト云フノデ獨逸ト諾威ニ於テハ完全ナル保險會社ノ取締法ヲ規定スルニ當ッテ、初メテ其草案ニ制限ヲ設ケル箇條ヲ持ヘタノデゴザイマス、其事實ヲ誤解セラレヌコトヲ希望スルノデゴザイマス

○村田保君 先程本員ガ申述べタ所ニマダ御答辯ガゴザイマセヌカラ、ソレヲ伺ヒタイ、此基金ハ誰カラデモ出セル、何人ガ出シテモ宜イ、社員デナクテモ誰デモ出來ル、サウスルト其基金ハ利用ノ道ガ許シテアル、其利用ハ何カト云フト金ヲ貸シテ利ヲ取り、或ハ債券ヲ抵當ニシテ金ヲ貸スト云フコトモ出來ルト云コトデアアル、サウスルト銀行ト殆ド同ジモノデヤナイカト思ヒマス、即チ抵當ヲ取ッテ金ヲ貸スト云フコトニナッタ殆ド銀行ト同ジモノニ見エル、サウシテ見マシタナラバハ比營業ハ營利的ノモノデハナイカト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、唯今ノ村田サンノ御説ハ本案ニ認メテ居リマスル所ノ基金ト云フモノノ性質ヲ誤解セラレテ居ル所カラ起ッテ御質問デハアルマイカト思ヒマス、デ株式會社ニ於テ資本ガ十萬圓ナケレバナラヌ、相互會社ニ於テモ同様其資本ニ當ル所ノ基金ガ矢張り十萬圓

ナケバナヲマノデアリマス、此相互會社ノ設立ニ附イテ基金ナルモノヲ必要トスルカ或ハ基金ナクシテ相互會社ノ設立ヲ認メルガ宜イカト云フコトハ一ツノ立法上ノ問題デアリマス、會社ガ設立セラル、際ニ當ッテハ御承知ノ如ク設立ノ費用ト云フモノガ随分掛ル、又社員募集ト云フコトニ附イテモ此法律ニ於テハ百人ヲ最少限トシデアリマスガ、中々此保險事業ヲ爲スノニ千人ヤ五千人ノ人數ヲ満足スルコトハ出來ナイソデアリマスカラ、愈々保險事業上ニ好成績ヲ得ムトスレバ全國ニ向ッテ被保險者ヲ募集セヌケレバナリマセヌ、其募集ニ附イテモ又費用ガ掛ルノデアアル、其設立ノ際ニ當ッテハ斯ノ如ク多額ノ費用ガ要ルノデアリマシテ、其費用ヲ悉ク償却シテシマヘト云フコトヲ法律ガ示スノハ恰モ保險會社ノ設立ヲ禁ズルト同一ノ結果ニナルト認メタノデアリマスカラ、ソレデ本案ニ於キマシテハ株式會社ニ於テモ亦相互會社ニ於テモ「十年ヲ超エサル期間内ニ於テ定款ノ定ムル所ニ從ヒ毎年其ノ一部ヲ償却スルコトヲ得」ト定メタノデアリマシテ、詰リ基金ハ其設立ノ困難ヲ救フ爲ニ又或ル期間内ニ於テ保險金ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ事由ガ生ジタトキハ或ハ三割ヲ減ジテ拂フ或ハ五割ヲ減ジテ拂フ、又或ル期間内ニ於テハ事由ガ生ジテモ一切保險金ヲ拂ハヌト云フヤウナ規定ヲ設ケテ始メテ相互會社ノ設立ヲ許シテ居ルノデアリマス、デ其方法ハ即チ基金ナクシテ相互會社ヲ設立スルノ方法デアリマスガ、併ナガラ株式會社ニ於テ十萬圓必要トスル理由ハ矢張り相互會社ニ於テモ其基金ヲ必要トスルノデアリマスカラ、其簡易ナ設立ノ方法ヲ認メズ相互會社ノ基礎ノ初ヨリ鞏固ナルコトヲ希望スルガ爲ニ基金ノ十萬圓ヲ必要トシタノデアリマス、其基金タルヤ決シテ村田サンノ御話ノヤウニ他ニ貸シテ利息ヲ取ルト云フ爲デアリマセヌ、會社ノ設立ニ附イテ費用ガ掛ル、又勿論計算ノ狂ヒガ生ジテ會社ガ計算以上ノ保險ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ必要ガ生ジタナラバ其基金ヲ擔保トスル、其主意ヲ以テ基金ヲ必要トシタノデアリマス、尙ホ一言附加ヘテ置キマスガ、基金ノ利息ハ直チニ拂フ、併ナガラ株式會社ニ於テハ直グニ利益ノ配當サスルコトガ出來ヌト云フノハ不權衡デアルト云フ御話ガアッタヤウデアリマスガ、是ハ基金ハ借リテ來タ金デアリマス、借リテ來タ金ニ利息ヲ拂フノハ當然ノコトデアリマス、株式會社ノ釀出シタ金ヲ以テ會社ノ資本トシテ營業ヲ爲ス上ニ於テ利益モナイニ利益ヲ御互ノ間ニ分配スルト云フノハ法律ガ之ヲ禁ズルノハ當然ノコトデアアル、即チ基金ヲ釀出シテ此利息ヲ拂フノハ當然デアリマス、株式會社ノ株主ニ對シテ利益ガナイノニ利益ヲヤルト云フコトハドウ

シテモ出來ナイノデアリマス、決シテ株式會社相互會社ノ基金ガ一方ニ利益ノ配當ヲ禁ズル以上ハ一方ニモ利益ヲ拂フコトヲ禁ゼヌナラヌト云フコトニハナラヌノデアリマスカラ、序ナガラ一言申シテ置キマス

○馬屋原彰君 本員モ矢張り三條ヲ削除スル村田君ノ說ヲ贊成シマスガ、併ナガラ若シ此村田君ノ說ガ不幸ニシテ成立タナイト云フヤウナ場合ハ本員ハ第二項ダケハ是非削除シタイト思ッテ居リマス、私ハ別ニ是ダケヲ申述ベテ置キマス、是ハ何セカト申スニ簡單ナ理由デ行政官廳ハ何時ニテモ前項ノ免許ヲ取消スト云フコトハ随分範圍ノ廣イ話デ、無論ハ何カ公益上ニ有害ト認メル場合デアリマセウケレドモ、此法文デ見ルト官廳ノ見込次第何時デモ出來ルノデアアル、然ルニ前會ニ於テ政府委員ニモ質問致シマシタ通りノ次第デアッテ、此裏面ニ附イテハ何モ救済ノ途ガ設ケテナイ、デ他日行政裁判權限法ノ如キモノガ出ルト云フコトデアリマスケレドモ、ソレナラ必ズ其方ニ入レラレル精神カト御尋申シタ所ガ、ソレハハッキリ御答辯ガナクシテ、ソレハ其時ノ場合デ明言ハ出來ヌト云フノデアリマスカラ、益々本員杯ハ不安心ニ思フノデアリマス、依ッテ是ハ第二項ダケハドウシテモ此際ニ削除致シタイ希望ガアリマスカラ、ドウゾ諸君ニ於キマシテモ村田君ノ說ガ成立タナカッタ場合ニ於キマシテハ此場合ニ項ノ削除ニ御贊成アラムコトヲ希望致シマス

〔村田保君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) マダ此箇條ニ附イテ議論ガアリマスカ

○村田保君 マダ質問シタイコトガ澤山アリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ休憩ナシマス、其前ニ一條二條ダケハ御議論ガナイヤウデアリマスカラ決シテ置キタイト思ヒマス、一條二條ハ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(候爵近衛篤磨君) 然ラバ是ダケハ原案ニ決シマス、是デ休憩致シマス

午後零時十六分休憩

午後一時十四分開議

○副議長(候爵黒田長成君) 今朝議決ニナリマシタ賀表捧呈ノ爲ニ近衛議長ハ參内ニ相成リマシタ、就キマシテ本員暫ク本席ヲ保チマス、是ヨリ午前ノ會議ヲ繼續致シマス

○村田保君 政府委員ニ質問致シタイノデアリマスガ、先程政府委員カラノ答辯デスト基金ト云フモノハ資本金ト云フモノハ性質ガ違フト、性質ノ違フトハ本員モ承知シテ居リマスガ、基金ト云フモノハ詰リ創立ノ費用ニナルモノデ、基金ガナケレバ創立ハ出来ナイモノト考ヘマスガ、然ルニ政府委員ハ基金ガナクテモ創立ガ出来ルト云フヤウナ風ニ述ベラレタガ、ドウモ本員ノ考デハ此相互會社ト云フモノニハドウシテモ基金ト云フモノハ備ヘナクテハナラヌ、何ゼト云フニ此二十九條ヲ見マシテモ、基金ト云フモノハ十萬圓ヨリ下ルコトハナラヌ、又六十一條ヲ見マシテモ基金ヲ償却シマシタトキニハ、ソレト同一ノ金額ハ必ズ積立ッテ置カナクテハナラヌト云フコトデゴザンスレバ、是ハドウシテモ基金ト云フモノハ相互會社ニナクテハナラヌ、ソレデ固ヨリ此基金ト云フモノハ株式會社ノ資本ト違フト云フコトハ明ニ分ツテ居リマスケレドモ、併シ債務ノヤウナモノダカラ償却ナシナクテハナラヌ、償却スレバソレダケハアトヘ始終備附ケテ置カナケレバナラヌモノダト思ヒマスガ、政府委員ノ答辯デハ基金ガナクテモ相互會社ハ出来ルト云フヤウニ聞エマシタガ、ソレハ如何ナモノデゴザイマス

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員〔岡野敬次郎君〕 御答致シマスルガ、先刻私ノ述べタコトヲ村田サンハ誤解セラレタノデアリマイカト思フ、本案ニ於キマシテハ基金ヲ必要ナリト認メタノデアリマスカラ、相互會社ニハ是非基金ガナケレバナラヌト云フコトハ當然デアアル、併ナガラ基金ナケレバ相互會社ノ設立ヲ認メナイトスル方ガ宜シイカ、或ハ基金ガナクテモ宜イカト云フコトハ立法上ノ問題デアルト云フコトヲ先刻申述べタノデ、基金ヲ必要ナリトスル方ノ理由ガ強イニ依ッテ本案ニ於テハ基金ヲ必要ナリトシタト云フコトヲ述べタノデアリマスカラ、唯今引用セラレタ箇條ニ於テ基金が必要デアルト云フコトハ、是ハ特ニ説明スル必要ハナイノデアリマス、唯外國ノ相互會社ト云フモノハ認メルニ附イテ或ハ基金ヲ必要トスルモノモアリ或ハ必要トセザルモノモアル、ソレハ一ノ問題デアアル、併ナガラ既ニ株式會社ニ於テモ設立費用ノ幾分ヲ償却シ又會社ノ擔保トシテ資本が必要デアルト云フコトヲ認メル以上ハ相互會社ノ設立ニハ困難ヲ感ズルコトハ當然デアアルケレドモ、併ナガラ會社ヲ鞏固ニスル點カラ基金ヲ必要トスルト云フ主義ヲ取ッダノデアアル、即チ基金ガ相互會社ノ設立ニ必要ナリト云フコトハ勿論本案ニ於テ採用シタ所デアリマスガ、誤解セラレタ點チ一應辯解シテ置キマス

○村田保君 ソレハソレデ宜シウゴザイマスガ、尙ホモウ一ツ本員ガ述べマシタ中ニ、基金ト云フモノハ何モ社員カラ出サナケレバナラヌト云フモノデハナイ、随分外ノ者カラデモ出セル、サウスレバ幾ラモ出セル譯デアアル、又此基金ト云フモノハ利用スルコトモ出来マセウ、利用スルコトニナッタラ或ハ金ヲ貸付ケルコトモ来出ル、サウスレバ銀行營業ノヤウナモノデハナイカト思ヒマスガ、其邊ハ如何、基金ハ何人カラデモ出セル、又其金ヲ利用スルニハ或ハ不動産ヲ抵當ニシテ或ハ財産ヲ抵當ニシテ金ヲ貸スコトモ出来ル、ソレハ如何デスカ

〔委府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員〔岡野敬次郎君〕 相互會社ノ基金ハ實際ノ働ニ於キマシテハ株式會社ノ資本ト同様ノ働ヲ爲スノデアリマス、此基金ハ即チ會社ノ保險事業ニ於ケル擔保デアリマス、恰モ株式會社ニ於ケル資本ガ其保險事業ニ於テ擔保デアルト云フノト同一ノ性質ヲ持ッテ居ルノデアリマス、相互會社ノ基金ヲ釀出スル者ハ固ヨリ社員タルコトヲ必要トセヌノデアリマスケレドモ、併ナガラ會社ガ其集メタ所ノ基金ヲ或ハ貸金ヲ爲ストカ或ハ不動産ヲ抵當ニシテ金ヲ貸スコトニナリハセヌカト云フ御疑デアリマスルナラバ、株式會社ニ於テ營業上必要ナリトシテ集メタ資本モ又他人ニ貸付ケテ利ヲ取ルコトヲ禁ゼニヤラヌト云フコトニナルノデアリマス、固ヨリ普通ノ營業會社ノ資本ト保險會社ノ資本ト云フモノハ性質ガ違ッテ居ル、即チ普通ノ會社ニ在ッテハ營業ニ其資本ヲ轉運スルノデアアル、保險會社ニ在ッテハ原則ニ於テ其資本ト云フモノハ擔保ノ性質ヲ持ッテ居ルモノデアアル、相互會社ニ於テモ然リデアリマシテ、此基金ト云フモノハ即チ保險事業ニ於ケル會社ノ擔保デゴザイマスルカラ、固ヨリ全部チ一時ニ支出シテシマフトカ、或ハ保險事業ニスル基金ヲ運轉スルトカ云フコトハナイノデアリマシテ、固ヨリ設立ノ費用其他ノ費用ノ一部分ヲ取ラレルコトハ當然デアリマスケレドモ、併ナガラ其他ノ金額ト云フモノハ會社ノ擔保トシテ取ッテ置クノデアリマス、其擔保トシテ全額ノ拂込ガアッタ場合ニ現金デ寢カシテ置クコトハ固ヨリ會社ニ取ッテ不利デアリマスカラ、或ハ相當ノ抵當ヲ取ッテ金ヲ貸スコトニ利用スルカモ知レマセヌ併ナガラ其事ハ株式會社ニ於テモ同様デアッテ、保險會社ノ資本ト云フモノハ全額ノ拂込ガアッタ、其金ハ現在保險事業ニ必要デナイノデアリマスカラ、サウ云フ全額ノ拂込ヲサシタ位ナラバ相當ノ方法ヲ以テ之ヲ利殖スル道チ圖ルノガ當然デアリマシテ、其事ハ決シテ相互會社モ株式會社モ毫末モ差異アル

コトヲ認メナイノデアリマス

○村田保君 株式會社ハ固ヨリ營利會社デスカラ少シモ構ハヌデスガ、相互會社ハ營利會社デナイ、ナイノニ營利會社ト同ジコトナスルト云フコトガ本員ノ疑點デアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスルガ固ヨリ一定ノ營業ヲ目的トシテ會社ヲ設立スル以上ハ其會社ノ資本ハ其目的ヲ達スルニ必要ナル範圍ニ於テ利用セネバナルマイト思フ、是ハ又株式會社ニ於テモ相互會社ニ於テモ少シモ差ガナイノデアリマス、保險事業ヲ爲シナガラ株式會社ノ資本モ相互會社ノ基金モ一向變リハナイノデアリマス、會社ノ設立ノ際ニ必要ナル金ダケハ是ハ無論拂込サセネバナリマセヌガ、併ナガラ一部拂込ヲ以テ會社ヲ十分ニ設立シ相當ノ事業ヲ爲スコトガ出來ルト認メラレラバ其他ノ金額ハ拂込ヲ爲サズシテ宜シイノデアリマス、株式會社ニ於テ矢張り或ハ十萬圓ナリ或ハ五十萬圓ナリノ資本ヲ以テ保險事業ヲ爲ス場合、殊ニ生命保險事業ヲ營ム場合ニハ決シテ十萬圓ナリ五十萬圓ナリ全額ヲ會社ノ保險事業ニ費スノ必要ハナイノデアリマスカラ、或ハ四分ノ一ナリ或ハ三分ノ一ナリノ拂込ヲ爲シテ其他ハ會社ノ債權トシテ保存スルノガ當然デアリマス、ソレデ相互會社ニ於テモ矢張り同様デアリマス、必シモ十萬圓一時ニ拂込マネバ會社ヲ設立スルコトヲ得ナイト云フノデアリマセヌ、併ナガラ其會社ノ目的トスル保險事業ノ其性質ニ依ッテ營業執行ノ方法ニ依ッテ或ハ十萬圓ガ必要カモ知レヌ、或ハ十萬圓ヲ超エテ五十萬圓モ必要カモ知レマセヌガ、ソレハ其會社ノ自由ニ任セルノデアアル、而シテ此相互會社ニ於ケル基金ハドウ云フモノデアアルカト申シマスルト、是ハ度々説明致シマシタ點デアリマスケレドモ、既ニ債權者ガ普通ノ債務者ニ金ヲ貸シタキヨリハ基金ノ讓出者ノ權利ノ方ガ非常ニ微弱デアルト云フコトヲ申シタノデアリマス、ソレデアリマスカラ其理由トスル所ハ第五十七條ニ於テ「基金ハ每事業年度ノ剩餘金ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ償却スルコトヲ得ス」第六十條ニ於テ「設立費用及ヒ初ノ五年度ノ營業費ノ全額ヲ償却シ且第五十八條ノ準備金ヲ控除シタル後ニ非サレハ基金ヲ償却シ又ハ剩餘金ノ分配ヲ爲スコトヲ得ス」第八十條ニ於キマシテモ清算ヲ爲スノ順序トシテハ先ヅ其一般ノ債務ノ辨濟ヲ爲シ而シテ社員ノ保險金額ノ支拂ヲ爲シ最後ニ至ッテ始メテ基金ノ償却ヲ爲スノデアアル、而シテ其基金ノ償却ヲ爲スニ附イテハ假令無限責任ヲ負擔シ辨償責任ヲ負擔スル相互會社ニ在ッテモ保險料ノ外ニ決シテ基金償却ノ爲ニ減スト云フ必要ハナイノデ

アルト云フコトヲ八十條ノ第二項ニ於テ定メタノデアリマスカラ、債權者ガ普通ノ債務者ニ金ヲ貸シテ期限ガ來タトキニ取立ヲ爲スト云フガ如キモノデハ決シテナイノデアリマス、斯ノ如キモノデアッデナカナカ利益ヲ得ラル、モノデハナイ、基金ヲ出ス者ハ恰モ自ラガ事業ヲ爲ス心持デナケレバ基金ノ讓出ハ出來ナイノデアリマスカラ、事實決シテ村田サンノ御憂ナヤウナ金ヲ貸シ利息ヲ取ル積リデ保險會社ヲ立テルト云フコトデ基金ヲ讓出スルコトハ私ハナカラウト思フノデアリマス

○村田保君 ソレハ解釋上デスカラ、政府デハナカラウト言ハレテモ法律ニ斯ウアッタトキニハ隨分許ス道ガアッタナラバ私共ハ出來ラウト云フ考ガアル、併ナガラ此上ハ議論ニナリマスカラ、別ニ申シマセヌガドウモ政府委員ノ答辯ハ私共全ク満足スル譯ニハイキマセヌガ、畢竟是等ノ弊害ガ出來、相互會社デアリナガラ相互會社デナイ性質ノ違ッタ妙ナモノニナル、何ダカ相互會社ダカ株式會社ダカ分ラヌト云フ譯ニナルカラ、之ヲ法律デ極メルハ不都合デアラウト思ヒマス、且ツ外國デモ今草案ニナッテ居ルト云フ位イノコトデアアルカラ此三條ガ削レルナラバ斯ウ云フ弊害ハナクナルト思ヒマス

○男爵尾崎三良君 私ハ村田君ノ第三條削除ノ說ニ反對ヲ致スノデアリマス、即チ原案ヲ賛成スル者デアリマスガ、段々先刻カラ村田君ノ御說ヲ承ルチウト、外國ニナイ、マダ草案位ニナッテ居ルモノヲ此日本デ之ヲスルノハ甚ダ詰ラヌト云フ御說デアリマシタヤウデアリマスガ、此保險業法ニ附イテハ委員會モ數度開キマシテ、即チ此第三條ニ附イテ委員カラ色々質問モ出マシテ、ソレニ附イテ政府委員カラ答辨モアッデ先ヅ是ナラバト云ノデ原案ニナッタノデアリマシタガ、其譯ハ村田君ナトガ御承知ノ通りニ英國ヤ亞米利加ヘ行ケバ此相互會社ハ多イノデス、殆ド株式會社ト云フモノハ極ク少イ、ソレハ即チ御承知ノ通りニみゆーちゅある、かんぱにート云ウテ是ガ自然ト發達シテ來タノデ、別ニ法律デ規定シテナイカラ其相互會社デ矢張り普通ノ保險モシテ居ル、ソレゾレ特別ナ制限モナイノデアアル、所ガ外ノ國デ此制限ヲ設ケタラ宜カラウト云ウテ今度其法律ノ草案ヲ拵ヘタト云フ位ニナッテ居ル、其草案ヲ拵ヘタモノヲ今日日本デ直チニ行ヘヌト云フコトヲ仰シヤルト、其說ハ手モナク相互會社ニ無制限ニ社員ニアラザル者ト契約ヲシテモ宜イト云フコトニナルノデ、ソレハ甚ダ宜クナイ、村田君ノ述べラレル如ク相互會社ガ株式會社ト同様ナコトナシテハ宜シクナイト云フコトニ落ルノデアリ

マスカラ、玆ニ制限ヲ設ケテ斯ノ如ク監督權ヲ十分ニシテ株式會社ノ營業區域内ヘ外ノ者ガ立入ヲヌヤウニサセル、此精神デアスカラ此相互會社ト云フモノヲ、マルデ村田君ノ御議論ノ如ク止メルト云フコトナラバ兎モ角モ、之ヲ置クト云フ以上ハ此位ノ制限ハ致シテ置クガ宜シイノデアリマス、ソレカラ唯今日日本ニ於テモ別段相互會社ニ關スル規定ト云フモノハアリマセヌケレドモ、之ニ類似ノモノガ少シバカリアル、或ハ共濟會社トカ何トカ云フヤ

ウナモノハ即チ相互會社ニナル、是ヲ對シテモ是ガ其以外ノモノト保險ヲ請合フコトガ出來ナイト云フ規定モナイ、今日ハ制限ガナイノデアアル、制限ガナイノ今度相互會社ト云フモノヲ法律デ極メル上ニ於テ先ヅ豫メ斯ノ如ク自由勝手ニ他ノ者ト保險契約ガ出來ナイト云フコトヲ制限シテ置クト云フコトガ必要デアアルノデアアル、併ナガラ村田君ノ初ノ御説ヲ讓ッテ相互會社ヲ許ス以上ハ無制限ニスルト云フナラバ宜シイ……宜イカ惡イカ知ラヌガ、ソレナラマダ一種ノ説デアアル、ケレドモ相互會社ト云フモノヲ認メテ置イテ其制限ヲ附ケズ、又或ハマルデ他ノモノト保險契約ナスルコトハナラヌト禁ジテシマフト云フノモ甚ダ窮屈デアアル、又此度ハ相互會社ト云フモノヲ……

抑ク保險營業ト云フモノハ今日ノ社會ニ在ッテ無論必要ナモノデアアルガ、今日日本デ發達シテ居ル所ノモノハ株式會社デアアル、其株式會社ト云フモノハ多クハ保險ノ安固ト云フコトガ餘程薄弱デアッテ、其株主ナリ役員ナリガ多ク利益ヲ得テシマフト云フコトニナル、是ハ數年ノ後ニドレ程ノ變化ガ起ルカ知ラナイ、依ッテハ成ルベク此歐羅巴各文明國ニ行レテ居ル相互會社ト云フモノヲ此度ハ發達サセタイ、併ナガラ之ニ制限ヲ加ヘテ他ノ社員ト濫ニスルコトハナラヌ、又之ヲバマルデナラヌト云フコトニナルト、此相互會社ヲ成ルベク成立タセタイト云フコトニ大變ナ妨害ヲ來タスノデ、ソレハ先刻カラ政府委員カラモ述ベラレタ通り此或ル地方ニ於テハ株式會社ガナクシテ相互會社バカリ起ル所ガアルカモ知レナイ、サウ云フ場合ニ於テ此公共ノ建物トカ學校トカ病院トカ云フヤウナモノヲ成ルベク保險ニ附シタイガ、何分是ガ相互會社ニ在ッテハ無限ノ責任ヲ持ッコトガ出來ナイ、ソナラ遠方ニ在ル株式會社ヘ行ッテ保險ヲ受ケルカト云フト、ソレハ甚ダ不便デアラナイ、出來ナイコトハナイケレドモ餘程手數ヲ要スルカラ成ルベク此公共ノ建物や何かハ保險ニ附シテ萬一ノ危險ニ備ヘテ置クト云フコトガ必要デアリナガラ其爲ニソレガ出來ナイト云フ不便ガアル、是等ノコトノ便利ヲ與ヘル爲ニ斯ウ云フ會社ヲ設ケタ、併ナガラ之ヲ濫ニヤッテハナラヌカラ主務官廳ノ免許ヲ

受ケル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデスカラ、今委員會デモ成ル程サウ云フ都合ナラバ是ハアル方ガ宜カラウト云フコトニ決シタノデアリマスカラ、ドウゾ相互會社ヲ此度新ニ法律デ設ケルト云フ以上ハ是ダケノコトハ規定シテ置クガ必要デアラウト思フ、モウ先刻カラ段々御質問モアッテ滿場ノ諸君モ大抵御分リニナッテ居ラウト思ヒマスカラ、ドウゾ速ニ採決ヲセラレムコトヲ希望致シマス

○都筑馨六君 私モ此三條ニ付キマシテチヨット政府委員ニ一言御尋シタイノハ、此三條ノ爲ニ被保險者即チ公衆ト云フモノハ餘程便利ヲ得ルダラウト思フノデゴザイマスガ、ト申シマスノハドウ致シマシテモ營利ヲ目的トシテ居ル會社ニ保險料ヲ拂フヨリハ營利ヲ目的トセザルモノニ就イテ保險シテ貰ヘバ幾分か保險ノ費用モ少クナル、且又其保險ナル方ノ者モ他ノ者ヨリ鞏固デアルト云フヤウナ實際ニナリハ致シマセヌカ、即チ此公衆ニ取ッテハ被保險者最モ保護ヲ要スベキ被保險者ニ於テハ三條ノアル方ガ餘程便利デアラウト感ジマスガ、其邊ノ實際ノ御話ヲ少シ承リタイ

〔政府委員岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員〔岡野敬次郎君〕 先刻ドナタデアリマシタカノ御質問ニ御答致シタ通り被保險者ガ自ラ社員ト爲ラザレバ相互會社ニ就イテ保險契約ヲ爲スコトヲ得ナイノデアルト云フコトニ禁ズルノハ不利益デアアル、株式會社ヲ擇ブモ相互會社ヲ擇ブモ其被保險者ノ自由ニ任シタラ宜カラウト云フモノ一ノ理由デアルト云フコトヲ述ベタノデゴザイマス、此相互會社ノ營業ノ方針カラ致シマシタナラバ株式會社ガ今日營業ヲ爲シテ居ルト云フノト酷ク保險料ヲ安クスルト云フコトハ此會社ノ基礎ヲ危クスルモノデアルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、デ株式會社ニ在ッテハ其利益ガ即チ株主ニ配當セラル、ノデアアルガ、併ナガラ相互會社ニ在ッテハ若シ自己ガ社員デアラナラバ此剩餘金トシテ其分配ニ與ルノデアアル、併ナガラ此相互會社ノ基礎ノ固クナル所カラ申セバ、決シテ株式會社ガ保險ヲ爲シテ居ルヨリハ非常ニ保險料ヲ安クシテ而モ其保險事業ガ立派ニ舉ガルト云フコトヲ斷言スルコトハ出來ナカラウト思フ、況ヤ其社員ニアラザル者ガ保險契約ヲ爲スニ附イテ是ガ非常ニ數ガ多クナル、又ソレニ伴フ危險ガ大ニナルト云フコトガアルカラ、此社員ガ或ハ無限責任ヲ負擔シ或ハ保證責任ヲ負擔スルト云フ上カラ其義務ヲ盡サナケレバナラヌ、其危險ガ生ジ又其危險ガ大ニナルノデアリマスカラ、此相互會社ヲ設立スル者ハ恰モ今日株式會社ガ營業ヲ致シテ居ル如ク、矢張り稍クソ

レト同額ノ保險料ヲ取テ而シテ株式會社ガ此株主ニ配當スベキ利益ノ一部
分ヲ割イテ被保險者ニ吳レト同シヤウニ、相互會社ニ在テモ又此剩餘金
アル場合ニハ其剩餘金ノ一部ヲ此被保險者或ハ保險金額ヲ受取ルベキ者ニ割
戻スト云フ結果ニナラウト思フノデアリマスカラ、各被保險者ガ保險會社ニ
對シテ拂フ額ニ於テ著シイ差ハ到底生ジハシマイト信ズルノデアリマス、若
シ著シク保險料ヲ安クスルト云フナラバ必ズ相互會社ノ基礎ハ危クナルト云
フコトヲ申サネバナラヌノデアリマスカラ、決シテサウ云フコトハナカラウ
ト信ズルノデアリマス

○三浦安君 段々政府委員ノ答辯モアリマシタシ並ニ渡邊君尾崎君ノ御説モ
アリマシタガ、本員ハ三條削除ニ贊成致シマス、ト云フモノハ折角今日ノ實
際上ニ於テ保險會社ト云フモノハ名ハ保險ト云ヒナガラ、宜シイノハ宜シウ
ゴザイマセウガ多分ドウモ却テ危險ナモノガ多イ、ソレ故相互會社ト云フ
モノヲ此法律ニ於テ組立テ危クナイ危險デナイ大丈夫ナモノヲ許スト云フ精
神デアル、ソレニ向テ又矢張り株式會社同様にモノヲ許スト云フコトハ一
口ニ言フト要ラザルコトダ、或ハ地方ニ依ッテ相互會社ノミノトキニハ其保
險ヲ賴ムコトガ困ルト云フ御説ガアリマスケレドモ、是ハ想像ナスレバ實際
ガナイ併ナガラ折角相互會社ヲ設ケル以上ハ株式會社トハ判然差別ヲ附ケテ
置ク方ガ十分デアラウ、此案ニ於テ相互會社ヲ引立テヤウト云フコトノ主意
ガ能ク見エテ居リマスガ、餘リ引立テサニ過ギマシテ是モ株式會社同様ノ營
利ヲ許ス、オマケニ又營業稅マデ免ス抔ト云フコトハ餘リ傾キ過ギタ方デ、
イッソ是ハ判然相互會社ハ相互會社ニシテ宜シイ、併シ尾崎君ノ言ハレルヤ
ウニ三條ヲ取除イタト云フト相互會社ハ社員外ノ者ノ保險ヲ請合フコトヲ許
スト云フコトハ決シテゴザイマセヌ、此法律ニ許シテゴザイマセヌコトハ出
來ヌト云フコトハ明瞭ナリト存ジマスカラ、願ハクハ諸君モ此差別ヲ能ク御
了解下スッテ三條ハ削除アラムコトヲ希望シマス

○子爵谷干城君 三浦君ノ御説ニ全然御同意シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 最早段々御議論モアリマシテ十分討議ヲ盡シタ
モノト思ヒマスカラ採決ヲ致シマス、第三條ニ附イテハ先刻馬屋原君カラ第
二項ヲ削除スルト云フ御説ガ出マシタ、是ハ一種ノ修正説デアリマスガ、之
ニハ贊成者ガアリマセヌ、併ナガラサウ云フ説モゴザイマスカラ旁々表決ノ
場合ニハ第一項第二項ト別々ニ決ヲ採リマス、先ヅ第三條ノ第一項ニ附イテ
決ヲ採リマス、第一項、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザイマス

(男爵尾崎三良君) 削除説カラ御採リニナルノデハゴザイマセヌカト

述フ

○副議長(侯爵黒田長成君) 削除説ハ決ヲ採ルコトハゴザイマセヌ

○馬屋原彰君 サウスルト唯今ノハ削除説ニ決シマシタカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 左様デス

○馬屋原彰君 ソレデハ私ノハ自ラ消滅シタコトニナリマスカラ……

○副議長(侯爵黒田長成君) 自ラ消滅シタヤウニハ見エマスガ形式上、決ヲ
採ラナケレバナリマセヌ、第二項ニ附イテ決ヲ採リマス、原案ニ贊成ノ諸君
ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザイマス、第三條ハ全部否決ト云フコ
トニ決シマス

(男爵船越衛君發言ノ許可ヲ求ム)

○副議長(侯爵黒田長成君) 船越男爵ハ何デス

○男爵船越衛君 チヨット伺ヒタイコトガアル、唯今此第三條ハ削除ニナリ
マシタ、私モ削除説ニ贊成ノ一人デゴザイマス、ガ削除イタスニ決シタ以上
ハ此本案ノ條々ニ附キマシテハ相互會社ニ關スルコトガ少カラヌ、之ヲ削ル
以上ハ是モ皆關聯シタコトデアリマス、デ一々ノ條々テ之ニ關聯シタノナ此
處デ削除スルト云フコトハ餘程ムヅカシカラウト思フ、萬一關聯シタモノニ
附イテ誤ガアテハナリマセヌカラ、私ハ更ニ之ニ附キマシテ委員ノ御選定
ヲ希望致スノデゴザイマスガ、是ハ出來ルモノデゴザイマスカ出來ヌモノデ
ゴザイマスカ、既ニ村田君ハ本案ニ附イテノ委員ヲ選ブト云フコトノ發議ヲ
セラレマシタ、是ハ少數デ消滅致シマシテゴザイマスカ、ソレト同様ニ似テ
ハ居リマスガサウヂヤアゴザイマセヌ、是ハ削除ニナリマシタカラ削除ニ附
イテ更ニ委員ヲ選ブ、斯ウ云フコトノ私ハ希望ナンド、如何デゴザイマセ
ウ、出來マセウカ出來マスマイカ、ソレヲ伺ッタ上デ……

○副議長(侯爵黒田長成君) 船越君ニチヨット御尋シマス、アナタノ説デハ矢
張り今マデノ委員ニ付託シテ整理サセルト云フ御考デスカ

○男爵船越衛君 ソレハマダ申シマセヌ、是ガ出來マスレバ更ニ委員ヲ御
選ミニナルコトヲ議長ニ御任セシタイノデ、矢張り人數ハ十五名、ソレハ更

ニデゴザイマセウト、是マデノ委員デゴザイマセウトモ是ハ議長ニ御任セシタイ

○副議長(侯爵黒田長成君) 唯今船越男爵カラ希望ガ出マシタガ、サウ云フコトニナッデモ別ニ差支ハナイト思ヒマス、併ナガラ本案ハ第三條マデハ既ニ決シタノデアリマスカラ、ソレデ第四條ヨリ以下ニ付テ唯今ノヤウナ説ガ出マスレバ格別ト思ヒマス

○村田保君 本員ハ船越君ノ動議ト云フモノハモウ當然ナコトダラウト思ヒマス、之ヲドウモ議場ニ於キマシテ是カラ何シマスルノハ本員杯ハマダ段々意見ガゴザイマスシ、ソレノミナラズ此第三條ヲ削リマシタ結果ニ依リマシテ外ノモノモ無論削ラナケレバナラヌモノガゴザイマス、サウシテ見マスルト是ハ此議場デ各條ニ附イテ議シマスルト云フト随分却ッテ議事ノ進行上ニモ不便カト思ヒマスカラ、ドウゾ是ハ船越君ノ動議ノ通り更ニ委員付託トナラムコトヲ本員モ賛成致シマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 船越男爵ニ一應確メテ置キマスガ、委員ノ數ハ十五名……

○男爵船越衛君 左様

○副議長(侯爵黒田長成君) サウシテ此選定ノ方法ハ……

○男爵船越衛君 議長ニ御任セシタイノデゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 尤モ船越男爵ノ唯今ノ動議ハ相互會社ノ此三條ガ削ラレタコトノ結果ニ屬スルコトダケデナケレバ委員ニ付託スルコトハ出來マイト思フ

〔其通り〕ト呼フ者アリ

○男爵西五辻文仲君 本員ハ船越男爵ノ委員ニ付託スルト云フコトハ賛成デゴザイマスケレドモ、十五名選ブ必要ハナイト思ヒマス、九名ノ委員ニ付託シタイ

○副議長(侯爵黒田長成君) サウシテ選定ノ方法ハ……

○男爵西五辻文仲君 矢張り議長ニ……

○馬屋原彰君 今ノ御説明デ見ルト詰リ此三條ガ削除ニナッタ結果、ソレニ伴フダケ、斯ウ云フ範圍デゴザイマスナ、所デ如何デゴザイマセウカ、既ニ先刻議長ヨリ問題トシテ宣告サレタ所ハ此第一章ト云フモノチ、マルデマア問題ニナッタノデアリマスガ、本員ハ尙ホ此一章ノ中ニハ修正ヲ加ヘタイ所ガアリマス、ソレデサウ云フモノハ又別ニソレハ詰リ出サナケレバナラヌ譯

デゴザイマスガ、今此際ニ其修正ヲ提出致シマシテ之ヲ賛成ヲ得レバ併セテ委員ニ御付託ニナルト云フコトデアリマスガ

○副議長(侯爵黒田長成君) 馬屋原君ニ申シテ置キマスガ、此際若シ委員付託説ガ多數デ三條ガ削除ノ結果トシテ改マルベキ所ダケチ、例ヘバ委員デ改メテサウシテ報告ニナル、其後ニ此四條カラ先キチズット議シテ参リマス、其際ニ他ニ修正説ガアリマスルナラ其際ニ御出シニナッテ宜シウゴザイマス

○馬屋原彰君 左様デスカ

○松平正直君 唯今議長ノ御示デハ此三條ガ削除ノ結果トシテ此法案ニ於テ直スベキ廉クナ修正スル委員ヲ設ケル、斯ウ云フ御希望デゴザイマスナ

○副議長(侯爵黒田長成君) 左様デゴザイマス

○松平正直君 至極御宜シウゴザイマセウ、就キマシテハ唯今十五人ト九人トノ委員ノ數デゴザイマスガ、ソレダケノコトデアリマスレバ本員ハ九人ノ委員デ宜シカラウト思ヒマスカラ、西五辻君ノ動議ニ賛成ヲ致シマス

○公爵二條基弘君 唯今ノ動議ハ本員モ賛成デゴザイマスガ、チヨット何ッテ置キタイノハ此第二條ハ既ニ本院決議ニナッタモノデアリマス、其中ニモ矢張り相互會社ト云フコトガアリマスガ、是等ハ矢張り今度ノ修正委員デ修正ガ出來ルモンデスカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 先刻申述べマシタ通り第三條マデノ所ハ決議濟ニナッテ居リマスカラ、第四條以下デゴザイマス

○公爵二條基弘君 第二條ニ相互會社ガ這入ッテ居ッデモ、ソレハ決議シタモンデスカラ、ソレヲ削ルコトハ出來ヌト云フコトニナリマスガ

○子爵小笠原壽長君 唯今此三條ガ削除ニナリマシタ結果トシテ三條ニ牽聯シマシタ條ニ附イテ委員ヲ設ケルト云フ説ガ出マシタガ、三條ガ削除ニナリマシテ何處ニ牽聯チ及ボシマセウカ、本員ガ見マシタ所デハ、三條ハ取除法ニナッテ居リマシテ、之ヲ削除シテモ一向後トノ條ニ關聯シテ居ル所ハナイヤウニ考ヘラレマス、三條ヲ削除シマシタ結果トノ條ニ關聯チ持チマスガ、ソコチ何ッタ上デナケレバ賛成ガ出來マセヌ、三條ヲ削除シマシタ結果トノ條ニ關係ガ及ビマスガ、其條々チ御示ヲ願ヒタイ

○男爵尾崎三良君 第三條ガ削除ニナッタ結果、或ハ本案中直サナケレバナラヌト云フ箇條ガアルカモ知レヌカラ特別委員ヲ選ンデ之ニ付託スルト云フ御説デアリマシタガ、餘リ關聯シタ所ハナイカノヤウニ思ヒマス、尤モ第九十

二條ニ至ツテ「相互會社ニハ營業稅ヲ課セス」ト云フコトニ附イテモ少數意見者カラ出テ居リマス「社員ニ非サル者ト保險契約ヲ爲ス相互會社ハ此限ニ在ラス」ト云フコトガ出テ居リマスガ、今ノ三條ガ削レル以上ハ是モ無論必要ハナイノデ、シテ見ルト何處ニモサウ云フ關係ハナイヤウニ思フ、此會期切迫ノ際ニ殊更ニ委員ヲ選ンデ之ヲ調ベルノ必要ハナイト思ヒマスガ、逐條議ノ中ニ萬一ソレガアツタナラ、ソレ等ハ其時ニ直シテ行ケバ宜イト思ヒマス、是ハ政府委員ニ於テ取調ニナツテ居レバ定メテ斯ウ云フ箇條ニ關聯シテ居ルト云フコトハ御記憶ニナツテ居ルデアリマセウカラ其時ニ提出ニナツタラ宜カラウト思ヒマス、先ヅ格別關聯ハナイヤウニ本員等ハ存ジマスカラ、此特別委員ハ殊更ニ會ヲ長引カシムルノ結果ニ過ギナイト思ヒマスカラ、是ニハ贊成ヲ致シマセヌ

○子爵小笠原壽長君 千ヨット尾崎君ニ申シマスガ、本員共ハ九十二條ニ付テ少數意見ヲ出シテ置キマシタケレドモ、第三條ガ削除ニナレバ、本員ノ出シマシタ九十二條ハ消滅スルト云フコトヲ申シテ置キマシタカラ、其三條ガ削除ニナリマシタラ九十二條ノ修正ハ消滅ニナツタモノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、尙ホ申シマスガ、本員共ハ三條ガ削除ニナリマシテモ此中三條ニ牽聯シテ居ル條ハナイカト思ヒマス、念ノ爲申シテ置キマス

○男爵船越衛君 唯今關聯スル所ハナイト云フコトデゴザイマスガ、ソレハ畢竟削リタウナイカラノ説デゴザイマス、既ニハヤ極リマシタ以上ハ、又私ハ之ニ關聯スル所ガアルト考ヘマシタノデ、申スト長クナリマスカラ早ク決ヲ御採リニナルヤウニ……

○副議長(侯爵黑田長成君) 委員ニ付託シテ、三條削除ノ結果トシテ改ムベキ所ハ改メルト云フ、是ダケヲ先ニ決ヲ採リマセウト思ヒマス、サウシテ若シ其事ガ多數デゴザイマスレバ、人數ノコトハ後トデ申シマス、先ヅ委員ニ付託スルト云フコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黑田長成君) 少數デゴザイマス、唯今近衛議長ハ宮中ヨリ歸ラレマシテゴザイマス、其事ニ附イテ少シ相談ノ都合ガゴザイマスカラ暫時休憩致シマス

午後一時五十五分休憩

午後二時十九分開議

○議長(公爵近衛篤磨君) 今朝議決ニナリマシタル 皇太子殿下御結婚御成約ノ賀表ハ先刻參内ノ上、宮内大臣ニ面會ヲ致シテ同大臣ヨリ 兩陛下ニ捧呈ノコトヲ委託シテ置キマシタ、ソレカラ 皇太子殿下ニ捧呈ノ賀表ハ是亦議長ガ議院ヲ代表シテ捧呈ヲ致ス答デアリマスガ、殿下ハ唯今東京ニ在ラセラレマセズ、葉山ニ御滞在デアリマス、就キマシテハ議長若クハ副議長ノ中デ罷出テ捧呈ヲ致ス答デアリマスルガ、副議長ハ重要ナル議案ノ審査委員ヲ引受ケテ居ラレマスル、會期切迫ノ今日手離シ兼ネル次第デアリマス、若シモ此議長席ヲ副議長ニ讓ツテ私が葉山ヘ參リマスレバ委員會ヲ開クコトガ出來ズ、又委員會ヲ開キマシテ副議長ガ委員長トシテ出席セラレマスレバ此議長席ニ著ク者ガナイト云フコトニナリマス、依ッテ徳川公爵ニ議長代理トシテ此事ヲ煩サウト思ヒマス、御異議ガナクバ其通りニ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ先刻ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○侯爵黑田長成君 是ヨリ宗教法案外一件ノ特別委員會ヲ開キタウゴザイマス、定足數ニ差支ガゴザイマセネバ退席致シタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、第四條ヨリ第八條マデナ問題ニ供シマス、……第四條ヨリ第八條マデ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第九條

○村田保君 本員ハ此九條ニ附キマシテ削除ヲ致シタイト存ジマス、ト申シマスルノハ「第六條及ヒ第七條ニ掲ケタル書類ヲ變更スルニハ主務官廳ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス其ノ認可前ニ在リテハ變更ノ效力ヲ生セス」トアル、所ガ本員ノ考ヘマスル所デハ認可ヲ得ナケレバ變更ハ出來ナイ、認可ノ上デ主務官廳ガ變更ヲシテモ宜イト云フ認可ヲ與ヘナケレバ變更ト云フコトハ出來ナイ、然ルニ其下ニ認可前ニ在リテハ變更ノ效力ヲ生セス」トゴザイマス、認可前ニハ變更ト云フコトハ出來ナイ、ソレデ認可前ノ變更ト云フコトハ少シモ分ラヌト思ヒマス、ソレ故ニ「主務官廳ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス」ト止メテ置キタイ、其下ノ「其ノ認可前ニ在リテハ變更ノ效力ヲ生セス」ト云フコトヲ削ツテモ差支ハナイ、却ッテ是ガアルト妙ナ意味ニ見エル、認可ヲ經ナケレバ變更ガ出來ヌト云フノチ……其認可前ノ變更ト云フコトヲ置クノハ誠ニ變ダト思ヒマスカラ、此文字ハ削除シタイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 全條ノ削除説デハナイノデスカ
○村田保君モサウヂヤナイ其ノ認可前ニ在リテハ變更ノ效力ヲ生セスト云フ文字ハ民法商法ノ如キモ重モ私權關係ニ付テ規定シマシタモノニ附キマシテハ「要ス」ト云フテ單ニ義務ヲ生ズルダケノ意味ニナッテ居ルノガ夥多アリマスノデ、無効ノ制裁ヲ附シテアルモノハ特ニ無効デアルト云フコトヲ云ウタ方が宜シイノデ、大概ハサウナッテ居リマス、ソレ故ニ單ニ「要ス」ト云ハズシテ「其ノ認可前ニ在リテハ變更ノ效力ヲ生セス」ト書キマシタ方が明瞭ニ分リマスルシ且ツ他ノ法律ノ文例ニモ適ヒマスカラ此文字ヲ加ヘマシタ
○村田保君 唯今政府委員カラ民法商法ハ斯ウナッテ居ルト云フガ、本員ノ見ル所デハサウハ思ヒマセヌ、既ニ第九條ニ出テ居ルノハ商法施行規則ノ第九十九條ニモ同シ文ガアル、變更ノ場合ニハ認可ヲ得ルコトヲ要ストアッテ其下ノ文字ハナイ、商法施行規則第九十九條ヲ御覽ニナレバ同一ノ文ガアリマス、ソレニハ認可前ニ在リテハ變更ノ效力ヲ生ゼズト云フコトハ書イテゴザイマセヌ、唯要スト云フコトバカリニナッテ居リマス、ソレカラ民法ノ第三十八條モ矢張り其通りデ「定款」變更ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其效力ヲ生セス」ト斯ウ云フバカリデ、其變更前ノモノハ效力ヲ生ゼヌト云フコトハ云ハナイ、民法商法ガ既ニ斯ウナッテ居ル、前ニ云々ト云フテ直グニ片方デ取消スト云フコトハ……是ハ施行法ノ九十九條カラ出タモノデアリマセウガ、九十九條ト云フモノハサウナッテ居リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正デアリマスカラ定規ノ賛成ヲ要シマス

○水野遼君 賛成致シマス

○男爵西五辻文伸君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○馬屋原彰君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○松本鼎君 賛成

○中西光三郎君 賛成

○西村亮吉君 賛成

○天春文衛君 賛成

○鳥越貞敏君 賛成

○男爵小澤武雄君 賛成

○男爵千家尊福君 賛成

○松永安彦君 賛成

○兒玉淳一郎君 賛成

○子爵竹内惟忠君 賛成

○子爵内藤政共君 賛成

○米谷半平君 賛成

○子爵鍋島直彬君 賛成

○石井省一郎君 賛成

○谷森眞男君 賛成

〔此他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ノ動議ガ成立チマシタ

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 唯今ノ修正ハ文字ノ修正デアリマスルカラ格別ノコトデハアリマセヌガ、唯民法商法等ノ文例カラ申シマスルト云フト、此原案

ノ文字ガ存シテアル方が穩當デアルト云フコトヲ一言申上ゲマス、「要ス」ト云フ文字ハ民法商法ノ如キモ重モ私權關係ニ付テ規定シマシタモノニ附キマシテハ「要ス」ト云フテ單ニ義務ヲ生ズルダケノ意味ニナッテ居ルノガ夥多アリマスノデ、無効ノ制裁ヲ附シテアルモノハ特ニ無効デアルト云フコトヲ云ウタ方が宜シイノデ、大概ハサウナッテ居リマス、ソレ故ニ單ニ「要ス」ト云ハズシテ「其ノ認可前ニ在リテハ變更ノ效力ヲ生セス」ト書キマシタ方が明瞭ニ分リマスルシ且ツ他ノ法律ノ文例ニモ適ヒマスカラ此文字ヲ加ヘマシタ

○村田保君 唯今政府委員カラ民法商法ハ斯ウナッテ居ルト云フガ、本員ノ見ル所デハサウハ思ヒマセヌ、既ニ第九條ニ出テ居ルノハ商法施行規則ノ第九十九條ニモ同シ文ガアル、變更ノ場合ニハ認可ヲ得ルコトヲ要ストアッテ其下ノ文字ハナイ、商法施行規則第九十九條ヲ御覽ニナレバ同一ノ文ガアリマス、ソレニハ認可前ニ在リテハ變更ノ效力ヲ生ゼズト云フコトハ書イテゴザイマセヌ、唯要スト云フコトバカリニナッテ居リマス、ソレカラ民法ノ第三十八條モ矢張り其通りデ「定款」變更ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其效力ヲ生セス」ト斯ウ云フバカリデ、其變更前ノモノハ效力ヲ生ゼヌト云フコトハ云ハナイ、民法商法ガ既ニ斯ウナッテ居ル、前ニ云々ト云フテ直グニ片方デ取消スト云フコトハ……是ハ施行法ノ九十九條カラ出タモノデアリマセウガ、九十九條ト云フモノハサウナッテ居リマス

○政府委員(梅謙次郎君) 御答致シマス、此法案ハ他ノ文例カラ考ヘテ或ハ疑ガ起ル虞ガアルト云フ所カラ斯ウ致シタノデアリマス、民法ニハ唯今御讀ニナッテ通り主務官廳ノ認可ヲ受クルニアラザレバ其效力ヲ生ゼズトアリマスガ、唯「要ス」ト云フバカリデハ疑ガ起リマスカラ斯ノ如ク書キマシタ、此方ガ他ノ法律ノ文例ニ適ッテ居ルト思ヒマス

○村田保君 大變ナ平仄ノ合ハメ御答辯ダト存ジマス

○馬屋原彰君 唯今ハ第九條ダケノ問題デゴザイマスカ、先キマデ……一條ダケデ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 全章ヲ問題ニ供シマシタガ段々修正ノ説ガ出マシタカラ、唯今ノ第九條バカリヲ問題ニシテ居ル譯デアリマス、第九條ニ附イテ採決致シマス、村田君ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、修正ノ通りニ決シマス、次ハ第十條ヨリ第十四條マデ……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 第十五條ヨリ第二十條マデ

○馬屋原彰君 少シ此前ニ意見ガアリマシタガ、先刻ノ御宣告ニハ一條ヅ、ヤルト云フ御宣告デアリマシタカラ、今ハ第十條グラキデアラウト思ヒマシタガ、モウイケマスマイカ

○議長(公爵近衛篤磨君) モウ決議ニナリマシタ

○馬屋原彰君 先刻ノ御宣告トハ違ヒマス様デスガ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 第十條ヨリ第十四條マデ問題ニシタトキニ御説ガ出ナカタカラ採決致シマシタ、アナタノハ少シ出方遅カタノカ存ジマセヌガ、モウ……第十五條ヨリ二十條マデ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○秋月新太郎君 是ハ修正スル程ニモゴザイマセヌガ、十八條二十五條トゴザイマスノハ三條ガ削除ニナレバ十五條ハ十四條ト自ラ改マリマスト思ヒマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 條數ノコト杯ハ自然ノ結果ニ起ッテ來マスノデ、ソレ等ハ前カラノ慣例ニ依リマシテ後ニ事務局デ整理ナスルト云フコトニナッテ居リマス、第二十一條

○村田保君 本員ハ此第二十一條ハ削除ニナッテ然ルベキデハナイカト存シマス、何ゼト申シマスト商法ノ株式會社ノ規定ハ此通り段々此所ニゴザイマシテ、或ハ商法ノ第何條ニ依ルトカ或ハ商法ノ何條ヲ準用スルトカ云フコトガゴザイマスレバ、是ハ商法ノ規定ヲ適用セヌト云フコトデスカ此所ニ掲ゲ

テナイモノハ無論商法ノ規定ヲ適用セヌト云フコトハ明ニ分ルト思ヒマス、若シ是ガ皆商法ノ規定ヲ適用スルゾト掲ゲテ置イテ其中ニ適用シナイノガアレバ適用セヌト置クノガ必要デアリマスガ、サウデナク皆商法ノ規定ヲ各條ニ附イテ適用スルトカ準用スルトカ云フコトガアレバ本條ハナクテモ無論ニ……

是ハ株式會社ノ増資ノ場合デゴザイマスガ、株式會社ノ規定ハ適用セヌト云フコトハ明ニ分ララウト思ヒマスガ、若シ之ヲ掲ゲテ置キマスト其他ノ條ノ引イテナイ條杯ハ分ラナクナルヤウニナルト思ヒマスカラ、削ッテ置クガ宜シイト思ヒマス、決シテ原案ノ主意ニ反對デモ何デモナイ、無イ方が却ッテ明瞭デハナイカト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 全條ヲ削除デアリマスカ

○村田保君 別ニ御賛成ヲ求ムル譯デハゴザイマセヌガ、削ッテ置イテ十分分ルデアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) 唯今ノ件ハ先刻岡野政府委員ヨリ申述ベマシタコトデアリマスガ、株式會社ノ條ヲ御覽ニナリマスレバ商法ノ規定中ニハ株式會社ニシテ保險ヲ營業スルモノニ附イテ商法ノ規定ヲ適用スルト云フコトハ一ツモ書イテナイ、ソレハナゼ書カヌカト申シマスト黙ッテ居ッテ當然爾マルカラデアアル、然ルニ二百十條ハ資本ノ増加ヲ致シマスニハ初ノ資本ノ全額ヲ拂込マシメタル後デナケレバ行カヌト云フ場合デアリマス、保險會社ニ附イテハ擔保ノ鞏固ナル爲ニ初ニ募ッテ資本ノ全額ヲ拂込マヌ内ニ増資ヲシテモ宜イト云フ主意デ商法二百十條ノ規定ニ限ッテハ適用セヌト云フノデアリマスカラ、御削除ニナリマスレバマルデ反對ノコトニナリマス、其事ヲチヨッ

ト……

○子爵平松時厚君 此第二十一條ハ此儘存シテ置カナケレバ却ッテ不都合ト思ヒマス、理由ハ別段ゴザイマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナケレバ採決致シマス、第二十一條原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、原案ニ決シマス、二十二條御異議ガ無クバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 二十三條

○村田保君 此二十三條ノ末項デアリマスガ、是ハ先刻モ申シマシタ通り會社ガ合併ナシマシタトキニハ其會社ノ權利義務ヲ承繼スルト云フノハ少シク分リマセヌデアリマスガ、是ハ矢張り商法ノ八十三條ノヤウニ會社ガ合併シタトキニ消滅シタル會社ノ權利モ承繼スルト云フヤウナコトヲ掲ゲテ置ク方が明瞭デアラウト思ヒマス、是ハ政府委員ニ於テ之ヲ掲ゲンデモ十分分ルト云フコトガ御説明ガドコカノ條ニアレバ宜シウゴザイマスガ……一應政府委員ニ質問ヲ致シテ置キタウゴザイマス

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 先刻申述ベマシタ通り保險營業ヲ目的トスル所ノ株式會社ニ……商法中株式會社ニ關スル規定ヲ適用シマスノハ明文ヲ俟タヌト云フノデアリマスカラ、即チ商法ノ規定ニ依ッテ定ッテ居リマスコトハ是ニ

特ニ掲ゲマセヌ、ソコデ商法ニ於テハ如何ヤウニナッテ居ルカト申シマス、
第八十二條ニ唯今村田君ノ仰ニナッテ通り「合併後存續スル會社又ハ合併ニ
因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ權利義務ヲ承繼ス」
トナッテ居マシテ、此八十二條ナルモノハ第三百二十五條ニ於テ株式會社ニ
準用シテ居リマスカラ、即チ保險營業ノ目的トスル所ノモノニ於テモ同様デ
アルト云フコトハ商法ノ規定ニ因リテ明ニナッテ居リマス積リデアリマス

○村田保君 ソレナラバ此法ヘ掲ゲテ置クガ宜クハナイカト思ヒマス、如何
ナモノデアリマセウ、掲ゲナクテモ十分ト云フナラバ此二十五條ニモ其通り
商法何條ヲ準用スルトカ云フコトハナクテモ宜シウゴザイマスガ、外ニ唄ッ
デアレバ僅ナモノデアリマスカラ入レテ置イタラ宜シイト思ヒマスガ、ドウ
云フモノデゴザイマセウ

○政府委員(梅謙次郎君) 二十五條ニアリマス商法七十四條云々ノ規定ハ是
ハ本法案ノ第七十九條ノ規定ヲ商法第七十四條等ニ書イテアル場合ニ準用ス
ルト云フノデ商法ガ出テ居ルノデ、商法ノ規定ヲ此種類ノ株式會社ニ適用ス
ルト云フノデハナイ

○村田保君 ソレデハ商法八十三條ハ無論適用スルコトニナリマスガ、ソレ
ヲ能ク確メテ置キタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 八十三條ハ無論適用ニナラヌ箇條デアリマスガ、
八十二條ハ適用ガアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 二十三條、別ニ御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 二十四條ヨリ二十六條マデ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス、二十七條

○村田保君 本條ハ先刻モ述ベマシタ通り唯「署名スルコトヲ要ス」トアリマ
スルト、先日本院ノ決議ニナリマシタ商法中署名スルモノハ記名捺印ニ代ヘ
ルコトヲ得ルト云フコトガアリマスカラ、是モ亦矢張り等シク其文字ヲ掲ゲ
テ置キマセヌト保險業法バカリガ必ズ署名ヲシナクチアナス、記名調印ニ代
ヘルコトガ出來ヌト云フコトニナリマス、不都合デナリマス、ソレデ「署名又
ハ記名捺印ズルコトヲ要ス」ト云フコトニ此處ニ掲ゲタイト思ヒマス、サウ
スルト先日ノ調印ノ決議ト……獨リ署名バカリデナク記名調印ニ代ヘラレル
コトニナリマス、權衡ヲ保ツコトガ出來マス、サモゴザイマセヌト獨

リ此法バカリガ捺印ガ出來ヌト云フコトニナリマスカラ餘程不權衡ドラウト
思ヒマス、ドウザサウ云フ文字ヲ加ヘラレムコトナ……

○子爵小笠原壽長君 私ハ此唯今ノ二十七條デゴザイマスガ二十七條ノ十一
號ノ「社員ニ非サル者ト保險契約ヲ爲スヘキトキハ其旨」ト斯ウゴザイマスガ
是ハ前ノ三條ガ削除ニナリマシタノデ修正デハゴザイマセヌ、自然ノ結果ト
シテ削除ニナリマス譯デゴザイマスカラ念ノ爲ニ其事ヲチヨット申シテ置キ
マス

○辻新次君 唯今村田君ノ署名ノ下ニ「又ハ記名捺印」ト云フ六字ヲ加ヘルコ
トニ賛成致シマス、別ニ理由ハ述ベマセヌガ……

○男爵西五辻文伸君 賛成

○子爵鍋島直彬君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○子爵千種有梁君 賛成

○子爵新莊直陳君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○小原重哉君 賛成

○渡邊洪基君 賛成

○男爵平野長祥君 賛成

○男爵生駒親忠君 賛成

○子爵大田原一清君 賛成

○角田林兵衛君 賛成

○南鄉茂光君 賛成

○菊池長四郎君 賛成

○澤簡德君 賛成

○山田卓介君 賛成

○鳥越貞敏君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ノ修正ノ動議ハ成立チマシタ、ソレカラ唯
今小笠原子爵ノ御注意デアリマシタガ、十一ガ自然ノ結果デ消滅スルト云フコ
トデアリマシタガ、此場合ニナリマス、矢張り一箇ノ修正ト見ナケレバナラヌ
ノデアリマス、ソレデ斯ウ云フコトニ致シマス、採決ヲ此處ダケハ別ニ致シマ
ス、決チ採ルノチ此項ダケ別ニ致シマスカラ左様御心得チ……二十七條ノ本

項ダケ「相互會社」ノ發起人ハ定款ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シテ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス」ト云フ修正、此修正ノ動議ガ成立ッテ居リマスカラ此本項ダケニ附イテ決ヲ採リマス、村田君ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、次ハ一ヨリ十マデ……

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガ無クハ原案ニ決シマス、次ハ十一

○子爵平松時厚君 小笠原君ニ賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ定規ノ賛成ヲ要セヌデアリマス

○村田保君 是ハ第三條ノ結果デスカラ是非削除ニナリマセヌト……

○議長(公爵近衛篤磨君) 十一、原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ自然ノ結果、削除ニナリマシタ、第二十八條

ヨリ第三十六條マデ

○辻新次君 唯今三十六條マデ參リマシタカ

○議長(公爵近衛篤磨君) サウデス、併シ修正ノ動議ガ出マスレバ其箇條ダ

ケ別ニ採決シマス

○辻新次君 私ハ三十一條ニ修正ヲ加ヘタイノデ、是モ矢張り自然ノ結果デアリマスガ、此發起人ニ非ザル者ガ社員タラムトスルトキハ入社申込證ニ通ニ保險ノ目的及金額ヲ記載シ之ニ署名スルコトヲ要ス、此「署名」ノ下ニ「又ハ記名捺印」ト云フ六字ヲ前ノ通り加ヘタイト云フ修正デアリマス、前ト同シコトデアリマスカラ自然ノ結果デアリマスガ、修正説トシテ提出スルヨリ外仕方ハナカラウト思ヒマスカラ、ドウゾ諸君ノ賛成ヲ請ヒマス

○村田保君 賛成

○子爵小笠原壽長君 賛成

○男爵西五辻文伸君 賛成

○子爵大田原一清君 賛成

○熱海孫十郎君 賛成

○子爵千種有梁君 賛成

○菊池長四郎君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○子爵錦織教久君 賛成

○男爵平野長祥君 賛成

○鳥越貞敏君 賛成

○子爵野宮定毅君 賛成

○伯爵坊城俊章君 賛成

○子爵高野宗順君 賛成

○子爵新莊直陳君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○野口繁君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 動議ハ成立チマシタ、先ヅ第二十八條ヨリ第三十

條マデ、御異議ガナクハ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第三十一條、辻君ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立

ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、第三十二條ヨリ第三十六條マ

デ、別ニ修正ノ御意見ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクハ原案ニ決シマス、次ハ第三十七條

ヨリ第四十條マデ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクハ原案ニ決シマス、次ハ第四十一條

○村田保君 四十一條ハ先刻モ述ベマシタデスガ是ハ四十二條ト同ジヤウニ

會社ノ承諾ヲ得テ譲渡スト云フコトニ致シタイ、此四十二條ノ主意ト申シマ

スルモノハ譲渡シタ後ニ會社ノ承諾ヲ得ルト云フコトニナッテ居リマスガ、ド

ウモ四十二條ガ會社ノ承諾ヲ得テサウシテ他人ニ權利ヲ承繼セシメルト云フ

コトデゴザイマスレバ矢張り四十一條モ同ジコトヂアナイカト思ヒマス、矢張

リ是ハ保險ノ目的物ヲ譲渡シマストキモ……ソレカラ四十二條ハ他人ノ生命

ナラ生命ヲバ保險ニシマシテ其人ガ自分ガ退社シタイ、ソレチ人ニ讓ッテ退

社シタイト云フヤウナ場合デゴザイマスルカラ、サウ云フヤウナトキニ豫

メ會社ノ承諾ヲ得ルコトナラバ四十一條モ同ジク家屋ナリ或ハ其家財ナリ保

云フモノハナクナッテシマフコトニナリマスカラ、是ハ隨分保險會社ニ取ッテハ場合ニ依リマシテハ容易ナラヌコトカモ知レマセヌカラ、豫メ矢張り會社ノ承諾ヲ得サウシテ此讓渡ト云フコトヲシタラ宜カラウト思ヒマス、ソレデ尙ホ是ハ政府委員ニ尙ホ一應伺シマスガ、是ハドウアッテモ四十一條ノ方ハ讓渡シタ後デナクテハナラヌト云フ御主意デゴザイマスガ、或ハ四十二條ト同様ニナッテ別ニ御差支ハナイノデスカ、ソレヲ一應伺ッテ置キタイ

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 四十一條ト四十二條ハ村田サンノ仰ニナリマスヤウニ主意ガ矛盾シテ居リマス譯デハナイ積リナノデ、四十一條ノ方モ矢張り讓受人ハ會社ノ承諾ヲ得ナクバ權利ヲ承繼スルコトハ出來ナイ、四十二條ノ方モ會社ノ承諾ヲ得テ承繼スルト言ヒマスカラ矢張りドチヲモ同ジコトナシマス、唯違ヒマスルノハ四十一條ノ方ハ社員ガ保險ノ目的ヲ讓渡シタルトキハトアル、四十二條ノ方ハサウ云フコトハナイノデス、是ハ違ヒマスケレドモ四十二條ノ方ハ生命保險ノコトデアリマスカラ人ノ生命ニ關シテ其保險ノ目的ヲ讓渡スト云フコトハ是ハ有リ得ヌノデアリマス、所デ損害保險ノ方ハ財産ニ關シテ居リマスルカラ其財産ヲ讓渡スト云フコトガ頻繁ナコトデアッテ、火災保險ニアッテハ家屋ノ讓渡トカ船舶ノ保險若クハ荷物ノ保險、船舶若クハ荷物ノ讓渡ト云フコトガ頻繁ナコトデ、之ヲ禁ズルトカ或ハ之ヲ總テ一々會社ノ同意ヲ得ネバナラヌ、會社ガ不同意ヲ言ハバ商品ヲ賣ルコトガ出來ナイ、家屋ヲ賣ルコトモ出來ナイ、船舶ヲ賣ルコトモ出來ナイト云フコトニナッテハ甚ダ不便デ困リマスル、故ニ其讓渡ト云フコトニ附キマシテハ特ニ會社ノ承諾ハ要ラナイ、唯其結果トシテ矢張り社員ノ權利義務ヲ承繼ガウト云フトキニ特ニ會社ノ承諾ガ要ルト云フコトニ致スヨリ外ニ致方ガナイト考ヘマシタ

○村田保君 尙ホ御尋イタシタイ、サウ致シマスルト相互會社ニハ百人ト云フ人ガゴザイマスルガ、之ヲ讓リッ放シニシテ其讓受人ガ讓渡人ノ權利義務ヲ承繼シタクナイト云フモノニナリマシタナラバ、ソレキリニ消エテシマフコトニナル、ソレデサウ云フコトガ續々出來タナラバ百名以下ニ下ルヤウナコトニナルカモ知レナイ、會社ヲ解散シナケレバナラヌ場合ガ生ズルカモ分ラヌト思ヒマスガ、ソレデ此事ヲ慮リマスルト四十一條四十二條ノ精神ハ同ジイト云フコトニナラウ、豫メ會社ノ承諾ヲ得サセルト云フコトガ宜シクナイカト思フ、ソコハ如何デゴザイマス

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 理論上ニ於テハ村田サンノ御尋ニナルヤウナコトガナイトハ申シマセヌ、從ッテ法律ニモ社員ガ百人ヨリ減ジマシタトキニハ會社ハ之ニ依ッテ解散スルト云フコトヲ認メテ居リマスル、是ハ前會ニ他ノ政府ノ委員ヨリ申上ゲマシタ通り株式會社ニ附イテハ七人未満ニ株主ノ數ガ減ジマスレバソレデ會社ハ解散スルコトニナッテ居リマスルガ、ソレト同ジヤウナ譯合デ、株式會社ガ中々七八人ノ株主デ成立ツモノハ減多ニナイコトデアリマス、相互會社モ矢張り百人未満デハナラヌト法律ニ最下限ヲ附シテゴザイマスガ、最下限ニ下ッテハ殆ド會社ハ成立ガ出來ヌノデ、通常先ヅサウ云フコトハアリ得ヌ、斯ウ云フコトガアッテハ會社ハ解散ナスルノ外ハナイト斯ウ考ヘマス、先ヅ十ノ八九ハサウ云フコトハナイト見ルノ外アリマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ノハ修正ハ出デ居ッタノデスカ

○村田保君 政府委員ニ尋ネマシテ是デ宜イト云フコトデアレバ本員ハ強チ修正シヤウト云フ程大事ナコトデモゴザイマセヌガ、唯是ハ會社ノ將來ヲ慮ッテ質問シタノデゴザイマス、ソレデドコマデモ此事ハ大丈夫デアルト云フコトデアレハ修正シヤウト云フ譯デアリマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) 四十一條、御異議ナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 四十二條

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス、次ハ四十三條ヨリ五十六條マデ

○名村泰藏君 政府委員ニ質問致シマス、四十九條ノ「取締役又ハ監査役ト爲ルコトヲ得ス」通常ノ何デアリマスレバ會社ノ取締役ハ他ノ會社ノ取締役ト爲ルコトガ出來ナイト云フコトガアリスガ、此相互保險會社ニ限ッテ監査役ハ他ノ會社ノ監査役ト爲ルコトハ出來ナイト云フコトヲ御入レニナリマシタノハドウ云フ御主意デアリマスルカ、一體監査役ハ取締役トハ大ニ違ヒマスモノデアリマスルカラ、他ノ會社ノ監査役ト爲ッテモ差支ナイト思ヒマスガ、相互會社ニ限ルト云フコトハ少シモ分リマセヌカラチヨット伺ヒマス

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 御答ヲ致シマスルガ、是ニハ深イ仔細モナイコト

デゴザイマス、普通ノ會社ニ在ッテハ取締役ガ業務ノ衝ニ當ッテ居ル者デアッテ、監査役ハ唯ニ之ヲ監督スルニ止マルモノデアルカラ、取締役ガ他ノ會社ノ監査役ヲ兼ヌルト云フコトマデモ禁ズル必要ハナイト思ヒマシタ、ケレドモ此保險ニ附キマシテハ別シテ此相互保險ハ營利ヲ目的トシナイ性質ノモノデ此相互保險ノ取締役ハ他ノ會社ノ監査役ト爲リマシテ……保險會社ノ監査役ト爲リマシテ、サウシテ同種ノ保險ヲ目的トスル會社デアリマスカラ假令監督ノ任ニ當ッテ居ラウトモ矢張り其者ハ其會社ノ利益ヲ圖ラネバナラヌノデアアル、同業者間デアアル甲ノ相互會社ノ取締役トシテ十分相互會社ノ利益ヲ圖ラネバナラヌ者ガ同時ニ又他ノ同種類ノ保險會社ノ監査役ニナッテ矢張り其會社ノ利益ヲ計ラネバナラヌト云フコトデハ幾分力競争上ノ弊ガアラウト考ヘマシテ、特ニ此相互會社ノ取締ヲ嚴重ニスル目的デ此規定ヲ置キマシタ、深イ仔細ハナイ

○名村泰藏君 マア一ツ……サウシテ見ルト保險株式會社ノ監査役、取締役ガ他ノ同業社ノ監査役トナルト云フコトモ均シク取締上カライカナイヤウニ考ヘル、相互會社デモ均シク保險ノコトナスル、株式會社モ保險會社ノ保險ノコトナスルナラバ、ソレト同様ナコトデアラウト思ヒマス、是ニ限ルト云フコトハドウモ理窟ガナイト思ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 御答致シマス、ソレハ聊カ御意見ノヤウデアリマスルケレドモ、詰リ相互會社ト云フモノノ種類ハ株式會社ト異ナルモノデ、營利ヲ目的トセザルモノデアルカラ、普通ノ營利會社ヨリハ一層窮屈ニシテ置イテ宜シイト云フ位ナ理由デアリマス、此上説明スベキ理由ハゴザイマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ五十七條ヨリ六十三條マデ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス、六十四條、六十五條

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス、六十六條

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ナクバ原案ニ決シマス、六十七條

○村田保君 本員ハ先刻述べマシタ通り死亡ト云フコトガアリマスガ、死亡ノ他ニマダ失踪ト云フモノガドウモ入レルコトが必要ト思ヒマス、政府委員

ニ於キマシテハ失踪ト云フモノハ即チ死亡ト同シダ、民法ニアルカラ此死亡ノ中ニ失踪モ這入ッテ居ルト云フ此間答辯デゴザイマシタガ、ドウモ死亡ノ中ニハ失踪ハ這入ッテ居ラヌト思ヒマス、ト申シマスルモノハ戶籍法ニモ此失踪ノ宣告ト云フコトガゴザイマスシ、民法ニモ七箇年間所在ガ不分明デアルナラバ失踪ノ宣告ヲスルト云フコトガアル、ソレカラ其後七箇年ヲ經ナケレバ死亡ト云フコトハ認メナイ、失踪ノ宣告ヲ受ケマシタモノト申スモノハドウモ是ハ退社ヲサセルガ當然ト思ヒマス、政府委員モ失踪ハ固ヨリ認メテ居ッテ死亡ノ中ニ合算スルト言ハレルガ是ハ無理デハナイカト思ヒマス、ドウカ死亡ト云フ下ヘ失踪ト云フ字ヲ加ヘタイ、斯ウシマスレバ極ク明瞭ニナルト思ヒマスカラ「死亡」ノ下ヘ「又ハ失踪」ト致シタイ、ドウカ滿場諸君御賛成ヲ願ヒマス

○鳥越貞敏君 賛成

○兒玉淳一郎君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○伯爵坊城俊章君 賛成

○中島永元君 賛成

○山田卓介君 賛成

○佐藤國彦君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○澤簡德君 賛成

○松平正直君 賛成

○子爵鍋島直彬君 賛成

○子爵青木信光君 賛成

○石井省一郎君 賛成

○子爵野宮定毅君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ノ動議ガ成立チマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ノ動議ガ成立チマシタ

○政府委員(梅謙次郎君) 失踪ノコトニ附キマシテハ唯今村田サンノ御意見ガアリマシタガ、少々相違致シテ居ル點ガアリマスカラ申上ゲマス、村田サンノ仰セニハ民法ニ依ッテ七箇年ノ後チ先ヅ失踪ノ宣告ヲシテ、ソレカラ又七箇年經ナケレバ死亡ト云フコトニハナラヌト云フ仰デゴザイマス、サウデ

ハナイノデ、失踪ノ宣告ヲ受ケタ者ハ期間満了ノ時ニ死亡シタル者ト看做ス、此生死不分明ナル者ハ其七箇年經テタ所デ死亡シタル者ト看做ス、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレ故ニ此婚姻ニ附キマシテモ失踪ハ舊民法ヲハハ離婚ノ原因ニナツテ居リマスガ、失踪ノ宣告ヲ受ケタ者ハ取モ直サズ死亡ノ宣告ヲ受ケタノデ、例ヘバ獨逸民法ノ辭却デハ「死亡ノ宣告」ト譯スベキ文字ヲ用ヒテ居ル、從ツテ失踪ノ宣告ハ當然婚姻解除ノ理由デアル、死亡ニ等シイキト云フ所カラ民法ニ於テ別ニ明文ヲ置カナイ位デアル、然ルニ戶籍法ニ於テ何故ニ失踪ニ關シテ特別ノ規定ヲ必要ト致シタカト申シマスルト、ソレハ此手續上ニ於キマシテハ實際死亡致シタル者ト裁判所ノ宣告ニ依ツテ法律上死亡者ト認メラレタル者トハ固ヨリ違ヒマスカラ、手續ハ違テ居リマスケレドモ法律ノ結果ハ即チ失踪者ト認メラレタルモノハ法律上死亡者デアリマス

○村田保君 ドウモ分リマセヌ、七箇年間生死が不分明ト云フトキニ利害關係者カラ裁判所ヘ失踪ノ宣告ヲ求メル、其時ニ裁判所ハ宣告ナスル、其次ノ條ニ失踪者ハ期間満了ノ時ニ死亡者ト看做スト云フノデスカラ、其七箇年ノ期間が満了シタ後ニ初メテ死亡者ト看做スト云フコトノ法文ニナツテ居リマス

○政府委員(梅謙次郎君) 民法第三十條ニハ不在者ノ生死が七年間分明ナラザルトキハ裁判所ハ利害ノ關係人ノ請求ニ因リ失踪ノ宣告ヲ爲スコトヲ得トアリマス、特別ノ場合ハ三年ニナツテ居リマス、次ノ三十一條ニ「失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ハ前條ノ期間満了ノ時ニ死亡シタルモノト看做ス」トアル、此前條ノ期間ト云フノハ七箇年ノコトデ、其時ハ死亡シタルモノトナリマスカラ取モ直サズ其者ノ生死が分明ナラザルコト、七箇年經ツト死亡シタルモノト看做スト云フ意味ニシカ解セヌト考ヘマス

○村田保君 兎ニ角失踪ト云フ字ヲ加ヘテ置キマシタナラバ誠ニ明デアラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、六十七條、御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ六十八條ヨリ九十一條マデ、……御異議ガナクバ原格ニ決シマス、次ハ九十二條、是ニハ……

○子爵小笠原壽長君 此九十二條ハ前ニモ述ベマシタ通り三條ガ削除ニナリマスレバ此九十二條ニ附キマシテ私共ガ少數意見ヲ出シテ居リマスコトハ自

然ノ結果トシテ消滅シテ宜シイ譯デアリマスカラ少數意見ハ撤回致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 九十二條、御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ九十三條ヨリ九十八條マデ……御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ九十九條

○村田保君 此九十九條ノ七項ノ處ニ「第二十三條ノ規定ニ違反シテ合併ヲ爲シタルトキ」ト云フコトガゴザイマスガ、之ニ附イテ政府委員ニ御尋シタイ、此三十三條ニ違反シテ合併ナスルト云フコトハ即チ未項ノ催告ヲ爲サンデ合併スルト云フコトデスカラ、是ハ如何ナモノデゴザイマセウカ、ドウモ合併ガ出來ナイノデハナイカト思フ、サウ云フ不法ナコトデハ合併ト云フコトハ出來ナイノデハナイカ、ト申シマスルモノハ二十六條ノ「合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請書ニハ第二十三條第一項ノ規定ニ依ル催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル者アルトキハ其者ノ保險金額カ會社ノ保險金額ノ十分ノ一未滿ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス」ト云フコトガアルカラ、合併ナスルニハドウシテモ登記ヲシナケレバナラヌ、登記ナスルニハ違法ナル登記ハナイ、決シテ債權者等ニ不満足ハナイト云フ所デ登記ナスル、ドウモ此違背シテ合併ナスルト云フコトハ出來ナイト存ジマスガ、是ハ如何ナモノデゴザイマスガ、若シ萬一違背シテ出來ルト云フコトニナレバ其會社ト云フモノハ又解散ヲサセルト云フコトガナケレバナラヌ、其邊ハドウナツテ居リマスカ

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 唯今ノ御尋ニ御答辯致シマスガ、無論法律上ハ二十三條ノ規定ニ違ウテ合併シテハナラヌ、即チ法律上ハ出來ヌノデアリマス、法律上ハ出來ヌノデアリマスケレドモ、事實上爲スモノガナイトハ限ラヌ、事實上ソレヲシタナラバ其結果如何ニナルカト申スト二十三條ノ中デ第三項、第三項ノ場合デアリマスルナラバ是ハ法律上合併ト云フコトハ成立シナイノデ、ソレカラ第五項ノ場合デアリマシタナラバ法律上合併ト云フコトガ成立ハスルガ、併ナガラ此催告ヲ爲サザリシ者ニ合併ヲ對抗スルコトヲ得ナイト云フコトニナツテ居リマス、然ル所此規定ニ依ラズシテ合併イタシタモノガアルト致シマスルト、事實上ハ財産ヲ併セテ仕舞フノデ、其結果法律上ハ合併ヲ認メヌト云フ場合デアラナラバ事實上一緒ニナツテ居ルモノヲ唯法律ダケデ認メナイト申シマシテモ、其弊ノ生ズル所ハ申スマデモナク甚ダ困難ノ問題ヲ實際ニ於テ惹起スノデアリマス、ソレカラ合併ハ成立スルガ、

或ル人ニ限ッテハ合併シタト云フコトハ言ヘナイト云フ、是モ實際ハ困難ナ問題ヲ惹起スコトデ、成ルベクサウ云フ場合ヲ生ゼシメナイヤウニセネバナヲヌ、ソレデ唯斯ノ如キ效力上ノ制裁ニ止メズシテ此九十九條ノ罰則ヲ以チマシテ、若シサウ云フコトヲシタ者ガアレバ千圓以下ノ過料ニ處スルト云フコトデ、是デサウ云フ違法ナル合併ヲ爲スコトヲ防ガウト云フノデアリマス

○村田保君 少シク分リマセヌデスガ、法律上デハ合併ハ出來ヌケレドモ事實上合併ハ出來ルト云フコトハドウモ本員ニハ分ラヌ、事實上ドウモ合併ハ出來ナイ、合併シタ所ガドウモ此許可ヲ得ナイ、登記ヲシナイデハ營業モ何も出來ナイ、若シソナコトガアリマスレバ、ソレハモウソレコソ其會社ヲ解散サセシマツテモ宜イ、ドウシテモ免許ヲ得ナイデ出來ル道理ハナイノデス、事實上ドウシテモ、此事實上合併ト云フコトハ出來マイト思ヒマスカラ、尙ホモウ一應事實上、合併ガ出來ル營業ガ出來ルト云フコトヲ承リタイ

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 事實上ノ合併ト申シマスルノハ詰リ甲ノ會社ノ財産ト乙ノ會社ノ財産ヲ一緒ニスルト云フコトハ事實上出來マスノデ、サウ致シマスト事實上ノ合併ガ成立スルノデアリマス、尙ホ先刻登記ニ關聯シテ御話ガゴザイマシタガ、御承知ノ通り登記所ニ於キマシテハ完全ナル證明ヲ俟ッテ然ル後登記ヲ爲スモノデアリマセヌカラシテ、登記ヲ致シマシタ場合デアツテモ矢張り違法ナルコトガアリ得ル、況ヤ登記ヲシナイ中ニ財産ダケハ合併スルコトガ出來マス

○村田保君 此事實上合併ト云フコトハ猶更唯今無理ニ何デゴザイマスケレドモ、ドウモ本員杯ノ事實上合併ト云フコトハドウシテモ出來能ハザルモノデハナイカト思フ、ナゼト申シマスルノニ此會社ガ此社員ニ諮ラズシテサウシテ勝手ニスル譯ニハイカヌ、是非社員ニ諮ッテ其上デヤルノデスカラ、社員ニ諮ラズシテ、サウシテ事實上合併ノ出來ルト云フ譯ノモノデハナカラウト思フ、ソレト尙ホ伺ヒタイノハサウ云フ會社ハドウ云フ處分ナサレマス、此場合ハ……サウ云フ違反シテ合併シマシタ會社ハ元ノ通り甲乙トアッタラバ甲乙ト引離シテ、サウシテ元ノ甲乙ノ會社ニチャントサシテ置キマスカ、或ハサウ云フドウモ不都合ナコトヲシマシタ會社ハ共ニ解散サセルノデゴザイマスカ、ドウ云フ一體アトノ處分ニナリマス

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 唯今ノ事實上ノ合併ヲ爲シマシタル所ノ會社ハ社

員ガ多クアリマシテモ、或ハ總會デ決議ナスル、サウスレバ多數決デ決シマス、マア極端ニ言ヘバ取締役ガ合併ヲ取計フト云フコトモ出來得ル、ソレハ違法ニ又違法ヲ加ヘルコトニナリマスデ取締役ガ總會ノ決議ヲ經ラセルト云フノガ先ヅ多カラウト考ヘマスガ、サウスレバ多數決デ違法ナル決議ナスルコトハドウモ事實上アリ得ル、ソコデ斯ノ如キ違法ナルモノガ生ジマシタ場合ニハ會社ハドウナルカト申シマスルト、先刻申上デマシタ通り二十三條ノ三項ノ場合ニ於テハ法律上合併ガ成立シナイカラ縱令財産ハ一緒ニナッテ居リ事務所ハ一緒ニシテ營業ヲシテ居リマシテモ、ソレハ法律ノ眼カラ見ルト二ツノ會社デアアル、第五項ノ場合デアリマスルト云フト合併ハ成立スルノデアリマスカラ、唯或ル人ノ權利ヲ害スルト云フコトニナッテ其人ダケハ保護セラレ、ノデアリマス、ソコデ斯ノ如キコトヲ致シタモノハ固ヨリ不都合ナル所爲ノアルモノデアルカラ、若シ主務官應ニ於テ必要ナリト認メマスレバ第十二條及第十三條ニ據リマシテ極端ナル處分ハ即チ解散ヲ命ズルト云フコトモマア出來マスルノデ、是ダケノ制裁デハナイ、矢張り解散ト云フ制裁モ御尋ノ通りアルノデゴザイマス

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○村田保君 サウ致シマスルト云フト此合併ヲ致シマシタル所ノ社員ト申シマスル者ハ誰ヲ相手取ッテ訴ヲ起シテ宜シイノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 法律上合併ノ成立イタシマセヌ場合ニハ即チ甲ノ會社ノ社員ハ甲ノ會社ノ役員トシテ選バレテ居リマスル者ヲ相手取リマセウシ、乙ノ會社ノ者ハ乙ノ會社ノ取締役トシテ選バレテ居リマスル者ヲ相手取ルコトニナリマス、實際一緒ニ營業ハシテ居ッテモ法律ノ眼カラハ矢張り甲ノ會社ノ取締役、乙ノ會社ノ取締役ト判然致シテ居リマス

○村田保君 尙ホ一ツ御尋致シタイ、サウ致シマスルト此二十三條ノ規定ニ違反シテ合併シタ、事實上合併シタト假ニ見マス、其時ニハ此會社ノ取締役、監査役杯ト云フ者ハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處スト云フコトガアリマスガ、其場合ニハサウ致シマスルト云フト兩方ノ會社ノ取締役ヲ罰セラレマスガ、合併シタ後ノ取締役ヲ罰セラレマスガ、ソコチ一ツ伺ヒタイ、ソレカラソレノミナラズドウモ此取締役杯ト云フ者ハドウシテモ登記ノ後デナケレバドウモ合併シタ會社ノ取締役ト云フコトハ言ヘマイト思フ、其邊モ一ツ伺ッテ置キタイ

〔政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(梅謙次郎君) 御答イタシマスルガ、此合併が法律上成立致シマセヌ以上ハ合併シタル會社ノ取締役ト云フ者ハ法律ハ認メマセヌ、ソレ故ニ縱令總會ノ決議ナリ何ナリニ依ッテ前ノ甲乙二會社ノ取締役ヲ新タニ取締役ニ選ビマシテモ、其罷メラレタル者ハソレハ矢張り違法ニ罷メラレタト云フコトニナッテ責任ヲ免レルコトモ出來ズ、關係ヲ持ッテ居ルト云フコトニナリマス、而シテ其違法ナル合併ヲ爲シマシタ場合ニハ必ズ二會社協議ノ上デナケレバ此合併ト云フコトハ事實上ニ於テモ成立チマセヌカラ、即チ兩方ノ會社共が違法ノコトヲ致シタノデ、甲ノ會社ノ取締役タリトモ乙ノ會社ノ取締役タリトモ共ニ處分ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトニナリマス

○村田保君 尙ホ一ツ御尋シマスガ、ドウモ是ハ合併シタ後ニハドウモ甲乙ト云フコトハ言ヘマイト思フ、取締役ト云フ者ハナクナッテシマフ、合併シテ見レバ一ツニナッテシマフカラ前ノ取締役ハ自然ニ消エテシマッテ新規ニ設ケナケレバナラヌト云フコトニナルダラウト思ヒマスガ、ソレヲバ矢張り取締役ト云フコトニ前ノ取締役ト云フ者ヲ罰スルト云フコトニナリマスガ、ソレデモ……

○政府委員(梅謙次郎君) 是ヨリ御答致シマス、法律上合併ガ成立致シマセヌケレバ合併シタル會社ト云フモノハ事實上存シテ居ッテモ法律ノ眼カラ見マスレバナイノデ、從テ其會社ノ重役タル取締役ト云フ者ハ法律上ナイ、縱令形式上ニ於テ總會ヲ開キマシテモ或ハ登記ヲシテモ、違法ナル登記ヲ致シマシテモソレデモ元ガ無効デアリマスカラ共ニ無効デアリマス、即チ前ノ取締役ト云フ者ハ甲會社乙會社ノ取締役ガ各、別レテ法律ノ上ニ於テハ存シテ居ルト云フコトニ見エマスルノデス、少シモ法律ノ適用上ニ於テハ困難ヲ感ジマセヌ

○村田保君 ソレナラ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 九十九條ニハ御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、第百條ヨリ第百十六條マデ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ御異議ガナクバ原案ニ決シマス、……第百十七條

○村田保君 此第百十七條ハ先刻モ申シマシタ通り兩院ノ協議上デ斯ウ云

フ、「本法ノ施行ニ關スル細則ハ主務大臣之ヲ定ム」トカ命令ヲ以テ之ヲ定ムトカ云フコトハ一切掲ゲヌト云フコトニナッテ居リマス、ソレ故ニ先日モ委員會ニ於キマシテ蠶種検査法ナドニ之ヲ掲ゲヤウト存ジマシタガ、ドウモ近頃出マス法律ハ總テ是ハ削ッテアルカラト云フコトデ遂ニ削リマシタノデゴザイマス、然ルニ此保險法ニ於キマシテハ矢張り是ガゴザイマスカラ、ハ無論削除ニナッテ然ルベキコトダト存ジマス

○子爵黒田和志君 少シ遅レマシテゴザイマスガ此第百一條ニ……

○議長(公爵近衛篤磨君) マウ濟ミマシタ

○子爵黒田和志君 「主務官廳ノ免許ヲ受ケズシテ」云々トゴザイマス、是ハ第三條ヲ削除シマシタ結果デ是モ改メナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ三讀會デ提出シテ宜シウゴザイマセウカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 三讀會デハイケマセヌ大體議デスカラ

○子爵黒田和志君 此百一條ノ「」ト云フ所デゴザイマス「主務官廳ノ免許ヲ受ケズシテ」云々ト申ス所デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ドウモ決議ニナッテシマヒマシタカラ致方ガナイ、百十七條、原案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數ト認メマス、此條ハ削除ニナリマシタ、是ニテ二讀會ハ終リマシタ

○山田卓介君 日程ヲ變更サレテ直チニ三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵小笠原壽長君 百一條ハ自然ノ結果トシテ消滅シナケレバナラヌ譯ナンドゴザイマスガ出來マセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレハ出來マセヌ

○村田保君 如何デゴザイマセウカ、例ヘテ見レバ頭ガナケレバ足モナクナルト云フ理窟デ、百一條ハ自然ノ結果ダト思ヒマス、ソレ故ニ先程モ是ハ既ニ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ニチヨット、唯今三讀會ハ大體議デアルカラ出來ヌト申シマシタガ、貴族院規則ノ第七十七條ニ「第三讀會ニ於テハ文字ヲ更正スルノ外修正ノ動議ヲ爲スコトヲ得ス但シ議案中互ニ抵觸スル事項又ハ現行法律ト抵觸スル事項アルコトヲ發見シタルトキ必要ノ修正ヲ動議スルハ此ノ限ニ在ラス」ト云フ取除ケガアリマスカラ出來ルコトニナリマス、三讀會ヲ直チニ開クト云フニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ三讀會ヲ開キマス

○子爵黒田和志君 第一一條ノ「一」デ「主務官廳ノ免許ヲ受ケスシテ社員ニ非サル者ト保險契約ヲ爲シタルトキ」トゴザイマス、是ハ私ノ考デハ「主務官廳ノ免許ヲ受ケスシテ」ト云フダケヲ削除シテハ如何カト思ヒマスガ、先ヅ全體ヲ削除スルコトニシタイト思ヒマス

○子爵小笠原壽長君 賛成

○村田保君 賛成

○男爵渡邊清君 賛成

○南郷茂光君 賛成

○熱海孫十郎君 賛成

○中西光三郎君 賛成

○角田林兵衛君 賛成

○荒野由次郎君 賛成

○色部義太夫君 賛成

○男爵榊取素彦君 賛成

○子爵山井兼文君 賛成

○子爵一柳末徳君 賛成

○子爵野宮定穀君 賛成

○子爵久留島通簡君 賛成

○田中芳男君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正動議ガ成立チマシタ

○中山文樹君 唯今ノハ少シ聴取レマセヌデゴザマスガ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一一條ノ「一」ト云フ所ヲ削除シヤウト云フノデゴザイマス

○村田保君 如何デゴザイマセウカ、三讀會ヲ延バシテ戴ク譯ニハ行キマセヌカ、尙ホモウ一應見マセヌト、ドウモ唯今ノヤウナ落ガ出来マシテ、ツイソレガ決議ニナッテシマフト云フコトニナリマス、不都合ナ結果ヲ生ジヤウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 三讀會ヲ開イテ此修正ガ出マシタノデ……

○村田保君 併ナガラ議場ニ賛成ガ多數デアッタラ如何デゴザイマス
○議長(公爵近衛篤磨君) 議場ノ多數デアレバ出来マスガ、議長ノ計ヒデ延期スルト云フコトハドウモ致シ兼ねマス

○村田保君 諸君、如何デゴザイマセウ、是ハ何條カラ何條マデト云フコトデゴザイマスカラ、随分見落モアッテ唯今ノヤウナ實ニ不都合ナ結果ヲ來ダスト思ヒマス、僅ニ一夜位御猶豫ガゴザイマスレバ我々モ讀ンデ見、又政府委員ニモ能ク見テ戴クコトニシタラスノ如キ不都合ノ結果ヲ生ズルコトハナイ、即席ノ修正デゴザイマスカラ滿場ノ諸君ノ見落チナサルコトモ實ハ無理ハナイト思ヒマス本員等モ少シモ氣ノ附カヌコトガアリマス、妙ナ決議ニ相成リマスルト本院ノ體面ニモ關シマスルカラ、ドウゾ滿場ノ諸君モ今日ノ所ダケハ是ダケニシテ置カレルト云フコトヲ偏ニ希望致シマス

○宮本小一君 是ハ賛成シテ宜シウゴザイマスカ……ソレデハ村田君ニ賛成致シマス

○伯爵坊城俊章君 村田君ニ賛成シマス
○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ定規ノ賛成ト云フモノハ要ラヌノデス、村田君ノ三讀會ノ決議ヲ延期スルト云フ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、ソレデハ延期ニナリマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 精神病者監護法案、政府提出、第二讀會、第一條……委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第二條……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 第三條ヨリ第五條マデ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、第六條

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス、第七條……原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ハ第八條

○村田保君 此一項ノ修正デゴザイマスガ「精神病者監置ノ必要アルトキ監護義務者其ノ義務ヲ履行セス又ハ監置不適當ト認ムルトキハ」トアル「監護義務者其ノ義務ヲ履行セス」ト云フコトハドウモナイ方宜イダラウト思フ、之ヲ入レマスト云フト妙ナモノニナリマシテ監護義務者ガ不適當ト認ムルトキハト云フヤウニ讀メル、原案デゴザイマスレバ「精神病者監置ノ必要アルトキ又ハ監置不適當ト認ムルトキハ」ト云フノデゴザイマスカラ、是ハ行政廳ガ認メルト云フコトニナリマスガ、是ガ「監護義務者其ノ義務ヲ履行セス」ト云フ字ガ出テ居リマスカラ監護義務者其ノ義務ヲ履行セス又ハ監置不適當ト認ムルトキハト讀メマス、原案ノ方ガ疑ガナイト思ヒマスカラ、此處ハ原案ニ復シタ方宜イト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ニ伺ヒマスガ、外ノ修正ニハ御異議ハナイノデアリマスカ

○村田保君 外ニハ異議ハアリマセヌガ、ソレト十條……

○議長(公爵近衛篤磨君) 八條ノ中デ……

○村田保君 八條ノ中ニハ外ニ何モゴザイマセヌ

○渡邊洪基君 村田君ノ説ニ贊成

○伯爵正親町實正君 チョット此修正ノコトニ附イテ申シテ置キマスガ、是ハ之ヲ削リマスト大變不都合ナコトニナル、ト云フモノハ此六條ニ「精神病者ヲ監置スルノ必要アルモ監護義務者ナキ場合又ハ監護義務者其ノ義務ヲ履行セス若ハ」ト云フ字ガアリマス其「履行セス若ハ」ト云フ字ヲ削除シマシタカラ、監護義務者ガ履行シナイ時分ニハドウスルト云フコトガナクナッテシマフ、サウスルト初此六條ノ條文ニハ監護義務者ガ義務ヲ履行シナイ時分ニハ市町村長ガ之ヲ監護スルト云フコトニナッテ居リマスガ、サウスルト若シ履行シナイ時分ニハ直チニ市町村長ガ監護シナケレバナラヌヤウニナルカラ、先ヅ履行セヌトキニハ行政官廳ガ監護スベキコトヲ監護義務者ニ命ズル、サウシテ尙ホ監護シナイトキハ已ムヲ得ズ市町村長ニ監護サシタ方宜カラウト云フコトカラ、六條ノ方ハ削除シテ八條ニ入レタノデアリマスカラ、八條デハ其監護義務者ガ其義務ヲ履行シナイ場合ニハ、行政廳ガ其監護義務者ニ其履行ヲ命ズルト云フコトニナッタノデアリマスカラ、若シ之ヲ取ッテシマフト、監護義務者ガ其ノ義務ヲ履行シナイ時分ニハドウモ致方ガナイト云フコトニナル

○村田保君 本員ハ唯今特別委員長ノ御説明ヲ伺ヒマシテ、尙更ナイ方宜イト思フ、何ゼト申シマスノニ行政廳ニ於テ監置シナクチャナラヌト云フ場合ト或ハ不適當ト場合ニ於テハ斯ウ斯ウ云フヤウナ監置ノ命令ヲスルコトヲ得ト云フ規定ガアル、ソレカラ又三項ニ「本條ニ依リ精神病者ノ監置ヲ命セラレタル監護義務者其ノ命令ヲ履行セサルトキハ」トアル、是デ命令ヲ履行シナイトキハ斯ウ斯ウスルゾト云フコトガアリマシタラバ、是ハ重複ノ上ニモ重複デアリハシナイカト思フ、ソレノミナラズ此文章ガドウシテモ讀切レナイ「精神病者監置ノ必要アルトキ監護義務者其ノ義務ヲ履行セス又ハ監置不適當」ト監護義務者ガ下ニ掛ッテシマフ、法律文ニナリマスト餘程ハ解釋ニ困ラウト思フ、ソレデ唯今ノ如キ修正ニハ及ブマイ、斯ウ云フ場合ニハ監置ヲ命ズルガ監置ノ命令ニ從ハナイトキハ云々トアリマスカラ、ソレデ明ダラウト思フ

○議長(公爵近衛篤磨君) 此採決ハ各項ヲ分ッテ決ヲ採リマス、第一項、委員會ノ修正ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數デアリマス、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレカラ後ハ第二項ヨリ終マデ合セテ採決シマス、委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレカラ第九條……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 第十條

○村田保君 此修正モドウモ「監護義務者」ト云フ字上ニ掲ゲテレマシタガ是モ必要ガナイト思フ「監護義務者監置ニ要シタル費用」トゴザイマスガ、義務者ノ監置ノ費用バカリデナイ、其他隨分費用ガ要ラウト思フ、監護義務者ノミガ監置ニ要シタル費用トアリマスガ、是ハ獨リ何モ監護義務者バカリニ限ッタコトハナイ、サウシテ見マスレバ是ハナイ方宜イ、原案ノヤウニ「監置ニ要シタル費用ハ」ト斯ウ廣クヤッタ方宜カラウト思ヒマスカラ、是ハ矢張り原案ノ儘ノ方宜イト思フ

○男爵渡邊清君 贊成

○名村泰藏君　チヨット申上ゲマスガ、第十條ニ「監護義務者」ト云フコトヲ入レマシタノハ別ノコトデアリマセヌ、此費用ハ政府委員ニ問ヒマシタ所ガ、監護義務者ガ監護ニ費シタコトバカリデアル、斯ウ云フコトデアリマシタ、ソレデソレナラバ「監護義務者」ト云フ字ヲ入レタ方ガ宜シイ、其外ニ費ス所ノモノハ市町村デ扱ヒマシタトキノ外ハアリマセヌト思ヒマスカラ、此「監護義務者」ト云フ字ハ最モ必要デアルト委員ハ思ヒマシテ此修正ヲ致シタ譯デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君)　是モ項ヲ分ッテ決テ採リマス、第十條、委員會ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　少數

○議長(公爵近衛篤磨君)　少數ト認メマス、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　第二項、委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　第十一條ヨリ第十三條マデ……御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ十四條

○松本鼎君　此第十四條……十五條ハマダ議題ニナリマセヌケレドモ聯絡シテ居リマスカラ一言申シマス、委員ノ修正ハ削リタイ、ドウカト申シマスト初ニ質問シマシタガ「不正ノ所爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ト云フコトハ即チ刑法ノ文句ニ依ッテ書イタモノデアルト云フコトデゴザイマシタ……

○議長(公爵近衛篤磨君)　ドコノ箇條デスカ

○松本鼎君　十四條ノ二項デス、因リテ不正ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ重禁錮ニ處シ百圓以下ノ罰金ヲ附加ス」ト云フ、之ヲ書キマシタノハ刑法ノ文字ニ依ッテ書イタ併シ是ハ二項ニナッテ居ルノミナラズ前ノ本文ノ「官吏公吏又ハ行政廳ノ命ヲ受ケテ公務ヲ行フ醫師本法ノ施行ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ刑法第二百八十六條ノ例ニ照シテ處斷ス」其次ヘ「因リテ不正ノ所爲」云々トアリマスガ、此「因リテ」ト云フノハ文ヲ成サヌノミナラズ解釋ガ出來マセヌ、此修正第十四條十五條ハ共ニ原案デ能ク分ッテ居リマス、却ッテ修正ニナタノハ意味ガ分ラヌヤウデアルカラ修正ハ削除シタイト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君)　松本君ノハ全部原案ノ通りデゴザイマスカ

○松本鼎君　サウデゴザイマス

○渡邊洪基君　賛成

○議長(公爵近衛篤磨君)　渡邊君ハ松本君ニ賛成デアッタノデゴザイマスカ

○渡邊洪基君　左様デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君)　第十四條、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者　少數

○議長(公爵近衛篤磨君)　少數デアリマス、然ラバ原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　第十五條

○松本鼎君　第十五條ハ第十四條ノ節ニ述ベテ置キマシタカラ別ニ贅言ハ致シマセヌ、依ッテ之ヲ削除シタイト思ヒマス

○侯爵細川護成君　賛成

○議長(公爵近衛篤磨君)　第十五條、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　少數

○議長(公爵近衛篤磨君)　少數ト認メマス、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　第十六條……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　次ハ第十七條……委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　第十八條、第十九條……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　第二十條……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君)　第二十一條……御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二十二條、第二十三條……御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ原案ニ決シマス、第二讀會ハ是デ終リマシタ

○山田卓介君 議事日程ヲ變更シテ直チニ三讀會ヲ開カレムコトナ……

○子爵小笠原壽長君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 直チニ第三讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ直チニ三讀會ヲ開キマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ニハ議事日程ノ第五、第七ヲ合シテ問題ニ供シマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲玆ニ載録ス以下之ニ同ジ〕

臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

右

勅使ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十三年二月九日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

大藏大臣伯爵松方正義

內務大臣侯爵西郷從道

陸軍大臣子爵桂 太郎

文部大臣伯爵樺山資紀

外務大臣子爵青木周藏

遞信大臣子爵芳川顯正

海軍大臣 山本權兵衛

司法大臣 清浦奎吾

農商務大臣 曾禰荒助

臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

第一條 臺灣ニ在勤スル文官判任以上ノ者ニシテ三箇年以上引續キ在職シタル者ニハ官吏恩給法並官吏遺族扶助法ノ在官年數計算ニ於テ其ノ在職一箇月ニ對シ半箇月ヲ加算ス但シ從軍年ノ加算アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ加算シタル年月數ハ軍人恩給法ニ於テ文官服務中ノ日數中ニ算入ス

第二條 臺灣ニ在勤スル文官判任以上ノ者ニシテ三箇年以上引續キ在職シタル者臺灣ニ於テ風土病又ハ流行病ニ罹リ官吏恩給法第三條第二號ニ準スヘキ者ニハ恩給及增加恩給ヲ給ス

前項ノ病疾ニ罹リ之カ爲退官シタル後重症ニ趨キタルトキハ官吏恩給法第六條ノ規定ニ準シ相當ノ恩給ヲ給ス

第三條 臺灣ニ在勤スル文官判任以上ノ者臺灣ニ於テ風土病又ハ流行病ニ罹リ在官中死去シタルトキ又ハ之カ爲退官シタル後其ノ病疾ノ爲死去シタルトキハ左ノ區別ニ從ヒ官吏遺族扶助法ノ規定ニ依リ其ノ遺族ニ扶助料ヲ給ス

一 第一條ノ在職三箇年未滿ナルトキハ十五箇年在官シタル者ト同視シ其ノ受クヘキ恩給年額ノ三分ノ一

二 第一條ノ在職三箇年以上ナルトキハ其ノ受クヘキ恩給年額ノ三分ノ二

第四條 前二條ノ風土病及流行病ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第五條 本法ノ規定ハ本法施行ノ際現ニ臺灣ニ在勤スル者ニ關シテハ本法施行前ヨリノ在職年月數ニモ之ヲ適用ス

附 則

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣ニ服役スル軍人ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十三年二月九日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

陸軍大臣子爵桂 太郎

海軍大臣 山本權兵衛

臺灣ニ服役スル軍人ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

第一條 臺灣ニ於テ服役スル軍人ニシテ六箇月以上引續キ服役シタル者ニハ軍人恩給法ノ服役年數計算ニ於テ其ノ服役一箇月ニ對シ現役外ノ年月トシ半箇月ヲ加算ス但シ從軍年又ハ外國航海年ノ加算アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ依リ加算シタル年月數ハ官吏恩給法ニ於テ在官年數中ニ算入ス
第一項ノ加算ハ臺灣ニ到著シタル日ニ始マル

第二條 臺灣ニ於テ服役スル軍人ニシテ六箇月以上引續キ服役シタル者臺灣ニ於テ風土病又ハ流行病ニ罹リ軍人恩給法第四條第三號ニ準スヘキ者ニハ退職恩給、免除恩給及增加恩給ヲ給ス其ノ之ヨリ輕症ニシテ免除恩給ヲ受ケサル者ニハ同法第十四條第二號ニ準シ賑恤金ヲ給ス

前項ノ疾病ニ罹リ之カ爲現役ヲ離レタル後重症ニ趨キタル者ニハ軍人恩給法第十一條ノ規定ニ準シ相當ノ恩給ヲ給ス

第三條 臺灣ニ於テ服役スル軍人臺灣ニ於テ風土病又ハ流行病ニ罹リ現役中死去シタルトキ又ハ之カ爲現役ヲ離レタル後其ノ疾病ノ爲死去シタルトキハ左ノ區別ニ從ヒ軍人恩給法ノ規定ニ依リ其ノ遺族ニ扶助料ヲ給ス

一 第一條ノ服役六箇月未満ナルトキハ第五號表ノ半額
二 第一條ノ服役六箇月以上ナルトキハ第五號表ノ額

第四條 前二條ノ風土病及流行病ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス
第五條 本法第二條及第三條ノ規定ハ本法施行ノ際現ニ臺灣ニ服役スル者ニ關シテハ本法施行前ヨリノ服役月數ニモ之ヲ適用ス

附則

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員石原健三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石原健三君) 臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案ヲ提出シマシタ理由ハ此理由書ニ略載セテアル通りデアリマスガ、御承知ノ通り臺灣ハ内地ト遠ク離レテ其氣候ハ甚ダ不順ニゴザイマスシ、風土モ又調ハヌ地ニ於キマシテ其官吏ヲ在勤シマス官吏ヲ待遇シマスニ於キマシテハ此内地ノ官吏ヲ待遇スルモノヨリハ相當ノ等差ヲ設クル必要ガアラウト考ヘマスノデゴザイマス、然ルニ今日ニ於キマシテハ官吏ノ恩給並ニ遺族扶助ニ關スルコトハ臺灣ニ於キマス者モ内地ニ於キマスル者モ同一ニナッテ、

居テ臺灣ニ居ル者ヲ優遇スル方法ガゴザイマセヌ、故ニ此缺典ヲ補フ爲ニ臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給法遺族扶助ニ關スル年限ノ計算ノ上ニ附イテ内地ニ於キマス者ヨリハ年限ヲ短クスルノト、モウ一ツ臺灣ニハ時々流行病ガハヤリマスノミナラズ一種ノ風土病ガゴザイマス爲ニ往々此病毒ニ罹ル者ガゴザイマスカラ、是等ノ者デ其病毒ニ罹ッタ者ニ對シマスル相當ノ方法ヲ設ケテ官吏恩給法並ニ遺族扶助料ニ關スル法律ニ於キマシテ公務ニ原因スル時デナケレバ疾病ニ罹リマシテモ或ハ傷痍ヲ受ケマシテモ之ヲ扶助スル方法ガ立ッテ居リマセヌノデ、必シモ公務ニ原因シマセヌデモ、臺灣ニ在勤スル者ノ傳染病ニ罹リ或ハ風土病ニ胃サレタ時ニハ是ニ相當ノ恩給ヲ與ヘ又遺族ヲ扶助スル方法ヲ設ケルノガ此案ノ精神デゴザイマス、右ノ次第デゴザイマスカラ宜シク御協賛アラムコトヲ希望致シマス

〔政府委員龜井英三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(龜井英三郎君) 軍人ノ恩給及軍人遺族扶助料ニ關スル法律案モ今石原政府委員カラ述べテラレマシタ通りノ事情デゴザイマシテ、臺灣ノ地ニ義務トシテ服務シマスル軍人ニ對シテハ相當ニ之ヲ待ツ途ヲ講ジナケレバナラヌト云フ者ヲ以チマシテ此案ヲ提出ニナッテ譯デアリマス、ドウゾ御協賛アラムコトヲ願ヒマス

○侯爵細川護成君 此兩案トモ同一ノ委員ニ付託ニナラムコトヲ望ミマス

○議長(公爵近衛篤磨君) マダ特別委員ノ選定ニ移リマセヌ……他ニ御發議ガナイヤウデゴザイマスカラ委員ノ選定ニ移リマス、同一委員ニ付託シテ御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長指名ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○村田保君 是ヨリ土地收用法ニ移ラレル譯デゴザイマセウガ、今日ハ餘程モウ時刻モ切迫シテ居リマスシ、是ハ隨分議論ノアル案ダト思ヒマスカラ、ドウゾ議事日程ヲ變更サレマシテ第十カラ先キヘ開カレムコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ノ動議ニ御異議ガナクバ……

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) チョット村田君ニ御相談シマスガ、土地收用法ヲ

議事日程ノ第十五ト第十六トノ間へ持テ行ッテ宜シイデゴザイマスカ

○村田保君 成ルベクハ明日ニシテ戴キタイノデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ其通りニシマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 日本勸業銀行法中改正法律案、政府提出、第一讀會

日本勸業銀行法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十三年二月九日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

大藏大臣伯爵松方正義

日本勸業銀行法中改正法律案

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第十三條 削除

第三十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

勸業債券ヲ發行スル場合ニハ商法第九十九條ノ規定ヲ適用セス

〔政府委員男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今問題ニナリマシタ日本勸業銀行法中ノ改正デアリマスガ、至極ハ簡單ナモノデアリマシテ、十三條ハ即チ株券ニ對スル權利數ノコトガ特ニ規定シテアリマシテ、ソレガドウモ特別ノ規定ハ種々ノ經驗上要ルマイト云フコトニナリマシテ、ソレヲ削除シマシテ當リ前ノ商法ニ據リマシテ、其制限等ハ當リ前ノ商法ニ據リマシテ定款ヲ以テ如何様ニモ規定セラル、却ッテ其方が事實ニ適スルコトヲ經驗上發見シマシテ斯ク削除ニナリマシタ、ソレカラ三十四條ニ附加ヘマスノハ債券發行ニ附イテ議決ノ方法ガ勸業銀行ノ如ク初ヨリ法律デ以テ額面ノ極リマシタル債券ヲ發行シマスニ附イテハ餘リ手重ニナッテ居マシテ是亦經驗上少シク其當ヲ得ヌト云フコトカラ之ヲ改正スルト云フコトニ致シマシタノデアリマシテ、彼是事實上ヨリ斯ノ如クナッタ方が實地ノ進行ガ宜カラウト云フ所ヨリ出來タ法案デアリマスカラ……尙ホ委シイコトハ委員會デ申上ゲマス方が却ッテ御便利デアリマセウガ、斯ノ如キ簡單ナル案デアリマスカラ速ニ十分ノ御調査ヲ遂ゲラレテ協賛ヲ全ウセラレムコトヲ希望致シマス

○名村泰藏君 チョット質問致シマス、サウシマスト將來ハ總會ハ用ヒズシテ債券ヲ發行スルト云フコトニナリマスカ

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 議決ト云フモノガ御承知ノ通りニ二百九條ノ通りノコトヲ致サナクンバナリマセヌカラ、是ニハ及バズニ大體ノ所デ議決ヲ致シマシテ、サウシテ總裁ガ銀行總會デ極メマシテ、サウシテ主務省ノ認可ヲ得テ發行スルト云フコトニナル積リデアリマス

○名村泰藏君 ソレデハ能ク分リマセヌガ、將來ハ此債券ヲ募集スルニハ議決權ガ大變違ヒマス、其違フ所ヲ用ヒナイト云フコトニナリマスカ、通常ノ總會ハ開イテ矢張り株主ニ債券ヲ發行スルコトヲ御問ニナル積リデアリマスカ、マルデ初カラ拂込ノ十倍ト爲ッテ居ルカラシテ勸業銀行ノ債券ニ附イテハ總會ノ決議ハ要セヌト云フコトニナリマスカ

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 是ハ二百九條ヲ適用セズト云フコトダケデアリマス

○名村泰藏君 二百九條ヲ適用セスト云フノハ三分ノ二以上トカ幾ラトカ株主ノ集リ方ト權利數ノ數ガ定メデアリマスノデ、其總會ハ開クニ及バヌケレドモ通常ノ總會ハ矢張り開イテ株主ニ債券ヲ發行スルコトハ問フト云フ意味ニナリマスカ、マルデ債券發行ニ附イテハ總會ノ議決ハ要ラヌト云フコトニナリマスカ、其區別ナ……

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 總會ノ議決ト云フモノヲバ當リ前ノモノニスル積リデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 此委員ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 在外帝國專管居留地特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

在外國帝國專管居留地特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月九日

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

衆議院議長片岡健吉

第一條 在外國帝國專管居留地特別會計法

第二條 在外國帝國專管居留地特別會計ハ帝國專管居留地内ノ地所家屋ノ拂下代其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ帝國專管居留地内ノ地所家屋ノ買収及居留地ノ設備維持其ノ他一切ノ費用ヲ歲出トス

第三條 在外國帝國專管居留地特別會計ノ收入金額ニ不足ヲ生スルトキハ百萬圓ヲ限度トシ國庫内他ノ會計ヨリ一時借入ヲ爲スコトヲ得

第四條 政府ハ每年在外國帝國專管居留地特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト俱ニ帝國議會ニ提出スヘシ

第五條 本法ヲ適用スヘキ在外國帝國專管居留地ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今問題ニナリマシタ專管居留地ノ特別會計デアリマスガ、是ハ御承知ノ通りニ專管居留地ト云フモノガ段々發達致シテ來マシテ、サウシテソレニハ特別ノ收入モアリマスシ、又ソレニ對スル支出ト云フモノモ特別ニアルコトデアリマシテ、之ヲ一般會計ニ組入レマスモノトシマスト餘程彼是ノ手數ヲ要スル譯デアリマスカラ、ソコデ是ハ御承知ノ通りニ特別ニ收入ガアルノデアリマシテ、ソレデ以テ特別會計ヲ組立テルト云フコトガ餘程便利ニナルト云フコトハ疑モナイコトデアリマスシ、且又此專管居留地ノコトハ餘程是カラ實際上ノ進行ト云フモノモ時々種々ナ仕事モシナクンバナラヌコトデアリマスカラ、旁々以テ斯ノ如クナッタト云フ方が宜カラウト云フコトデ、此法案ガ提出ニナッタ譯デアリマスシ、シカ致シマスルト、ヒヨットスルト收入ニ不足ノ場合ガ生ジマスカラ、ソレハ三條ニ據ッテ一時ノ繰替ヲ爲スコトニ致シテアリマシテ、ソレニ對シテハ償却ノ方法モ略々目的ガ附イテ居リマスコトデ、委シイ計算等モアリマスガ、其事ハ十分……委シイコトハ委員會デモ申上ゲマセウガ、旁々以テ是ハ斯ウナッタ方が至極便利デアラウト云フ所カラ此法案ガ提出ニナリマシタ譯デアリマスカラ、是亦御調査ヲ下サレマシテ速ニ協賛ヲ全ウセムコトヲ希望致スデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長指名デ御異議ハゴザリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 裁判所及臺灣總督府法院共助法案、政府提出、衆

議院送付、第一讀會

裁判所及臺灣總督府法院共助法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

裁判所及臺灣總督府法院共助法

第一條 民事及刑事ニ關シ裁判所及臺灣總督府法院ノ間ニ於テハ相互ニ左ノ事項ヲ囑託スルコトヲ得

一 訴訟書類ノ送達

二 證據調

三 令狀ノ執行

第二條 共助ニ關スル費用及囚人刑事被告人ノ押送ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員石原健三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石原健三君) 裁判所構成法ニ據リマスト内地ノ裁判所ノ間ニハ互ニ補助ヲ爲ス規定ガアリマスガ、御承知ノ通り臺灣ノ總督府ノ法院ハ一種特別ノ組織デアリマシテ、裁判所構成法ヲ適用シテ居リマセヌガ爲ニ内地ノ裁判所ト總督府ノ法院トノ間ニ法律上ノ相互ニ補助ヲ爲ス途ガ缺ケテ居リマスデゴザイマス、然ルニ殊ニ近來ニ至リマシテ内地ト臺灣トノ間ノ關係ガ益々親密ニナルニ附キマシテ、此缺典ノ爲ニ生ズル不便ヲ感ズル度ガ頗ル強クナリマシタガ爲ニ、此不便ニ對スル疏通ノ方法ヲ開ク必要ヲ考ヘマシテ、此法案ヲ提出致シマシタノデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長指名デ御異議ハゴザリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 定數ニ少シ缺ケテ居ルヤウデゴザイマスカラ今日ハ是デ散會致シマス、今朝御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

〔河田書記官朗讀〕

臺灣ニ在勤スル官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案外一件特別委員

伯爵坊城 俊章君 子爵内田 正學君 子爵相良 頼紹君
子爵松平 直平君 男爵長 松 幹君 中島 永元君
馬屋原 彰君 秋月 新太郎君 野村 恒造君
日本勸業銀行法中改正法律案特別委員

侯爵細川 護成君 子爵山本 實庸君 子爵新莊 直陳君
松平 正直君 男爵島津 珍彦君 男爵生駒 親忠君
谷森 眞男君 南郷 茂光君 瀧 兵右衛門君
在外國帝國專管居留地特別會計法案特別委員

子爵青木 信光君 子爵牧野 忠篤君 宮本 小一君
三浦 安君 男爵有地 品之允君 男爵辻 健介君
水野 遼君 長谷川 貞雄君 五十嵐 甚藏君

裁判所及臺灣總督府法院共助法案特別委員

子爵錦織 教久君 子爵大久保 忠順君 子爵稻垣 太祥君
男爵眞田 幸世君 石井 忠恭君 兒玉 利國君
田中 綱常君 兒玉 淳一郎君 赤澤 伊太郎君

○議長(公爵近衛篤磨君) 明日ノ日程ヲ御報告致シマス

〔河田書記官朗讀〕

午前十時開議

第一 請願委員長報告

臺灣ニ在勤スル地方稅支辨ノ俸給ヲ受クル文官判

任以上ノ學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル 第一讀會
法律案(政府提出)

第三 右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

第四 土地收用法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員
(議院送付) (長報告))

第五 日本動產銀行法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員
(長報告))

第六 保險業法案(政府提出) 第二讀會

第七 鑛業條例中改正法律案(政府提出) 會議(特別委員
(議院回付) (長報告))

第八 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

第十 家祿引直處分法案(衆議院提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

第十二 古物商取締法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十三 右議案ノ審查ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

第十四 重罪控訴豫納金規則廢止法律案 第一讀會ノ續(特別委員
(衆議院提出) (長報告))

第十五 輕罪控訴規則廢止法律案 第一讀會ノ續(特別委員
(衆議院提出) (長報告))

第十六 罰金及追徴ニ係ル上告豫納金廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員
(長報告))

第十七 蟲害地租特別處分法案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員
(長報告))

第十八 營業稅法中ニ調査委員ノ制ヲ設クル請願 會 議

第十九 種馬所設置ニ關スル請願 會 議

第二十 所得稅法改正ノ請願 會 議

第二十一 高等商學校設置ノ請願 會 議

第二十二 北清貿易擴張ニ關スル請願 會 議

第二十三 定期航路補助ニ關スル請願 會 議

第二十四 北見幹線鐵道急設ノ請願 會 議

第二十五 千島義勇警備田漁兵設置ノ請願 會 議

第二十六 土籍編入ノ請願 會 議

第二十七 家祿ニ關スル請願 會 議

第二十八 秩祿處分ノ請願 會 議

第二十九 民法第二百七十八條修正ノ請願 會 議

第三十 石狩川治水ノ請願 會 議

第三十一 郡界變更ノ請願 會 議

○議長(公爵近衛篤磨君) 本日ハ散會

午後四時五分散會